U-Link

Open Field Network

Control & Communication システムプロファイル(CSP+) 作成ガイドライン



1	けいみた	
••		
	. 本書の日的	2
	. 2 概要	·····2
	.3 関連ツールおよび関連ドキュメント	4
	. 4 保証に関する考え方	4
	. 5 使用する用語について	4
2.	CSP+とは	$\cdots 5$
	2. 1 CSP+とプロファイル作成支援ツールの関係	5
:	2. 2 CSP+ファイルの作成単位	6
:	2.3 CSP+ファイルの構成	6
:	2. 4 作成物	11
3.	CSP+ の作成準備	$\cdots 12$
	B.1 プロファイル作成支援ツールの動作環境	$\cdots 12$
	B. 2 プロファイル作成支援ツールのインストール	12
4.	プロファイル作成支援ツールの起動と終了	$\cdots 13$
	- 1 プロファイル作成支援ツールの起動	13
	4.1.1 プロファイル作成支援ツールの起動	13
	4.1.2 プロファイル作成支援ツールの起動時画面表示	14
4	I. 2 プロファイル作成支援ツールの終了	15
5.	CSP+ の作成手順	$\cdots 16$
ļ	5. 1 CSP+作成の流れ	16
ļ	~CSP+ の作成	17
	5.2.1 プロジェクトの新規作成	26
	5.2.2 パートへの記述方法	28
	5.2.3 ファイル情報(FILE)セクションの記述	31
	5.2.4 アハイ 「報(DEVICE)セクンヨンの記述 ····································	·····32 ····.96
	5.2.5 通信インタンエーへ情報(COMM_IF) ビクションの記述 5.2.6 ブロック情報(BLOCK) セクションの記述	69
	5.2.7 通信インタフェース情報セクションとブロック情報セクションの関係	$\dots 82$
	5.2.8 共通情報パートの記述	87
	5.2.9 プロジェクトのチェック	99
	5.2.10 プロジェクトの必須要素の記述確認	101
	5.2.11 CSP+ファイルのエクスポート	$\cdots 107$
	5.2.12 CSP+ファイルから CSP+への変換	108
	5.2.13 CSP+の評価	110
6.	リリースの準備	$\cdots 121$
(3.1 リリースまでの流れ	$\cdots 121$
	6.1.1 新規開発製品の場合	$\cdots 121$

目次・1

付録1.	ラベル名に使用できない文字
付録 2.	CSP+チェックシート
付録3.	他のネットワーク用プロファイル(デバイス記述)データの利用127
付録 4.	EXCEL を活用したデータ入力手法132
付録 5.	プロファイルの内容比較

改定記録

発行年月	副版	内容
2012/8	_	初版
2015/9	А	CC・Link IE フィールドネットワーク対応ユニットの場合の記述を追加。 SLMP(TCP/IP)対応ユニットの場合の記述を追加。 「付録3.他のネットワーク用プロファイルデータの利用」を追加。
2016/12	В	CC-Link IE フィールドネットワーク Basic 対応ユニットの場合の記述を追加。 「付録 4. EXCEL を活用したデータ入力手法」を追加。 「付録 5. プロファイルの内容比較」を追加。 「付録 6. CC-Link IE フィールドネットワーク Basic と SLMP(TCP/IP)の両方 に対応するユニットの記述」を追加
2017/08	С	性能値(基準要求/応答時間)をエンジニアリングソフトウェア上に表示する方法 の記述を追記。
2019/04	D	CC-Link IE TSN 対応ユニットの場合の記述を追加。

<u>1. はじめに</u>

1.1 本書の目的

本書は、Control & Communication システムプロファイル(以下 CSP+と記載)を作成するためのガイ ドラインです。本書に示すガイドラインに従っていただくことにより、CC-Link ファミリー接続ユニ ットの立ち上げおよび運用・保守を行うアプリケーションソフト(以下ユーティリティソフトウェアと 記載)にて使用可能な CSP+を作成できます。

尚、CSP+の詳細については、Control & Communication システムプロファイル(CSP+)仕様書 (BAP-C2008-001-E)を参照してください。

1.2 概要

CSP+は、CC-Link 協会が提供する「プロファイル作成支援ツール」を使用することにより、簡単に 作成することができます。作成した CSP+をお客様に提供することにより、御社製品および、他の CC-Link ファミリーに接続している全ユニットを1つのユーティリティソフトウェアから管理するこ とができます。

CSP+を利用することにより実現できる具体的な内容について、三菱電機(株)製 GX Works2 を使用した例を以下に示します。



(1) ネットワーク構成を簡単に作成することができます。

(2) CC-Link ファミリー対応機器を簡単に設定できます。

ユーティリティソフトウェア			
USB等 PC書込 PC書込 CC-Link	7.7.9	CC-Link	インバータ
CC-Link ファミリーを経由してコマンドの実行、 パラメータの読み書きを行うことができる。		MPLOD	
			AD変換

(3) 入出力情報/ステータス情報のラベルをラダーにて利用できます。

ſ

・ ・	: プロジェクト(P) 編集(E) 検索/置換(F) 変換/コンパイル(Q) 表示(W) オンライン(Q) デバッグ(B) 診断(Q) ツール(T) ウ	いだかW へげ(出) - 5		
ノロジェクト レート レー	□ ● ● ●	8 67 768 F9 5F9 6F9 6F10 5F7 5F8 3F7 3F8 3475 3F7 3F8 3475 3476 3477 3488 4 ▷		
1 1	プロジェクト (の) ¹ ビー·Ready OHLA/D変換完了7分			
1 1	して、 したした。 したしたた。 したした したした したした したした したした したした したした したした したした したした したした したした したした したした	[MOV CH2_デ心物出力值 D501]		
マリー・パリティル (DVP) マリー・パリティル (DVP) エラー・ド・レラスカ(RMA) マリー・パリティル (DVP) エラー・ド・レラスカ(RMA) (CVP) エラー・ド・レラスカ(RMA) マリー・パリティル (DVP) エラー・ド・レラスカ(RMA) (SET エラー・ド・レラスカ(RMA) マリー・パリティル (DVP) エラー・ド・レラスカ(RMA) (SET エラー・ド・レラスカ(RMA) マロ・フレー・ビー・レラスカ(RMA) (SET エラー・ド・レラスカ(RMA) (SET エラー・ド・レラスカ(RMA) マロ・レー・レラスカ(RMA) (SET エラー・ド・レラスカ(RMA) (SET エラー・ド・レラスカ(RMA) マロ・レー・レラスカ(RMA) (SET エラー・ド・レラスカ(RMA) (SET エラー・ド・レラスカ(RMA) マロ・レー・レラスカ(RMA) (SET エラー・ビー・レラスカ(RMA) (SET エラー・ビー・レラスカ(RMA) マロ・レー・レー・レラスカ(RMA) (SET エラー・ビー・レラスカ(RMA) (SET エラー・ビー・レラスカ(RMA) マロ・レー・レー・レー・レー・レー・レー・レラスカ(RMA) (SET エラー・ビー・レラスカ(RMA) (SET エラー・ビー・レー・レー・レラスカ(RMA) マロ・レー・レー・レー・レー・レー・レー・レー・レー・レー・レー・レー・レー・レー・	- 10 9モートパスワード - 3 4ンデリジント概範ユニット - 3 4ンデリジント概範ユニット	——[MOV CH3_デ心物出力値 D502]		
 第二カグラム設定 「シーリシトシンステレク 「SET 15-リシト) 「SET 15-リシト) 「SET 15-リシト) 「SET 15-リシト) 「SET 15-リシト) 「CO-Linkデバイス創付確認 - マスク局 先頭レシ 0020 「CSD+トに記述した機器の入出力情報や、「オブションの」 「CSD+に記述した機器の入出力情報や、「オブションの」 「SET 15-リシト) CSVアイル出力(E) 「SET 15-リシト) 「CSD+たごの(E) 「SET 15-リシト) 「CSD+たごの(E) 「SET 15-リシト) 「CSD+たごの(E) 「SET 15-リシト) 「CSD+たごの(E) 「SET 15-リシト) 「SET 15-リシト) 「SET 15-リシト) (2000) (2000) (2000) (2000) 「SET 15-リシト) (2000) (2000) (2000) (2000) (2000) (2000) (2000) (2001) (2001	□ ● クロ・/ WF / M A LS / P ■ ● クロ・/ WF / M A LS / P ● ● クロ・/ WF / WF / M A LS / P ● ● クロ・/ WF / M A LS / P ● ● ● ● クロ・/ WF / M A LS / P ●	[MOVP אין-ק-ל× D504]		
CC-Linkデバイス割付確認 - マスタ局 先頭レク 0020 CSC - Linkデバイス割付確認 - マスタ局 先頭レク 0020 CSC - Linkデバイス割付 確認 - マスタ局 先頭レク 0020 CSC - Linkデバイス割付 確認 - マスタ局 先頭レク 0020 CSC - Linkデビアレク 0507 f(h 出 から) CSC - Linkデビアレク 120 f(h 出 から) CSC - Link デビアレク 120 f(h 出 かo) CSC - Link デビアレク 120 f(h u h H 小 no) CSC - Link デビアレク 120 f(h u h h ∩ 20 f(h u h h ∩ 20 f(h h no) CSC - Link デビアレク 120 f(h u h h ∩ 20 f(h h no) CSC - Link デビアレク 120 f(h u h h h h h h h h h h h h h h h h h h	 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	[SET エラーリセット]		
CC-Linkデバイス割付縮翌 - マスタ局 先頭し:0020 00200 00200	15-リセット エラー状態フラジー	[RST エラーリセット]		
マスタ/ローカル先期パク No.001 0020 ・ CSP+に記述した機器の入出力情報や (オブタシン処) (アメクリーンの(シーン) (アメクリーンの(シーン) <td <="" colspan="2" td=""><td>- CC-Linkデバイス割付確認 - マスタ局 先頭1/0:0020</td><td>4 :</td></td>	<td>- CC-Linkデバイス割付確認 - マスタ局 先頭1/0:0020</td> <td>4 :</td>		- CC-Linkデバイス割付確認 - マスタ局 先頭1/0:0020	4 :
リモートンオ)(第2) リンク (第2) 単振子情報 (第2) ノンク (第2) 単振子情報 (第2) ノンク (第2) リンク (第2) リンク (第2) リンク (第2) リモートレジス(新知) 第 (第2) 第 (第2) 第 (第)	マス3/ローカル先題/O No.001 0020 · CSP+に記述した機器の入出力情報や	「オプション(N)」 OS Vファイル出力(S)		
リンクシュ 5 番 リンク 説明 デバイス 2000 デバイス 2000 デバイス 2000 アバイス 2000	<u> </u>	リモートレジスタ(RWw) ノ 自局情報 相手先情報		
X400 RX0 CHL A/D支換完了797 Y415 R15 D300 RW0 CHL 9/95/8L7/16 P2000 FW00 FW00 FW10 P2000 FW00 FW00 FW00 FW00 FW00 FW00 FW00 FW00 FW000 FW00 FW00 <t< td=""><td>リンクシュ 日田 リンク 説明 デバイス 同世 デバイス 部の デバイス 同世 デバイス</td><td>説明 リフレッシュ 局番 リンク 説明</td></t<>	リンクシュ 日田 リンク 説明 デバイス 同世 デバイス 部の デバイス 同世 デバイス	説明 リフレッシュ 局番 リンク 説明		
	X400 (PX0 OHI A/D変換完了??? Y415 RY15 C800 RW0 CHI X401 RX1 CH2 A/D変換完了??? Y415 RY16 C900 RW0 CHI X402 RX2 CH3 A/D変換完了??? Y415 RY16 C900 RW1 CH2 X403 1 RX2 CH3 A/D変換完了???? Y418 1 RY16 C900 RW1 CH3 X404 RX4 CH4 A/D変換完了???? Y418 1 RY19 CH4 T2 RW2 CH3 CH4 T2 CH4 T2 RW4 T2 T3 RW4 T2 RW4 T2 RW4 T3 T3 RW5 RW6 RW6 <td>*☆9A出力値 *☆9A出力値 *☆9A出力値 *☆9A出力値 *☆9A出力値 P20001 P20001 P20</td>	*☆9A出力値 *☆9A出力値 *☆9A出力値 *☆9A出力値 *☆9A出力値 P20001 P20001 P20		

1.3 関連ツールおよび関連ドキュメント

CC-Link 協会の Web ページより以下のツールおよび資料をダウンロードすることができます。

- (1) CSP+作成支援ツール
- (2) Control & Communication システムプロファイル(CSP+)仕様書 BAP-C2008-001
- (3) Control & Communication システムプロファイル(CSP+)作成ガイドライン(本書)

1.4 保証に関する考え方

作成した CSP+の動作の保証、お客様への技術サポート、不具合対応はパートナ様にてお願いいたします。

1.5 使用する用語について

本書にて使用する用語を以下に示します。

No	用語	内容
1	CSP+ファイル	プロファイル作成支援ツールの[エクスポート]にて作成した拡張子が"cspp"の ファイルです。XML(Extensible Markup Language)で記述します。
		ユーティリティソフトウェアトで対象ユニットを表示する際に用いるファイル
2	画像ファイル	です。拡張子が"bmp"、"png"、"jpg"、"gif" のファイルが使用可能です。画像
		は、32×32~256×256 ピクセルの範囲内で作成してください。
		ユーティリティソフトウェア上で対象ユニットをアイコン表示する際に用いる
3	アイコンファイル	ファイルです。拡張子が"ico"のファイルが使用可能です。アイコンは、16×16 ピ
		クセルで作成してください。
1	オブジェクトディクシ	CC-Link IE TSN 対応ユニットで CAN 対応機器の場合に用いるファイルです。
4	ョナリファイル	拡張子が"csv"のファイルが使用可能です。
		CSP+ファイル、画像ファイル、アイコンファイル、オブジェクトディクショナ
5	CSP+	リファイルを圧縮したファイルです。プロファイル作成支援ツールの[アーカイ]
		ブファイルの生成]機能で作成します。
	Control &	
6	Communication	CSP+と同じファイルを示しています。
	システムプロファイル	
7	圧縮ファイル	CSP+と同じファイルを示しています。
8	アーカイブファイル	CSP+と同じファイルを示しています。
9	プロジェクトファイル	プロファイル作成支援ツールで、CSP+ファイルを作成する途中経過を保存する
U		ためのファイルです。拡張子が"cspproj"のファイルです。
10	エクスポート	CSP+ファイルを作成する途中経過から、文法チェックを終えた状態のファイル
10		を出力する操作を示しています。
		CSP+ファイルを構成している「ファイル情報セクション」、「デバイス情報セク
11	セクション	ション」、「通信インタフェース情報セクション」、「ブロック情報セクション」
		を示しています。
12	パート	セクションを構成する記述単位を示しています。プロファイル作成支援ツール
14		では、ワークウィンドウに表示する「表」を示しています。
13	表種別	パートの種別を示しています。
14	項目	ワークウィンドウに表示する「表」の「列」を示しています。
15	要素	ワークウィンドウに表示する「表」の「行」を示しています。
16	ファイル情報セクショ	CSP+ファイルのファイル情報(生成日付・最終更新日付など)を記述します。フ
10		アイルセクション、FILE セクションと省略して記述する場合もあります。
17	デバイス情報セクショ	対象ユニットの製品情報(メーカ名、型名など)を記述します。デバイスセクショ
		ン、DEVICE セクションと省略して記述する場合もあります。
18	通信インタフェース情	対象ユニットの通信ユニットに関する情報を記述します。通信インタフェース
	報セクンヨン	セクンヨン、COMMIF セクションと有略して記述する場合もあります。
19	ブロック情報セクショ	対象ユニットの機能について記述します。ブロックセクション、BLOCK セク
		ンヨンと有略して記述する場合もあります。
~ ~		「通信インタフェース情報セクション」および、「ブロック情報セクション」に
20	共通情報バート	記述する「構造体バート」、「選択肢一覧パート」、「コマンド引数一覧パート」
		を示しています。

表 1本書にて使用する用語

<u>2. CSP+とは</u>

2.1 CSP+とプロファイル作成支援ツールの関係

プロファイル作成支援ツールは、画面上で入力した情報から CSP+ファイルを生成します。 また、生成された CSP+ファイルと、画像ファイル、アイコンファイル、オブジェクトディクショナ リファイルをまとめて CSP+を生成します。

生成した CSP+を CSP+対応ユーティリティソフトウェアへ登録(インポート)すると、対象ユニットを ユーティリティソフトウェアから利用することができます。





2.2 CSP+ファイルの作成単位

CSP+ファイルは、ユニット形態モデル1つに対し、1つのCSP+ファイルを作成します。 ユニット形態毎のモデルの詳細は、Control & Communication システムプロファイル仕様書(3.3)を参 照してください。

今回は Control & Communication システムプロファイル仕様書(3.3)「(1)単一のネットワークに接続 するユニット」の CSP+ファイルを作成します。

- また、上記の他に以下の場合には、1つのファイルに作成しないよう注意してください。
 - (1) 作成対象ユニットの属する機種やシリーズが複数ある場合
 - (2) 1つのユニットに対し、複数の言語の CSP+を作成する場合

2.3 CSP+ファイルの構成

CSP+ファイルは、以下に示す情報で構成します。

(1) CC-Link 対応ユニットの場合



- コンフォーマンステスト OK のために必要な CSP+ファイル 5.2.13 CSP+の評価(2)までの内容が実現できます。
- ユーティリティソフトウェアの表示に必要な CSP+ファイル 5.2.13 CSP+の評価(3)までの内容が実現できます。
- ③ ユーティリティソフトウェア上から対象ユニットの機能を使用するために必要な CSP+ファイル 5.2.13 CSP+の評価の全ての内容が実現できます。

(2) CC-Link IE フィールドネットワーク対応ユニットの場合



- コンフォーマンステストOKのために必要なCSP+ファイル 5.2.13 CSP+の評価(2)までの内容が実現できます。
- ユーティリティソフトウェアの表示に必要な CSP+ファイル 5.2.13 CSP+の評価(3)までの内容が実現できます。
- ③ ユーティリティソフトウェア上から対象ユニットの機能を使用するために必要な CSP+ファイル 5.2.13 CSP+の評価の全ての内容が実現できます。

(3) SLMP(TCP/IP)対応ユニットの場合



- コンフォーマンステストOKのために必要なCSP+ファイル 5.2.13 CSP+の評価(2)までの内容が実現できます。
- ② ユーティリティソフトウェア上から対象ユニットの機能を使用するために必要な CSP+ファイル 5.2.13 CSP+の評価の全ての内容が実現できます。

(4) CC-Link IE フィールドネットワーク Basic 対応ユニットの場合



- コンフォーマンステストOKのために必要なCSP+ファイル 5.2.13 CSP+の評価(2)までの内容が実現できます。
- ユーティリティソフトウェアの表示に必要な CSP+ファイル 5.2.13 CSP+の評価(3)までの内容が実現できます。
- ③ ユーティリティソフトウェア上から対象ユニットの機能を使用するために必要な CSP+ファイル 5.2.13 CSP+の評価の全ての内容が実現できます。

(5) CC-Link IE TSN 対応ユニットの場合



- コンフォーマンステスト OK のために必要な CSP+ファイル 5.2.13 CSP+の評価(2)までの内容が実現できます。
- ユーティリティソフトウェアの表示に必要な CSP+ファイル 5.2.13 CSP+の評価(3)までの内容が実現できます。
- ③ ユーティリティソフトウェア上から対象ユニットの機能を使用するために必要な CSP+ファイル 5.2.13 CSP+の評価の全ての内容が実現できます。

2.4 作成物

プロファイル作成支援ツールにて作成するファイル(下記表 2 参照)およびパートナ様にて別途用意い ただくファイル(下記表 3 参照)について、データファイルの保存、バージョン管理は各パートナ様に てお願いいたします。

No	ファイル	内容	参照
1	CSP+ファイル	プロファイル作成支援ツールの[エクスポート]にて作成した 拡張子が"cspp"のファイルです。XML(Extensible Markup Language)で記述します。	5.2.11
2	CSP+	CSP+ファイル、画像ファイル、アイコンファイル、オブジェ クトディクショナリファイルを圧縮したファイルです。プロフ ァイル作成支援ツールの[アーカイブファイルの生成]機能で 作成します。	5.2.12

表2作成するファイル

表 3パートナ様にて別途用意いただくファイル

No	ファイル	内容	参照
1	画像ファイル	ユーティリティソフトウェア上で対象ユニットを表示する際 に用いるファイルです。拡張子が"bmp"、"png"、"jpg"、"gif"の ファイルが使用可能です。画像は、32×32~256×256 ピクセ ルの範囲内で作成してください。	5.2.12
2	アイコンファイル	ユーティリティソフトウェア上で対象ユニットをアイコン表示する際に用いるファイルです。拡張子が"ico"のファイルが使用可能です。アイコンは、16×16 ピクセルで作成してください。	5.2.12
3	オブジェクトディ クショナリファイ ル	CC-Link IE TSN 対応ユニットで CAN 対応機器の場合に用い るファイルです。拡張子が"csv"のファイルが使用可能です。	5.2.12

<u>3.</u> CSP+の作成準備

3.1 プロファイル作成支援ツールの動作環境

プロファイル作成支援ツールを動作させるにあたり、以下の物を用意してください。

		<u> </u>
No	用意するもの	内容
1	Windows PC	以下のいずれかをインストールした PC。 WindowsXP SP3 以降、WindowsVista、Windows7、Windows10
2	ProfileCreationTool.zip	プロファイル作成支援ツールの本体です。 CC-Link 協会の Web ページよりダウンロードしてください。
3	Microsoft Visual C++ 2008 再頒布可能パッケージ	Microsoft の Web ページよりダウンロードしてインストールしてください。注1
4	Microsoft XML パーサ	Microsoft の Web ページよりダウンロードしてインストールしてください。注 1

耒	Λ	田	音よ	ろ	£′	ത
X	4	Л	息 9	\sim	(J	$v_{\mathcal{I}}$

注1:アプリケーションをインストールするための権限を持ったユーザでログインしてください。

3.2 プロファイル作成支援ツールのインストール

ProfileCreationTool.zip 内のモジュール構成は以下のとおりです。

プロファイル作成支援ツールのインストーラはありません。ProfileCreationTool.zip(注 2)を任意のディレクトリに解凍してください。

ただし、プロファイル作成支援ツールを Program Files ディレクトリに格納した場合には、実行時に も Program Files に Write アクセス権限を持ったユーザで実行する必要があります。 注 2:「ProfileCreationTool.zip」はバージョンによって ZIP ファイル名が変わります。

No	ファイル	
1	¥ProfileCreationTool¥Config¥	ZIPファイル展開時は存在しません。初回起動時に生成されます。
2	¥ProfileCreationTool¥Schema¥	CSP+の XML スキーマが格納されているフォ ルダです。
3	¥ProfileCreationTool¥PublicPlugin¥CSP+_2.0.dll	CSP+の仕様を吸収したプラグインファイルで す。
4	$ProfileCreationTool PublicPlugin CSP+_3.0.dll$	CSP+の仕様を吸収したプラグインファイルで す。
5	¥ProfileCreationTool¥PublicPlugin¥CCLink.dll	CC-Link の仕様を吸収したプラグインファイ ルです。
6	$\$ $\$ $\$ $\$ $\$ $\$ $\$ $\$ $\$ $\$	CC-LinkIEField の仕様を吸収したプラグイン ファイルです。
7	$\$ $\$ $\$ $\$ $\$ $\$ $\$ $\$ $\$ $\$	SLMP(TCP/IP)の仕様を吸収したプラグイン ファイルです。
8	$\$ $\$ $\$ $\$ $\$ $\$ $\$ $\$ $\$ $\$	CC-Link IE TSNの仕様を吸収したプラグイン ファイルです。
9	$\$ ProfileCreationTool $\$ ProfileCreationTool.exe	プロファイル作成支援ツールのアプリケーションです。
10	$\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ $	プロファイル作成支援ツールのリソースファ イルです。
11	¥ProfileCreationTool¥VSFlex8N.ocx	FlexGrid のコンポーネントファイルです。
12	¥ProfileCreationTool¥zlib1.dll	ファイルの圧縮や解凍を行うファイルです。

表 5 ProfileCreationTool.zip のモジュール構成

4. プロファイル作成支援ツールの起動と終了

4.1 プロファイル作成支援ツールの起動

4.1.1 プロファイル作成支援ツールの起動

ProfileCreationTool.exe を実行します。初回起動時には、以下のダイアログが表示されます。

[OK]ボタンを押下し、システム設定ダイアログを表示します。



システム設定ダイアログ内の作成対象記述仕様から該当するものを選択し、[OK]ボタンを押下します。 システム設定の内容は、後から変更することも可能です。選択した作成対象プロファイルによって、 作成対象記述仕様で選択できる項目が異なります。

作成対象プロファイル		_
CSP+[2.0]		
÷-#*++⊕=12+74-1¥		
• CC-Link [2.0]		
CC-Link IE74-1	「ネットワーク [2.0]	
C Ethernet/CC-Link	IEF Basic [2.1]	
1000 m 100 m 100 m		

プロファイル作成支援ツールの作業ウィンドウが操作可能となります。

初回起動以降、システム設定ダイアログを表示したい場合は、以下の手順で表示してください。また、 システム設定を変更する場合には、プロジェクトを開いていない状態でシステム設定ダイアログを表 示してください。

- ① メニューバーから[ツール]を選択します。
- 2 [ツール]の中の[システム設定]を選択します。





4.1.2 プロファイル作成支援ツールの起動時画面表示

プロファイル作成支援ツールの画面は、以下の構成で表示します。

ツリービューウィンドウ、出力ウィンドウが未表示の場合は、以下の手順で表示してください。



4.2 プロファイル作成支援ツールの終了

起動中のプロファイル作成支援ツールを終了する場合は、画面右上の終了(×)ボタンの押下、または メニューバーの[ファイル]から[アプリケーションの終了]を選択してください。 終了する際、ファイルの保存を問い合わせるダイアログが表示された場合、編集した内容を保存した い場合は[はい]、保存しない場合は [いいえ]を選択してください。

ProfileCreationTool	x
① プロファイルの編集中です。	
「CL-A1000」への変更内容を保存します	すか?
(おい(Y) いいえ(N) 年1	マンセル

<u>5.</u> <u>CSP+の作成手順</u>

5.1 CSP+作成の流れ

CSP+作成の流れを下図に示します。



5.2 CSP+の作成

プロファイル作成支援ツールを利用した CSP+の作成方法を示します。 プロファイル作成支援ツールを用いた CSP+の作成では、対象ユニットの仕様情報を記述します。本 書では、具体的な記述例を示すため以下の製品仕様を用いて記述します。

(1) CC-Link 対応ユニットの場合

CC-Link 対応ユニットの記述例を記載する際には、下記の製品仕様を基に記述しています。 ●仕様

項目	仕様			
型式	CL-A1000)	
品名	温調ユニット			
電源電圧	DC 24V(±10%)			
消費電流	100mA 以下		\succ	デバイス情報一覧へ記述
寸法	$48 \text{mm}(\text{H}) \times 48 \text{mm}(\text{W}) \times 70 \text{mm}(\text{D})$			
質量	約150g			
標準価格	15,000円	ノ)	
リモート局分類	リモートデバイス局		1	
通信仕様	CC-Link Var1.10		\geq	通信インタフェース情報一覧へ記述
占有局数	1局	-	J	

●デバイス割り付け

デバイス	<入力(CL-A1000→マスタ)	Í	デバイス出力(マスタ→CL-A1000)	
デバイスNo.	実装内容		デバイスNo.	実装内容
RX0	制御出力	ĺ	RY0	
RX1			>	主 庙田
2	未使用		· ·	不反用
RXF			RYF	
RX10	ハンドシェイクフラグ 送信完了		RY10	ハンドシェイクフラグ 送信要求
RX11	主体田		RY11	主 庙田
2	「システムで使用」		2	(システムで使用)
RX17			RY17	
RX18	イニシャル処理要求		RY18	イニシャル処理完了
RX19	イニシャル設定完了		RY19	イニシャル設定要求
RX1A	エラー状態		RY1A	エラーリセット
RX1B	リモートREADY		RY1B	
RX1C	リギーブ		RY1C	リザーブ
RX1D			RY1D	
RX1E	恙		RY1E	恙
RX1F	05定我		RY1F	0022
リモートレ	・ジスタ(CL-A1000→マスタ)	ſſ	リモートレ	·ジスタ(マスタ→CL-A1000)
デバイスNo.	実装内容		デバイスNo.	実装内容
RWr0	未使用		RWw0	未使用
RWr1	コマンドレスポンス		RWw1	送信コマンド
RWr2	未使用		RWw2	未使用
RWr3	センサデータ		RWw3	送信データ
	\sim			\sim

通信入力一覧、 ブロック出力一覧へ記述 通信出力一覧、 ブロック入力一覧へ記述

●通信	コマン	レド			
コマ	ンド	項日	内灾	設定値	
Write	Read	7 0	דני	設た値	
01	81	しきい値1	しきい値(上限)の設 定・確認が行えます。	H'0000~H'0320:0°C~800°C	
02	82	しきい値2	しきい値(下限)の設 定・確認が行えます。	H'0000~H'0320:0°C~800°C	通信パラメーター覧、
03	83	エコモード	Ecoの設定・確認が行 えます。	H'0000:ディスプレイ表示常時点灯 H'0001:ディスプレイ表示常時消灯 H'0002:操作後10秒でディスプレイ	一覧へ記述
04	84	温度取得	温度を取得します。	-	
05	-	データチャネルロード	データバンクから動作 設定を読み込むことが できます。	H'0000:データチャネル1から読込 H'0001:データチャネル2から読込 H'0002:データチャネル3から読込	
06	-	データチャネルセーブ	現在のセンサアンプの 設定をデータバンクへ 書き込むことができま	H'0000:データチャネル1へ書込 H'0001:データチャネル2へ書込 H'0002:データチャネル3へ書込	通信コマンド一覧、 ブロックコマンド-
07	-	データバンク使用状況	データバンクの使用状 況を返します。	H'0000:データチャネル1を確認 H'0001:データチャネル2を確認 H'0002:データチャネル3を確認	覧へ記述
08	-	リセット	センサのリセットが行 えます。	-	J

次項からの説明で示す記述例は、最低限必要な箇所のみを示しています。空欄となっている箇所 については、任意で入力してください。

(2) CC-Link IE フィールドネットワーク対応ユニットの場合

CC-Link IE フィールドネットワーク対応ユニットの記述例を記載する際には、下記の製品仕様を基に記述しています。

●仕様

	項目	仕様			
型式		CL-A1000-EFI			
品名		温調ユニット			
電源電圧		DC 24V(±10%)			
消費電流		200mA 以下		\leq	5
寸法		$48 \text{mm}(\text{H}) \times 48 \text{mm}(\text{W}) \times 70 \text{mm}(\text{D})$			
質量		約150g			
標準価格		34,800円	2		
通信仕様		CC-Link IEフィールドネットワーク	,		
局種別		リモートデバイス局			ì
サイクリック	RX/RY 点数	32点			
通信	RWr/RWw 点数	16点	J		

デバイス情報一覧へ記述

通信インタフェース情報一覧へ記述

●デバイス割り付け

デバイスノ	∖力(CL-A1000-EFI→マスタ)	デバイス出	∃力(マスタ→CL-A1000-EFI)
デバイスNo.	実装内容	デバイスNo.	実装内容
RX0	制御出力	RY0	
RX1	未使用	2	未使用
RXF		RYF	
RX10	土体田	RY10	
≀ RX16	(システムで使用)	2	未使用 (システムで使用)
RX17	ワーニング状態フラグ	RY17	
RX18	イニシャル処理要求	RY18	イニシャル処理完了
RX19	イニシャル設定完了	RY19	イニシャル設定要求
RX1A	エラー状態	RY1A	エラーリセット
RX1B	リモートREADY	RY1B	
RX1C	リザーブ	RY1C	リザーブ
RX1D		RY1D	
RX1E	OS定義	RY1E	OS定義
RX1F		RY1F	
リモートレジ	ズタ(CL-A1000-EFI→マスタ)	リモートレジ	スタ(マスタ→CL-A1000-EFI)
デバイスNo.	実装内容	デバイスNo.	実装内容
RWr0	未使用	RWw0	未使用
RWr1	コマンドレスポンス	RWw1	送信コマンド
RWr2	未使用	RWw2	未使用
RWr3	センサデータ	RWw3	送信データ

通信入力一覧、 ブロック出力一覧へ記述 通信出力一覧、 ブロック入力一覧へ記述

●パラメータ

ワード アドレス	項目	R/W 区分	内容	設定値
0x1000	しきい値1	R/W	しきい値(上限)の設定・確認が行えます。	$H'0000 \sim H'0320 : 0^{\circ}C \sim 800^{\circ}C$
0x1001	しきい値2	R/W	しきい値(下限)の設定・確認が行えます。	$H'0000 \sim H'0320 : 0^{\circ}C \sim 800^{\circ}C$
0x1002	エコモード	R/W	Ecoの設定・確認が行えます。	H'0000 : ディスプレイ表示常時点灯 H'0001 : ディスプレイ表示常時消灯 H'0002 : 操作後 10 秒でディスプレイ消灯
0x1003	温度取得	R	温度を取得します。	-

注1:パラメータの参照/更新できる領域へのアクセスを、SLMPのデュアルポートメモリー括読み出し、またはデュ アルポートメモリー括書き込みで例示します。

注2: SLMPのデュアルポートメモリー括読み出し、またはデュアルポートメモリー括書き込みは、読み出す/書き込 む先頭アドレスをワードアドレスで指定します。

SLMP コマンド	コマンド	サブコマンド
デュアルポートメモリー括読み出し	0x0613	0x0000
デュアルポートメモリー括書き込み	0x1613	0x0000

●コマンド

項目	内容	
リセット	リセットすることで、エラ	ラー状態を OFF します。

注1: コマンド例として、リモートリセットを記述します。リモートリセットは、SLMPのRemoteReset(0x1006) を使用します。

SLMP コマンド	コマンド	サブコマンド
リモートリセット	0x1006	0x0000

(3) SLMP(TCP/IP)対応ユニットの場合

SLMP(TCP/IP)対応ユニットの記述例を記載する際には、下記の製品仕様を基に記述しています。

●仕様

		-	
項目	仕様		
型式	CL-A1000-Ethernet		1
品名	温調ユニット		
電源電圧	DC 24V(±10%)		
消費電流	100mA 以下		\succ
寸法	48mm(H) × 48 mm(W) × 70 mm(D)		
質量	150g		
標準価格	15,000円)
通信仕様	Ethernet(TCP/IP)		\geq

デバイス情報一覧へ記述

通信インタフェース情報一覧へ記述

●SLMPコマンドサポート情報

SLMPコマンド	サポート状況
SearchNode	サポート
SetIPAddress	未サポート
CompareDeviceInformation	未サポート
GetParameter	サポート
SetParameter	サポート
StartSetParameter	サポート
EndSetParameter	サポート
CancelSetParameter	未サポート
ReadStatus	未サポート
GetCommunicationSetting	未サポート
ReadStatus2	未サポート

通信インタフェース情報一覧へ記述

<u>●パラメータ</u>

パラメータID	項目	内容	設定値
01	しきい値1	しきい値(上限)の設 定・確認が行えます。	H'0000~H'0320:0°C~800°C
02	しきい値2	しきい値(下限)の設 定・確認が行えます。	H'0000~H'0320:0°C~800°C
03	エコモード	Ecoの設定・確認が行 えます。	H'0000:ディスプレイ表示常時点灯 H'0001:ディスプレイ表示常時消灯 H'0002:操作後10秒でディスプレイ消
04	温度取得	温度を取得します。	-

通信パラメーター覧、 ブロックパラメータ 一覧へ記述

次項からの説明で示す記述例は、最低限必要な箇所のみを示しています。空欄となっている箇所 については、任意で入力してください。

(4) CC-Link IE フィールドネットワーク Basic 対応ユニットの場合 CC-Link IE フィールドネットワーク Basic 対応ユニットの記述例を記載する際には、 下記の製品仕様を基に記述しています。

●仕様		_
項目	仕様	
型式	CL-A1000-B	
品名	温調ユニット	
電源電圧	DC 24V(±10%)	
消費電流	100mA 以下	
基準応答時間	3ms	
寸法	$48 \text{mm}(\text{H}) \times 48 \text{mm}(\text{W}) \times 70 \text{mm}(\text{D})$	
質量	150g	
標準価格	15,000円	L
诵信仕様	Ethernet(TCP/IP)	1

デバイス情報一覧へ記述

▶ 通信インタフェース情報一覧へ記述

デバイス出力(マスタ→CL-A1000-B)

●デバイス割り付け

デバイス入力(CL-A1000-B→マスタ)				
デバイスNo.	実装内容			
RX0	制御出力			
RX1 ≷RXF	未使用			
RX10 ∠	未使用			
RX16	(システムで使用)			
RX17	ワーニング状態フラグ			
RX18	イニシャル処理要求			
RX19	イニシャル設定完了			
RX1A	エラー状態			
RX1B	リモートREADY			
RX1C	リザーブ			
RX1D				
RX1E				
RX1F	03足我			

リモートレジスタ(CL-A1000-B→マスタ)				
デバイスNo.	実装内容			
RWr0	未使用			
RWr1	コマンドレスポンス			
RWr2	未使用			
RWr3	センサデータ			
\)			

デバイスNo.	実装内容
RY0	
2	未使用
RYF	
RY10	
2	未使用 (システムで使用)
RY17	
RY18	イニシャル処理完了
RY19	イニシャル設定要求
RY1A	エラーリセット
RY1B	
RY1C	リザーブ
RY1D	
RY1E	
RY1F	
リモートレ	ジスタ(マスタ→CL-A1000-B)
デバイスNo.	実装内容
RWw0	未使用
RWw1	送信コマンド
RWw2	

通信入力一覧、 ブロック出力一覧へ記述

通信出力一覧、
ブロック入力一覧へ記述

RWw3

送信データ

●SLMPコマンドサポート	-情報
---------------	-----

SLMPコマンド	サポート状況
SearchNode	サポート
SetIPAddress	未サポート
CompareDeviceInformation	未サポート
GetParameter	サポート
SetParameter	サポート
StartSetParameter	サポート
EndSetParameter	サポート
CancelSetParameter	未サポート
ReadStatus	未サポート
GetCommunicationSetting	未サポート
ReadStatus2	未サポート

▶ 通信インタフェース情報一覧へ記述

(5) CC-Link IE TSN 対応ユニットの場合

CC-Link IE TSN 対応ユニットの記述例を記載する際には、下記の製品仕様を基に記述しています。

●什様

項目	仕様	
型式	CL-A1000-TSN	
品名	温調ユニット	
電源電圧	DC 24V(±10%)	
消費電流	100mA 以下	
寸法	$48 \text{mm}(\text{H}) \times 48 \text{mm}(\text{W}) \times 70 \text{mm}(\text{D})$	
質量	約150g	
標準価格	34,800円	≻
専用ツール有無	有り	
専用ツール名	専用ツール	
インストールレジストリキー名	SOFTWARE¥AAA	
インストールレジストリ値名	AppMain	
exeパスレジストリキー名	SOFTWARE¥AAA	
exeパスレジストリ値名	AppMain	
通信仕様	CC-Link IE TSN	
対応CiA規格番号	CiA401 規格に対応	
オブジェクトディクショナリファイル名	A1234.csv	
IEEE802.1AS 機能	有り	
100Mbps 受信機能	有り	
100Mbps 中継機能	有り	
1Gbps フルレート受信機能	無し	
1Gbps フルレート中継機能	有り	
ブロードキャスト・マルチキャスト機能	有り	
認証クラス	A	
送信ビットデータデフォルトサイン	32点	
送信ワードデータデフォルトサイ	16点	-
受信ビットデータデフォルトサイン	32点	
受信ワードデータデフォルトサイ	16点	
サイク 送信ビットデータ最大サイズ	1024点	
リイク 送信ワードデータ最大サイズ	512点	
通信 受信ビットデータ最大サイズ	1024点	
^{一 回} 受信ワードデータ最大サイズ	512点	
送信ビットデータアドレス	0x00000123	
送信ワードデータアドレス	0x00000456	
受信ビットデータアドレス	0x00000789	
受信ワードデータアドレス	0x0000159	
状態通知デバイスアドレス	0x0000753	

デバイス情報一覧へ記述

通信インタフェース 情報一覧へ記述

	4971917		
デバイス入	、力(CL-A1000-TSN→マスタ)	デバイスと	出力(マスタ→CL-A1000-TSN)
デバイスNo.	実装内容	デバイスNo.	実装内容
RX0	制御出力	RY0	
RX1	+ 庙田	2	未使用
RXF	不厌而	RYF	
RX10	土体田	RY10	
	へ反用 (システムで使用)	٤	未使用
RX18	未使田		
RX19	(システムで使用)	RY19	
RX1A	エラー状態	RY1A	エラーリセット
RX1B	リモートREADY	RY1B	
RX1C	リザーブ	RY1C	リザーブ
RX1D	,,, ,	RY1D	
RX1E	OS定義	RY1E	OS定義
RX1F		RY1F	002 A
リモートレジ	スタ(CL-A1000-TSN→マスタ)	リモートレシ	スタ(マスタ→CL-A1000-TSN)
デバイスNo.	実装内容	デバイスNo.	実装内容
RWr0	未使用	RWw0	未使用
RWr1	コマンドレスポンス	RWw1	送信コマンド
RWr2	未使用	RWw2	未使用
RWr3	センサデータ	RWw3	送信データ
1	/	×	

通信入力一覧、 ブロック出力一覧へ記述 通信出力一覧、 ブロック入力一覧へ記述

●パラメータ

●デバイス割り付け

ワード アドレス	項目	R/W 区分	内容	
0x1000	しきい値1	R/W	しきい値(上限)の設定・確認が行えます。	$H'0000 \sim H'0320 : 0^{\circ}C \sim 800^{\circ}C$
0x1001	しきい値2	R/W	しきい値(下限)の設定・確認が行えます。	$H'0000 \sim H'0320 : 0^{\circ}C \sim 800^{\circ}C$
0x1002	エコモード	R/W	Eco の設定・確認が行えます。	H'0000:ディスプレイ表示常時点灯 H'0001:ディスプレイ表示常時消灯 H'0002:操作後 10 秒でディスプレイ消灯
0x1003	温度取得	R	温度を取得します。	-

注1:パラメータの参照/更新できる領域へのアクセスを、SLMPのデュアルポートメモリー括読み出し、またはデュ アルポートメモリー括書き込みで例示します。

注2:SLMPのデュアルポートメモリー括読み出し、またはデュアルポートメモリー括書き込みは、読み出す/書き込 む先頭アドレスをワードアドレスで指定します。

SLMP コマンド	コマンド	サブコマンド
デュアルポートメモリー括読み出し	0x0613	0x0000
デュアルポートメモリー括書き込み	0x1613	0x0000

●コマンド

項目		内容
リセット	リセットすることで、	エラー状態を OFF します。

注1:コマンド例として、リモートリセットを記述します。リモートリセットは、SLMPのRemoteReset(0x1006) を使用します。

 SLMP コマンド
 コマンド
 サブコマンド

 リモートリセット
 0x1006
 0x0000

●エラー関連情報

エラーコードの 名称(概要)	エラー コード	エラー 詳細情報	エラー原因	処置方法
ハードウェアコード	0x10	無し	ユニットのハードウェアエラー です。	ユニット電源 OFF・ON を行って ください。
入力値範囲外エラー	0x105	有り	パラメータで設定された最大値 よりも大きな値が入力されまし た。	入力を見直すか、パラメータ設定 を見直してください。
リモートバッファ メモリアクセスエラー	0x150	無し	REMFR/REMTO 命令で、リモー トバッファメモリの範囲外にア クセスをしました。	リモートバッファメモリの範囲内 に ア ク セ ス す る よ う に 、 REMFR/REMTO 命令の設定デー タを修正してください。

<u>5.2.1 プロジェクトの新規作成</u>

プロファイル作成支援ツールに対象ユニットの仕様情報を入力するための、プロジェクトを作成しま す。

メニューバーの[ファイル]から[新規作成]を選択し、プロファイルの新規作成ダイアログを表示します。 ファイル(F) 編集(E) 表示(V)

2.1	- Contraction of the second second	
1	新規作成(N)	Ctrl+N
1	開((0)	Ctrl+O
	閉じる(0)	
al.	上書き保存(S)	Otri+S
	名前を付けて保存	(<u>A</u>)
	チェック(日)	
	エクスポート(E)	
	アプリケーションの総	7()

下記「表 6 プロジェクト作成時入力内容」を参考に番号①~⑧を入力し、[作成]ボタンを押下します。 ラベルおよびコメントの詳細については、Control & Communication システムプロファイル仕様書 (4.3.1)を参照してください。

プロファイルの新規作成	
FILEの利期設定	
FILEセクションのLABEL(L)	
FILEセクションのCOMMENT(C)	
FILE_INFOパートのLABEL(<u>A</u>)	
FILE_INFOパートのCOMMENT(<u>O</u>)	
DEVICEの初期設定	
DEVICEセクションのLABEL(<u>E</u>)	
DEVICEセクションのCOMMENT(M)	
DEVICE_INFO/ペートのLABEL(D)	
DEVICE_INFOパートのCOMMENT(N)	
	作成キャンセル

		<u> 払 0 / F 0 5</u>	
番号	入力内容	入力例	備考
1	ファイル情報セクショ ンを識別するラベル	FileSection	付録 1. ラベル名に使用できない文字に注意して、英数字列 32 文字以内でラベル名を入力します。
2	ファイル情報セクショ ンに対するコメント	ファイル情報	ファイル情報セクションの説明等を任意で入力します。
3	ファイル情報一覧パー トを識別するラベル	FileInfo	付録 1. ラベル名に使用できない文字に注意して、英数字列 32 文字以内でラベル名を入力します。
4	ファイル情報一覧パー トに対するコメント	ファイル情報一覧	ファイル情報一覧パートの説明等を任意で入力します。
5	デバイス情報セクショ ンを識別するラベル	DeviceSection	付録1. ラベル名に使用できない文字に注意して、英数字列 32 文字以内でラベル名を入力します。
6	デバイス情報セクショ ンに対するコメント	デバイス情報	デバイス情報セクションの説明等を任意で入力します。
7	デバイス情報一覧パー トを識別するラベル	DeviceInfo	付録 1. ラベル名に使用できない文字に注意して、英数字 列 32 文字以内でラベル名を入力します。
8	デバイス情報一覧パートに対するコメント	デバイス情報一覧	デバイス情報一覧パートの説明等を任意で入力します。

表 6 プロジェクト作成時入力内容

プロジェクトの新規作成が完了しました。

プロファイルの新規作成ダイアログにて入力した内容は、以下のように表示します。



ここで作成したプロジェクトに対象ユニットの情報を入力します。

<u>5.2.2 パートへの記述方法</u>

(1) 直接入力

- 対象ユニット情報は、プロジェクト内の各セクションのパートへ記述します。
- ① ツリービューウィンドウ内のパートをダブルクリックします。
- ② ワークウィンドウにパートの内容が表示されます。

四ファイル作成支援ソール - 新規プロファイル	_		_		l	- 8 %
ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ツール(T) ヘルプ(H) (2)	ペートの内容を				
	=	⇒示します				E.
<u> </u>	FileInfo x					*
E E F	1 OreateDate	ファイル生成日 COMMON	RY NAME ファイル生成日	STRING(10)	2012/06/01	REMAR
🚊 🏤 FileSection () [FIL]	2 OreateTime 3 ModDate	ファイル生成時間 最終更新日 COMMON	ファイル生成時間 最終更新日	STRING(8) STRING(10)	12:00:00 2012/06/01	
	4 ModTime 5 Language	最終更新時間 COMMON 対応言語情報 COMMON	最終更新時間 対応言語情報	STRING(8) STRING(12)	12:00:00 ja	
DEVICE	6 FileVersion 7 CCLinkFamilyProfile.	ファイルバージョン COMMON CSPPlus仕様パージョン COMMON	ファイルバージョン CSP+仕様バージョン	STRING(32) STRING(32)	1.0 1.0	
	DLT					
BLOCK STU	クリックします	o				
	-	1	1			
	出力					+ 2.3
	<u>م</u>) ښ ب					
1571					C,	AP NUM SORL
				_	-	

パートの内容は、	以下に示す構成で	を示しま	す。	(項目	
LABEL	LABEL2	CATEGORY	NAME	DATATYPE	DATA	REMARK
📜 CreateDater — — — — —	ファイル生成日 - - -	COMMON-	ファイル生成日	STRING(10)	2012/06/01	
2 CreateTime	ファイル生成時間	COMMON	ファイル生成時間	STRING(8)	12:00:00	
3 ModDate	最終更新日	COMMON	最終更新日	STRING(10)	2012/06/01	
4 ModTime	最終更新時間	COMMON	最終更新時間	STRING(8)	12:00:00	
5 Language	対応言語情報	COMMON	対応言語情報	STRING(12)	ja	
6 FileVersion	ファイルバージョン	COMMON	ファイルバージョン	STRING(32)	1.0	
7 CCLinkFamilyProfileVersion	CSPPlus仕様バージョン	COMMON	CSP+仕様バージョン	STRING(32)	1.0	要素
						21

パートへの記述は、Excel と同様の操作で行うことができます。

(2) 情報入力ダイアログによる入力

パート内の要素によっては、複数行入力できる箇所があります。複数行入力の箇所は、情報入力 ダイアログによる入力を行います。以下に情報入力ダイアログによる入力方法を示します。 (1)と同様の手順にてワークウィンドウにパートの内容を表示します。

情報入力ダイアログによる記述の場合、以下に示すように入力欄にボタンが表示されます。ボタンをマウスで押下し、情報入力ダイアログを表示します。

	LABEL	LABEL2	CATEGORY	NAME	DATATYPE	DATA	REMARK
1	VendorName	ベンダー名称	COMMON	ベンダー名称	STRING U(64)		
2	VendorCode	ベンダーコード	COMMON	ベンダーコード	WORD		
3	DeviceModel	型名	COMMON	型名	STRING(48)		
4	ProductID	プロダクトID	COMMON	プロダクトID	STRING(256)		
5	DeviceTypeID	デバイスタイプID	COMMON	デバイスタイプID	WORD		
6	DeviceTypeDetail	デバイスタイプ 詳細	COMMON	デバイスタイプ(詳細)	STRING U(256)		
7	Version	機器バージョン	COMMON	機器バージョン			
8	VersionDisplayFlg	機器バージョン表示フラグ	COMMON	機器バージョン表示フラグ	BOOL		
9	VersionPolicyType	機器バージョンポリシー	COMMON	機器バージョンポリシー	UINT16		
10	DisplayVersionValue	機器バージョン 表示値	COMPON		CTDINO(00)		
11	VersionComment	バージョンコメント	COM 情報	長入力ダイアログに	こよる入力を表	長します。	
12	ReferenceURL	参照URL	COM		ア 1 チート	· / C	
13	URLInfo	URL'情報	COM	ホタン押	トレよう。		
14	Outline	概要仕様	COMMON	恢要证保	STRING		_
15	Feature	特徴	COMMON	特徴	STRING U(256)		
16	SpecList	仕様リスト	COMMON	仕様リスト	STRING U(256)()		<u> </u>
17	PowerSupplyVoltage	電源電圧	COMMON	電源電圧(V)	REAL		
18	ConsumptionCurrent	消費電流	COMMON	消費電流(mA)	REAL		
19	IconFileName	アイコンファイル名	COMMON	アイコンファイル名	STRING(52)		
20	GraphicsFileName	画像ファイル名	COMMON	画像ファイル名	STRING(52)		
21	Height	高さ	COMMON	高さ	STRING U(256)		
22	Width	幅	COMMON	幅	STRING U(256)		
23	Depth	奥行き	COMMON	奥行き	STRING U(256)		
24	Weight	重さ	COMMON	重き	STRING U(256)		
25	Price	価格	COMMON	価格	STRING U(256)		

情報入力ダイアログ表示後、[入力項目の追加]ボタンを押下し、入力欄を入力可能状態にします。



情報を入力してください	
1 - 電源電圧 DC24V	
	肖·J β余
入力項目追加	
入力された情報	
[1]電源電圧 DC24V	

2行目、3行目と行数を増やしたい場合は、上記の手順を繰り返してください。

登録した内容を編集したい場合は、プルダウンまたは入力された情報欄から対象の行を選択し、入力内容を入力欄に表示します。

5 ✔ 制御出力1(SSR驱動用)DC12V±20%、40mA	-	登録
		削除
入力項目追加	'	
力された情報		
[1]電源電圧 DC24V [2]消費電力 2.3W以下 [3]白金測温抵抗体:(指示値±0.5℃)±1ディジット以下 [4]アナログ入力±0.25%FS±1ディジット以下		_
[5]制御出力1 (SSRIe動用)DC12V±20%。40mA [6]使用周囲温度 - 10~55℃(ただし、氷結、結露しないこと) [7]使用周囲湿度 25~85%RH [9]メエル2乗 太輝感地メエル(本語)3ヵ回数+105回)		

値を変更後、[登録]ボタンを押下し、入力された情報欄にてプレビュー表示を再確認します。 [OK]ボタンを押下し、入力を確定して情報入力ダイアログを閉じます。

5.2.3 ファイル情報(FILE)セクションの記述

ファイル情報セクションには、CSP+ファイルのファイル情報(生成日付・最終更新日付など)を記述します。

以下にファイル情報セクションに記述する内容を示します。

(1) ファイル情報一覧パート(FILE_INFO)への記述



下記「表 7ファイル情報一覧パート記述内容」を参考に、ファイル情報を記述します。 ファイル情報一覧パートの詳細については、Control & Communication システムプロファイル仕 様書(5.1.1)を参照してください。

ファイル情報一覧パート[FILE_INFO]

						125-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-	<hr/>	
	LABEL	LABEL2	CATEGORY	NAME	DATATYPE	/DATA	N.	REMARK
1	CreateDate	ファイル生成日	COMMON	ファイル生成日	STRING(10)	2012/07/11		
2	CreateTime	ファイル生成時間	COMMON	ファイル生成時間	STRING(8)	09:45:57		
3	ModDate	最終更新日	COMMON	最終更新日	STRING(10)	2012/07/11		
4	ModTime	最終更新時間	COMMON	最終更新時間	STRING(8)	09:45:57	- i	
5	Language	対応言語情報	COMMON	対応言語情報	STRING(12)	l ja	1	
6	FileVersion	ファイルバージョン	COMMON	ファイルバージョン	STRING(32)	1.0	1	
7	CCLinkFamilyProfile	CSPPlus仕様バージョン	COMMON	CSP+仕様バージョン	STRING(32)	20	1	<u> </u>
*	1 REMARK項目には	「何も記述しないでく	ださい。					

該当する要素の DATA 項目へ情報を入力します。

表	7	フ	ア	イ	ル情報-	-覧パー	\mathbb{P}	記述内	容
---	---	---	---	---	------	------	--------------	-----	---

No	LABEL	入力内容	必須/任意
1	CreateDate	CSP+ファイルの生成日を記述します。 初期値として、プロジェクト生成日が自動で入力されます。	必須
2	CreateTime	CSP+ファイルの生成時間を記述します。 初期値として、プロジェクト生成時間が自動で入力されます。	必須
3	ModDate	最終更新日を記述します。 初期値として、プロジェクト生成日が自動で入力され、プロジ ェクトを保存する度に自動で更新されます。	必須
4	ModTime	最終更新時間を記述します。 初期値として、プロジェクト生成時間が自動で入力され、プロ ジェクトを保存する度に自動で更新されます。	必須
5	Language	CSP+ファイルを記述している言語情報を記述します。 初期値として日本語(ja)が自動で入力されます。	必須
6	CCLinkFamilyProfileVersion	CSP+ファイルを記述している記述仕様のバージョンを記述し ます。 初期値として、システム設定ダイアログの作成対象プロファイ ルで選択した CSP+[x.x]の x.x が自動で入力されます。	必須
7	FileVersion	対象ユニットに対するプロファイル情報のバージョンを記述 します。 初期値として 1.0 が自動で入力されます。	必須

5.2.4 <u>デバイス情報(DEVICE)セクションの記述</u>

デバイス情報セクションには、対象ユニットの製品情報(メーカ名、型名など)を記述します。 以下にデバイス情報セクションに記述する内容を示します。

(1) デバイス情報一覧パート(DEVICE_INFO)への記述



デバイス情報一覧パートは、通信インタフェースによってパートを構成する要素が異なります。 各通信インタフェースでの記述を示します。

デバイス情報一覧パートの詳細については、Control & Communication システムプロファイル仕 様書(5.2.1)を参照してください。

(a) CC-Link 対応ユニットの場合

下記「表8デバイス情報一覧パート記述内容」を参考に、対象ユニット情報を記述します。



- (b) CC-Link IE フィールドネットワーク対応ユニットの場合 上記「(a)CC-Link 対応ユニットの場合」を参考に、対象ユニット情報を記述します。
- (c) SLMP(TCP/IP)対応ユニットの場合
 上記「(a)CC-Link 対応ユニットの場合」を参考に、対象ユニット情報を記述します。
- (d) CC-Link IE フィールドネットワーク Basic 対応ユニットの場合 上記「(a)CC-Link 対応ユニットの場合」を参考に、対象ユニット情報を記述します。
- (e) CC-Link IE TSN 対応ユニットの場合

下記「表 8 デバイス情報一覧パート記述内容」と「表 9 デバイス情報一覧パート記述内容 (CC-Link IE TSN)」を参考に、対象ユニット情報を記述します。



表 8 デバイス情報一覧パー	- ト記述内容
----------------	---------

No	LABEL	入力内容	必須/任意
1	VendorName	ユニットを作成したベンダー名を入力します。	必須
2	VendorCode	ユニットを作成したベンダーのベンダーコードを入力します。	议宿
		CC-Link 協会パートナ会員番号 5~8 桁目の前に[0 x]を付けて入力します。	必須
3	DeviceModel 注1	ユニットの型名を入力します。	心須
		例)CL-A1000	必須
4	ProductID	各ベンダーで管理しているユニットのプロダクト ID を入力します。	注 3
5	DeviceTypeID	CC-Link 協会で定められたリモートデバイスタイプ一覧のコードを入力します。	ओं: a
		例) 0x0006 (温調)	往2
6	DeviceTypeDetail	具体的なデバイスタイプを示す場合にフリーフォーマットで入力します。	注。
		例)温調ユニット	11.2
7	Version 注1	各ベンダーで管理しているユニットの機器バージョンを入力します。	
		※DATATYPE 項目にビット列型、符号付整数型、符号無し整数型、文字列型(ただし	
		表記"STRING(x)"のみ)から選択し入力します。	必須
		SLMP(TCP/IP)対応ユニットの場合"WORD"を記述します。	
		CC-Link IE TSN 対応ユニットの場合"UINT16"を記述します。	
8	VersionDisplayFlg	機器バージョンをユーザに対して表示するか、非表示とするかを入力します。	
		0:非表示	必須
		1:表示	
No	LABEL	入力内容	必須/任意
----	--------------------------------	--	-------
9	VersionPolicyType	 CSP+ファイルを用いて実機にアクセスする際に、実機の機器バージョンと、CSP+ファイルに書かれた機器バージョンの間の関係のポリシーを入力します。 0:ユニットの機器バージョンと CSP+ファイルの機器バージョンが異なっても、基本的に問題が生じないことを示します。 1:ユニットの機器バージョンと CSP+ファイルの機器バージョンが異なると、問題が発生する可能性があることを示します。 2:古い機器バージョンの機能を全て新しい機器バージョンで持つことを示します。 	必須
10	DisplayVersion Value	ユニットから取得する機器バージョンの値と、ユーティリティソフトウェア上でユーザ に表示するバージョンの値が異なる場合に、表示するバージョンの値を入力します。	任意
11	VersionComment	機器バージョンに関するコメントを入力します。	任意
12	DeviceConfiguration ID	機器構成が変更可能な機器の各機器構成に対して識別子を割り当てる場合に入力します。機器構成 ID は、使用するユーザ環境内でユニークとなるように定義します。	任意
13	DeviceConfiguration Comment	機器構成 ID により CSP+ファイルを識別する場合、機器構成 ID に関するコメントを 入力します。	任意
14	ReferenceURL	ユニットの情報をWeb上に公開している場合、URLを入力します。ユニットの情報 を公開していない場合は、ベンダーのWebページでも可能です。	任意
15	URLInfo	ReferenceURL が示す情報の説明を入力します。	任意
16	Outline	機器の概要仕様を入力します。	任意
17	Feature	機器の特徴を入力します。	任意
18	SpecList	機器の仕様情報を文字列の集合で入力します。	任意
19	PowerSupply Voltage	電源電圧(V)を入力します。 例)24	任意
20	Consumption Current	消費電流(mA)を入力します。 例)100	任意
21	IconFileName	ユーティリティソフトウェア上で当該ユニットをアイコン表示する際に用いるアイ コンファイル名を、拡張子(.ico)も含めて入力します。 ※ファイル名に使用できる文字は半角のアルファベット、数字、記号です。 例) CL-A1000.ico	任意
22	GraphicsFileName	ユーティリティソフトウェアで当該ユニットを表示する際に用いる画像ファイル名 を、拡張子(.png、.bmp、.jpg、.gif)も含めて入力します。 ※ファイル名に使用できる文字は半角のアルファベット、数字、記号です。 例) CL-A1000.bmp	任意
23	Height	外形寸法の高さを単位も合わせて入力します。 例) 48mm	任意
24	Width	外形寸法の幅を単位も合わせて入力します。 例)48mm	任意
25	Depth	外形寸法の奥行きを単位も合わせて入力します。例)70mm	任意
26	Weight	重さを単位も合わせて入力します。 例)150g	任意
27	Price	価格を単位も合わせて入力します。 例)¥15,000	任意
28	UI_ATTRIBUTE_ Window**	UI_ATTRIBUTE で指定する Window の名称を入力します。 "**"には Window 番号を入力します。	任意

注1:CSP+ファイルのファイル名(Control & Communication システムプロファイル仕様書 4.1.1 を参照)に使用するため、 以下に示すファイル名の禁止文字[¥/:?"<>|]は使用できません。また、ユーティリティソフトウェアで型名の判 断処理が行われる場合、アルファベットの大文字・小文字の違いは区別されません。 注 2: DeviceTypeID 要素と DeviceTypeDetatil 要素は、必ずどちらか一方は記述してください。両方省略は禁止です。両

注 2: DeviceTypeID 要素と DeviceTypeDetatil 要素は、必ずどちらか一方は記述してください。両方省略は禁止です。両方とも記述しても問題ありませんが、その場合、DeviceTypeDetail 要素の値が優先されます。

注 3: CC-Link IE TSN 時は、必須です。他のネットワークでは、任意となります。

No	LABEL	入力内容	必須/任意
1	DedicatedToolFlg	対応する専用ツールの存在有無を記述します。 0:無し 1:有り	任意
2	DedicatedToolName	対応する専用ツールのツール名を記述します。	注1
3	InstallRegistryKeyName	対応する専用ツールがインストールされている場合にのみ存在するレジス トリのキー名を記述します。	注1
4	InstallRegistryValueName	対応する専用ツールがインストールされている場合にのみ存在するレジス トリの値名を記述します。	注 2
5	ExePathRegistryKeyName	対応する専用ツールの実行ファイル(.exe)のパス情報を持つレジストリのキー名を記述します。	注1
6	ExePathRegistryValueName	対応する専用ツールの実行ファイル(.exe)のパスが書かれたレジストリの値 名を記述します。	注1

表 9 デバイス情報一覧パート記述内容(CC-Link IE TSN)

注1: DedicatedToolFlg が記述されていて、かつその DATA が1の場合は必須です。それ以外の場合は記述禁止です。 注2: DedicatedToolFlg が記述されていて、かつその DATA が1の場合は任意です。それ以外の場合は記述禁止です。

5.2.5 通信インタフェース情報(COMM_IF)セクションの記述

通信インタフェース情報セクションには、対象ユニットの通信ユニットに関する情報を記述します。 以下に通信インタフェース情報セクションに記述する内容を示します。

はじめに、対象ユニット情報と通信インタフェース情報セクションの対応を示します。

(a) CC-Link 対応ユニットの場合



(b) CC-Link IE フィールドネットワーク対応ユニットの場合



(c) SLMP(TCP/IP)対応ユニットの場合



(d) CC-Link IE フィールドネットワーク Basic 対応ユニットの場合



(e) CC-Link IE TSN 対応ユニットの場合



通信インタフェース情報セクションは以下のパートで構成されています。

通信インタフェースによってパートを構成する要素が異なりますので、通信インタフェースに応じた 通信インタフェース情報を該当するパートへ入力してください。

No	パート	内容	通信インタフェース
1	通信インタフェース情報一覧 (COMM_IF_INFO)	通信インタフェースの識別情報や通信仕様に関する 情報を記述します。	共通
2	通信入力一覧 (COMM_IF_INPUT)	RX や RWr に割り付く入力情報について記述します。	CC-Link CC-Link IE フィールドネットワーク CC-Link IE フィールドネットワーク Basic CC-Link IE TSN
3	通信出力一覧 (COMM_IF_OUTPUT)	RY や RWw に割り付く出力情報について記述します。	CC-Link CC-Link IE フィールドネットワーク CC-Link IE フィールドネットワーク Basic CC-Link IE TSN
4	通信パラメータ一覧 (COMM_IF_PARAMETER)	対象ユニットの動作設定を設定・読出しする情報に ついて記述します。	共通
5	通信コマンド一覧 (COMM_IF_COMMAND)	対象ユニットに発行する命令に関する情報を記述し ます。	CC-Link CC-Link IE フィールドネットワーク CC-Link IE TSN
6	通信メソッド一覧 (METHOD)	パラメータおよびコマンド実行サービスの手順を記 述します。	CC-Link CC-Link IE フィールドネットワーク CC-Link IE TSN
7	通信メッセージ一覧 (MESSAGE)	SLMP によるパラメータおよびコマンド実行サービ スの手順を記述します。	CC-Link IE フィールドネットワーク CC-Link IE TSN

表 10 通信インタフェース情報セクションを構成するパート

プロジェクトを新規作成した段階では、通信インタフェース情報セクションはまだ作成されていません。

通信インタフェース情報を入力するためには、通信インタフェース情報セクションおよび各パートを 作成する必要があります。

通信インタフェース情報セクションおよび各パートの作成手順を示します。

(1) 通信インタフェース情報セクションの作成 COMM_IF フォルダ上でマウスの右ボタンを押下し、[セクションの追加]を選択します。

ツリービュー		🗢 🕂 🗙								
	1.00a](ja)									
🖕 🦢 FILE										
🗄 🔩 FileSection (ファイル情報) [FILE]										
🔤 🔶 Fil	🧼 💚 FileInfo (ファイル情報一覧) [FILE_INFO]									
🖨 🦢 DEVICE										
🛓 🕂 🔤	eSection (デバイス情報)	[DEVICE]								
🔶 De	eviceInfo (デバイス情報-	·覧)[DEVICE_INFO]								
🗁 COMM_I										
BLOCK	⊐Ľ−(<u>C</u>)									
	貼り付け(<u>P</u>)									
	参照のコピー(Y)									
	削除(<u>D</u>)									
	セクションの追加(<u>S</u>)									
	パートの追加(工)									
	プロパティ(<u>R</u>)									
	セクションの追加(S) パートの追加(<u>T</u>) プロパティ(<u>R</u>)									

下記「表 11 通信インタフェース情報セクションの作成」を参考に番号①~⑤を入力し、[作成] ボタンを押下します。

ラベルおよびコメントの詳細については、Control & Communication システムプロファイル仕 様書(4.3.1)を参照してください。

クションの新規作成	
セクション種別(<u>5</u>)	
COMM_IF	
セクションのLABEL(<u>L</u>)	
セクションのCOMMENT(<u>C)</u>	
COMM_IF_INFO@LABEL(<u>B)</u>	
COMM_IF_INFO@COMMENT(M)	5
(теріз	キャンセル

表 11 通信インタフェース情報セクションの作成

番号	入力内容	入力例	備考
1	新規作成するセクション	[COMM_IF] を 選択	[BLOCK]ブロック情報セクション [COMM_IF]通信インタフェース情報セクション
2	通信インタフェース情報セク ションを識別するラベル	CommIfSection	付録 1. ラベル名に使用できない文字に注意して、 英数字列 32 文字以内でラベル名を入力します。
3	通信インタフェース情報セク ションに対するコメント	通信インタフェ ース情報	通信インタフェース情報セクションの説明等を任 意で入力します。
4	通信インタフェース情報一覧 パートを識別するラベル	CommIfInfo	付録 1. ラベル名に使用できない文字に注意して、 英数字列 32 文字以内でラベル名を入力します。
5	通信インタフェース情報一覧 パートに対するコメント	通信インタフェ ース情報一覧	通信インタフェース情報一覧パートの説明等を任 意で入力します。

通信インタフェース情報セクションの作成が完了しました。 セクションの新規作成ダイアログにて入力した内容は、以下のように表示します。



ここで作成したセクションにパート(表 10を参照)を作成します。

(2) パートの作成

通信インタフェース情報一覧パートは、自動生成されます。残りのパートを作成します。 以下に示す例では、通信入力一覧パートを作成します。

通信インタフェース情報セクション上でマウスの右ボタンを押下し、[パートの追加]を選択します。

▼ # X						
[FILE]						
-覧)[FILE_INFO]						
報)[DEVICE]						
報一覧) [DEVICE_INFO]						
<u>タフェース情報) [COMM_</u> IF]						
⊐ピー(<u>©)</u> אדעד_INFO]						
貼り付け(₽)						
参照のコピー(Y)						
肖邶余(<u>D</u>)						
セクションの追加(<u>S</u>)						
パートの追加(丁)						
プロパティ(R)						

以下「表 12 通信インタフェース情報セクションのパート作成」を参考に番号①~③を入力し、[作成]ボタンを押下します。

ラベルおよびコメントの詳細については、Control & Communication システムプロファイル仕 様書(4.3.1)を参照してください。

トの新規作成			1
表種別(<u>S</u>)			
COMM_IF_INPUT COMM_IF_OUTPUT COMM_IF_PARAMETER COMM_IF_COMMAND METHOD MESSAGE STRUCT ENUM COMMAND_ARGUMENT			(
LABEL(L)			(
COMMENT(C)			(
ELEM(要素数 ④	作成	+++>+	L

		<u>表 12</u> 通信インタフェー	-ス情報セクションのパート作成
番号	記述内容	入力例	備考
1	作成するパート	通信入力一覧パートを示 す [COMM_IF_INPUT] を選択	[COMM_IF_INPUT]通信入力一覧パート [COMM_IF_OUTPUT]通信出力一覧パート [COMM_IF_PARAMETER]通信パラメータ一覧パート [COMM_IF_COMMAND]通信コマンド一覧パート [METHOD]通信メソッド一覧パート [MESSAGE]通信メッセージ一覧パート [STRUCT]、[ENUM]、[COMMAND_ARGUMENT]に ついては、5.2.8 共通情報パートを参照してください。
2	パートを識別す るラベル	CommIfInput	付録 1. ラベル名に使用できない文字に注意して、英数字 列 32 文字以内でラベル名を入力します。
3	作成するパート に対するコメン ト	通信入力一覧	作成するパートの説明等を任意で入力します。
4	作成する要素数	20	パート内に作成する要素数を指定します。初期値は20と なっています。 ここで指定するのは、パート作成時に生成される数です。 パート内の要素は、パート作成後に追加または削除して 数を変更できます。

通信入力一覧パートの作成が完了しました。

パートの新規作成ダイアログにて入力した内容は、以下のように表示します。



他のパートについても、同様の手順で作成してください。 次項に作成したパートへの記述内容を示します。 (3) 通信インタフェース情報一覧パート(COMM_IF_INFO)への記述



通信インタフェース情報一覧パートは、通信インタフェースによってパートを構成する要素が異なります。各通信インタフェースでの記述を示します。 通信インタフェース情報一覧パートの詳細については、Control & Communication システムプ ロファイル仕様書(5.3.1)を参照してください。

(a) CC-Link 対応ユニットの場合

下記「表 13 通信インタフェース情報一覧パート記述内容(CC-Link)」を参考に、対象ユニ ット情報を記述します。

> 該当する要素の DATA 項目へ情報を入力します。 要素が存在しない場合は、要素を追加して入力します。

対象ユニット情報			通信インタフェース情報一覧パート[COMM_IF_INFO]						
項目	仕様		LABEL	$\Box I$	NAME	DATATYPE	DATA	REMARK	
型式	CL-A1000	1	VendorName	- 11	ベンダー名称	STRING U(64)	サーマルコントロール社		
品名	温調ユニット	3	CommIFTypeID		通信インタフェースタイプID	STRING(32)	CCLink		
電源電圧	DC 24V(±10%)	4	Version	- / [STRING(16)	1.00A		
消費電流	100mA 以下	5 6	Read version Lype StationType	///	1版商ハーンヨン取けテタイノ 局々イブ	LIINT16	1		
寸法	$48 \text{mm}(\text{H}) \times 48 \text{mm}(\text{W}) \times 70 \text{mm}(\text{D})$	7	StationTypeDetail		局包(学詳細	UINT16			
質量	約150g	8	TotalNumOfIO	T	総IO点数 MOA/C	UINT16	0		
標準価格	15,000円	10	DevModel		1003477 モデル名(型名)	STRING(48)	CL-A1000		
リモート局分類	リモートデバイス局	11	CcLinkVer		CC-Linkバージョン	STRING(7)	1.10		
通信仕様	CC-Link Var1.10	12	ExtCycle NumOccupiedStations		拡張サイクリック設定		1		
占有局数	1局	14	ErrFlg	: //	エラーレコード格納レジスタ	STRING(7)	RWr1		
		15	MasterFlg		待機マスタフラグ	UINT16	14	<u></u> *1	
			※1 REMARK項目には	t何も	記述しないでください。				

No 1 [1] [1] [2] [2] [2] [2] [2] [2		<u></u> <u>表</u>	<u>13 通信インタフェース情報一覧バート記述内容(CC-Link)</u>	
1VendorName $\mu = [a + 2 / 2 / 2 2 / ft q q e^{-ft} q (c - 2 / 2 / 2 2 / q + 2 + 2 / q - 2 - 2 / q - 2 - 2 / q + 2 - 1 - 1 / q - 2 / q - 2 - 2 / q - 2 - 2 / q - 2 - 2 / q + 2 - 1 - 1 / q - 2 / q - 2 - 2 / q + 2 - 1 - 1 / q - 2 / q - 2 - 2 / q + 2 - 1 / q + 2 / q - 2 - 2 / q + 2 / q + 2 / q - 2 - 2 / q + 2 / $	No		人力内容	記述条件
2 VendorCode 通信インタフェース情報を作成したペンダーのペンダーコードを入力します。	1	VendorName	通信インタフェース情報を作成したベンダー名を記述します。	必須
aCC-Link Bax/a - h7 sql $\beta 5 - 8$ Aff 10 min $[0_X]$ $\mathcal{A}(h) \mathbb{C}(X) / \mathbb{C}[t_i]$, $\mathcal{A} > h > p - p / p - n n matrix \beta = 0 for \lambda > \mu < \mu < \lambda > \mu < \mu$	2	VendorCode	通信インタフェース情報を作成したベンダーのベンダーコードを入力します。	必須
3CommTPTypeID $\lambda_{2y} \mbox{P} \$	_	· cinuor couc	CC・Link 協会パートナ会員番号 5~8 桁目の前に[0 x]を付けて入力します。	
3 CommIFTypeID 別を示す ID を記述します。 通信インタフェース情報のバージョンを住意の文字列で記述します。 必須 4 Version 通信インタフェース情報のバージョンを(CC-Link 秘由で取得する手段を) 記述します。 必須 5 ReadVersionType 別信ヤンタフェース情報のバージョンを、CC-Link 経由で取得する手段を) 記述します。 必須 6 StationType NA:取得不可 SoftwareVersion:ソフトウェアパージョン NetworkFWVersion:コントローラのファームウェアバージョン 必須 7 StationTypeDetail 「タイブを記述します。 0:リモート I/O 局 1:リモートデバイス局 2:インテリジェントデバイス局/1:ローカル局 必須 7 StationTypeDetail 「タイブの詳細を記述します。 0:ムテリジェントデバイス局 ※件付 必須」 8 TotalNumOffO 1:8 点 3:16 点 年 9 IOType 1:クタイブを記述します。 0:ム寿局数位存 ビス 3:混在 10 DevModel 型名を文字列で記述します。 0:ム須 必須 11 CeLinkVer O(1.10、1.10、1.11、2.00)を記述します。 例)1.10 必須 12 ExtCycle 拡張サイクリック設定を記述します。 1(倍数定/2 倍数定/2 倍数定/2 倍数定/2 倍数定/2 倍数定/2 倍数定/2 倍数定/2 倍数定/2 倍数定/2 倍数定/2 倍数定/2 6 必須 13 NumOccupiedStations 「右局数を記述します。 例)1 必須 14 ErrReg アラーコードを格納するアドレス名を記述します。 例)RWr1 任意			ネットワークプロトコル毎に決められた通信インタフェース情報の種	
Sommulation $idefalor Jeroidefalor Jeroidefalor Jero4Versionidefalor Jeroidefalor Jeroidefalor Jero5ReadVersionTypeidefalor Jeroidefalor Jeroidefalor Jero6StationTypeidefalor Jeroidefalor Jeroidefalor Jero7StationTypeDetailidefalor Jeroidefalor Jeroidefalor Jero8TotalNumOffOidefalor Jeroidefalor Jeroidefalor Jero9IOTypeilor Jeroilor Jeroidefalor Jero10DevModelidefalor Jeroidefalor Jeroidefalor Jero11CeLinkVerOlor Jeroidefalor Jeroidefalor Jero12ExtCycleidefalor Jeroidefalor Jeroidefalor Jero13NumOccupiedStationsidefalor Jeroidefalor Jeroidefalor Jero14Erregifelafalor Jeroidefalor Jeroidefalor Jero15MasterFlg0: defalor Jeroidefalor Jeroidefalor Jero16idefalor Jeroidefalor Jeroidefalor Jeroidefalor Jero17idefalor Jeroidefalor Jeroidefalor Jeroidefalor Jero<$	3	CommIFTyneID	別を示す ID を記述します。	必須
Image: Constraint of the second se	0	commi iypeib	通信インタフェースが CC-Link のため	
4Version通信インタフェース情報のバージョンを任意の文字列で記述します。 コンタフェース情報のバージョンを、CC-Link 経由で取得する手段を 記述します。必須5ReadVersionType通信インタフェース情報のバージョンを、CC-Link 経由で取得する手段を 記述します。 NA:取得不可 SoftwareVersion:フレトウェアバージョン NA:取得不可 SoftwareVersion:コントローラのファームウェアバージョン ControllerFWVersion:コントローラのファームウェアバージョン ControllerFWVersion:コントローラのファームウェアバージョン ControllerFWVersion:コントローラのファームウェアバージョン ControllerFWVersion:コントローラのファームウェアバージョン ControllerFWVersion:コントローラのファームウェアバージョン ControllerFWVersion:コントローラのファームウェアバージョン ControllerFWVersion:コントローラのファームウェアバージョン ControllerFWVersion:コントローラのファームウェアバージョン ControllerFWVersion:コントローラのファームウェアバージョン ControllerFWVersion:コントローラのファームウェアバージョン ControllerFWVersion:コントローラのファームウェアバージョン ControllerFWVersion:コントローラのファームウェアバージョン ControllerFWVersion:コントローラのファームウェアバージョン ControllerFWVersion:コントローラのファームウェアバージョン ControllerFWVersion:コントローラのファームウェアバージョン ControllerFWVersion:コントローラのファームウェアバージョン ControllerFWVersion:コントローラのファームウェアバージョン ControllerFWVersion:コントローラのファームウェアバージョン ControllerFWVersion:コントロークルの局 第タイブの詳細を記述します。 O:47していークル局 第タイブの詳細を記述します。 O:47レデリジェントデバイス局 1'ローカル局 第タイブの詳細を記述します。 O:5者有局数依存 3:16点 3:16点 3:16点必須8TotalNumOfIO1.8 点 2:32 点 3:16 点 3:16 点 3:16 点ど須9IOType1.7 1.7 2:32 点 3:16 点 3:16 点必須10DevModel型名を文字列で記述します。 (の)裏表記します。 (の) 4:21 力 3:混在必須11CeLinkVerCC-Link のパージョン(1.00, 1.10, 1.11, 2.00)を記述します。 (例)1.10必須12ExtCycle拡張サイクリック設定を記述します。 (例)1必須14Erregエラーコードを格納するアドレス名を記述します。 (例)RWrl必須15MasterFlg(谷機マスタクフラグを記述します。 (1.40, 1.10, 2.41, 2.41) (1.40, 2.41)			「CCLink」と記述します。	
5ReadVersionType $imfar f 2 \sqrt{2} \sqrt{2} \sqrt{2} \sqrt{2} \sqrt{2} \sqrt{2} \sqrt{2} $	4	Version	通信インタフェース情報のバージョンを任意の文字列で記述します。	必須
5ReadVersionType $Rize L \pm t_o$. NA: $magareta$ SoftwareVersion: $y > p - p$ $0 = 0 = 0$ $0 = 0 = 0 = 0$ $u = 0$ $u = 0 = 0$ 6StationType $R = 0 + 0 = 0$ $1 = 0 = 0 = 0 = 0$ $1 = 0 = 0 = 0 = 0$ $u = 0$ $u = 0 = 0 = 0$ $u = 0$ $u = 0 = 0$ 6StationType $R = 0 + 0 = 0$ $1 = 0 = 0 = 0 = 0$ $2 = 0 + 0 = 0$ $u = 0$ $u = 0 = 0 = 0$ $u = 0$ $u = 0$ 7StationTypeDetail $R = 0 + 0 = 0$ $1 = 0 = 0 = 0$ $1 = 0 = 0 = 0$ $u = 0$ $u = 0 = 0$ $u = 0$ $u = 0$ 8TotalNumOfIO $R = 0$ $1 = 0 = 0$ $2 = 0 = 0$ $u = 0$ $1 = 0 = 0$ $u = 0$ $u = 0$ 9IOType $1 = 0$ $1 = 0 = 0$ $2 = 0 = 0$ $u = 0$ $1 = 0 = 0$ $u = 0$ $u = 0$ $u = 0$ 10DevModel $u = 2 + 2 + 0$ $u = 2 + 2 + 0$ $u = 0 = 0$ $u = 0$ $u = 0$ $u = 0$ $u = 0$ $u = 0$ $u = 0$ $u = 0$ $u = 0$ $u = 0$ $u = 0$ $u = 0$ $u = 0$ $u = 0$ $u = 0$ $u = 0$ $u = 0$ 			通信インタフェース情報のバージョンを、CC-Link 経由で取得する手段を	
5 ReadVersionType NA:取得不可 SoftwareVersion:ソフトウェアバージョン NetworkFWVersion:ネットワークのファームウェアバージョン ControllerFWVersion:コントローラのファームウェアバージョン ControllerFWVersion:コントローラのファームウェアバージョン ControllerFWVersion:コントローラのファームウェアバージョン ControllerFWVersion:コントローラのファームウェアバージョン ControllerFWVersion:コントローラのファームウェアバージョン ControllerFWVersion:コントローラのファームウェアバージョン ControllerFWVersion:コントローラのファームウェアバージョン ControllerFWVersion:コントローラのファームウェアバージョン ControllerFWVersion:コントローラのファームウェアバージョン ControllerFWVersion:コントローラのファームウェアバージョン ControllerFWVersion:コントローラのファームウェアバージョン ControllerFWVersion:コントローラのファームウェアバージョン ControllerFWVersion:コントローラのファームウェアバージョン ControllerFWVersion:コントローラのファームウェアバージョン ControllerFWVersion:コントローラのファームウェアバージョン ControllerFWVersion:コントローラのファームウェアバージョン ControllerFWVersion:コントローラのファームウェアバージョン ControllerFWVersion:コントローラのファームウェアバージョン ControllerFWVersion:コントローラのファームウェアバージョン ControllerFWVersion:コントロークのファームウェアバージョン ControllerFWVersion:コントロークのファームウェアバージョン ControllerFWVersion:コントローラのファームウェアバージョン ControllerFWVersion:Software ControllerFWVersistation: Contreftware ControllerFWVersion:Software Contr			記述します。	
SoftwareVersion: 27 $rby r r r r r v = 29$ 20% NetworkPWVersion: $x > v > p - p o D T r - \Delta D x T r r v = 29 r r r r r v = 29 r r r r r r r r r r r r r r r r r r $	5	ReadVersionType	NA:取得不可	以須
Network FWVersion: $\lambda = y = y = -\Delta \phi_x \overline{z} \overline{z} \overline{z} \overline{z} \overline{z} \overline{z} \overline{z} \overline{z}$	0	neau versionry pe	SoftwareVersion:ソフトウェアバージョン	жчж.
ControllerFWVersion: $\exists v > v = v = -3077 - \Delta \dot{v} \pm 7 \cdot v = v = v$ 6StationType $\beta \neq 7 \cdot \vec{v} \in 2 \exists v = v$ 7StationTypeDetail $\beta \neq 7 \cdot \vec{v} \in 2 \exists v = v = v = v = v$ 7StationTypeDetail $\beta \neq 7 \cdot \vec{v} \in 1 \forall v = v = v = v = v = v$ 8TotalNumOfIO $\beta \neq 7 \cdot \vec{v} \in 1 \forall v = v = v = v = v = v = v = v$ 9IOType $i : v = v = v = v = v = v = v = v = v = v$			NetworkFWVersion:ネットワークのファームウェアバージョン	
6StationType周タイプを記述します。 $0.9 = - FIO = FIO = 10$ $1.9 = - FIVA = R = 10$ $2.4 > 2.9 = 2.4 > 2.4 > 2.9 = 2.4 > 2.4 > 2.9 = 2.4 > 2.4 > 2.9 = 2.4 > 2.4 > 2.9 = 2.4 > 2.4 > 2.9 = 2.4 > 2.4 > 2.9 = 2.4 > 2.4 > 2.9 = 2.4 > 2.4 $			ControllerFWVersion:コントローラのファームウェアバージョン	
6StationType $0: J = h IO 周$ $1: J = h F K IO 3 B$ $2: A > J J > J > J > h F K IO 3 B$ $U = h F K IO 3 B$ 7StationTypeDetail $B > A T O B H A = D E A A$ $1: u = h J A B$ $A \neq h H H$ $U X = J J = L A$ $U = J = h E A$ $A \neq h H H$ $U X = J = h E A$ $U = J = h E A$ $A \neq h H$ $U X = J = h E A$ $U = J = h E A$ $A \neq h H H$ $U X = J = h E A$ $U = J = h E A$ $A \neq h H H$ $U X = J = h E A$ 8TotalNumOfIO $A = h E A$ $I: A h$ $2: A = A$ $A = h E A$ $I: A h$ $2: A = A$ $A = h E A$ $I: A h$ $2: A = A$ $A = h E A$ $I: A h$ $I: A h$ $I = A I A$ $I: A h$ $I: A h$ $I: A h$ $I: A h$ $I: A h$ $I = A I A$ $I: A h$ $I: A h$ $I: A H H H H H H H H H H H H H H H H H H $			局タイプを記述します。	
3 Datability $1: j \neq - k \neq N/4 \ A = 2: 4 \ 2: 7 \ j \neq 2: k \neq N/4 \ A = 2: 4 \ 2: 7 \ j \neq 2: k \neq N/4 \ A = 2: 4 \ 2: 7 \ j \neq 2: k \neq N/4 \ A = 2: 4 \ 2: 7 \ j \neq 2: k \neq N/4 \ A = 2: 4 \ 2: 7 \ j \neq 2: k \neq N/4 \ A = 2: 4 \ 2: 7 \ j \neq 2: k \neq N/4 \ A = 2: 4 \ 2: 3 \ A = 2: 4 \ 2: 5 \ A = 2: 4 \ 2: 5 \ A = 2: 4 \ 2: 5 \ A = 3: 5 \ A = 2: 5 \$	6	StationType	0:リモート I/O 局	以須
2:インテリジェントデバイス局/ローカル局第タイプの詳細を記述します。 $0・インテリジェントデバイス局1:ローカル局条件付必須17StationTypeDetail局タイプの詳細を記述します。0・インテリジェントデバイス局1:ローカル局条件付必須18TotalNumOfIO語点2:32点3:16点任意9IOType1.8 点2:32点3:16 点ビロタイプを記述します。0·裏表混在1:入力2:出力3 混在必須10DevModel型名を文字列で記述します。(1.00, 1.10, 1.11, 2.00)を記述します。(1.00, 1.10, 1.11, 2.00)を記述します。必須必須11CcLinkVerCC-Link 0 n'-v'=v'(1.00, 1.10, 1.11, 2.00)を記述します。例)1.10必須12ExtCycle拡張サイクリック設定を記述します。(例)1.10必須13NumOccupiedStations占有局数を記述します。例)1必須14ErrRegエラーコードを格納するアドレス名を記述します。(例)RWr1任意15MasterFlg0:待機マスタフラグを記述します。(1.00, 1.01)任意$	0		1:リモートデバイス局	心识
7StationTypeDetail局タイプの詳細を記述します。 $0:インテリジェントデバイス局$ $1:ローカル局$ 条件付 $必須_1$ 8TotalNumOfIO総 I/O 点数を記述します。 $0:占有局数依存$ 任意9TotalNumOfIO1:8 点 $2:32 点$ $3:16 点$ 任意9IOTypeI/O タイプを記述します。 $0:裏表混在$ $1:入力2:出力3 混在必須10DevModel型名を文字列で記述します。0:16 有局数を記述します。0:11 CcLinkVer必須11CcLinkVerCC-Link のバージョン(1.00, 1.10, 1.11, 2.00)を記述します。4 局数を記述します。1 倍設定/2 倍設定/4 倍設定/8 倍設定必須12ExtCycle拡張サイクリック設定を記述します。1 倚周数を記述します。0)1必須14ErrRegエラーコードを格納するアドレス名を記述します。0: 得機マスタフラグを記述します。省略時は 0 と判断します0: 得機マスタフラグを記述します。0: 得機マスタフラグを記述します。1 Cinter Ci$			2:インテリジェントデバイス局/ローカル局	
7 StationTypeDetail $0: 4 \sqrt{2} \sqrt{2} \sqrt{2} \sqrt{2} \sqrt{2} \sqrt{2} \sqrt{2} \sqrt{2}$			局タイプの詳細を記述します。	冬他付
1:ローカル局 ビダ1 8 TotalNumOfIO 総 I/O 点数を記述します。 0:占有局数依存 任意 9 TotalNumOfIO 1:8 点 任意 9 IOType 1:0 タイプを記述します。 ビクタイプを記述します。 0:裏表混在 0:裏表混在 必須 10 DevModel 型名を文字列で記述します。 必須 11 CcLink Ver CCLink のパージョン(1.00、1.10、1.11、2.00)を記述します。 必須 11 CcLink Ver 位でしていれ版 のパージョン(1.00、1.10、1.11、2.00)を記述します。 必須 12 ExtCycle 拡張サイクリック設定を記述します。 必須 13 NumOccupiedStations 占有局数を記述します。 必須 14 ErrReg エラーコードを格納するアドレス名を記述します。 必須 15 MasterFlg 0: 待機マスタフラグを記述します。省略時は 0 と判断します 任意	7	StationTypeDetail	0:インテリジェントデバイス局	木 IT II
8TotalNumOfIO総 I/O 点数を記述します。 0:占有局数依存 1:8 点 2:32 点 3:16 点任意9IOTypeI:8 点 			1:ローカル局	必項 I
8 TotalNumOfIO 0:占有局数依存 任意 1:8 点 2:32 点 3:16 点 3:16 点 3:16 点 2:32 9 IOType I/O タイプを記述します。 必須 10 DevModel 型名を文字列で記述します。 必須 11 CcLinkVer O(Link のパージョン(1.00、1.10、1.11、2.00)を記述します。 必須 11 CcLinkVer M)1.10 必須 12 ExtCycle 拡張サイクリック設定を記述します。 必須 13 NumOccupiedStations 占有局数を記述します。 必須 14 ErrReg エラーコードを格納するアドレス名を記述します。 必須 15 MasterFlg 0: 待機マスタフラグを記述します。省略時は 0 と判断します 任意			総 I/O 点数を記述します。	
8 TotalNumOfIO 1:8 点 任意 2:32 点 3:16 点 1:0 9 IOType I/O タイプを記述します。 必須 0:裏表混在 1:入力 必須 10 DevModel 型名を文字列で記述します。 必須 11 CcLinkVer CC-Link のバージョン(1.00、1.10、1.11、2.00)を記述します。 必須 11 CcLinkVer 位置 位須 12 ExtCycle 拡張サイクリック設定を記述します。 必須 13 NumOccupiedStations 占有局数を記述します。 必須 14 ErrReg エラーコードを格納するアドレス名を記述します。 必須 15 MasterFlg 0: 待機マスタフラグを記述します。省略時は 0 と判断します 任意			0:占有局数依存	
2:32 点 3:16 点 2:32 点 3:16 点 9 IOType I/O タイプを記述します。 0:裏表混在 1:入力 2:出力 3 混在 必須 10 DevModel 型名を文字列で記述します。 必須 11 CcLinkVer CC-Link のバージョン(1.00、1.10、1.11、2.00)を記述します。 例)1.10 必須 12 ExtCycle 拡張サイクリック設定を記述します。 1 倍設定/2 倍設定/4 倍設定/8 倍設定 必須 13 NumOccupiedStations 占有局数を記述します。 例)1 必須 14 ErrReg エラーコードを格納するアドレス名を記述します。 個)RWr1 任意 15 MasterFlg 0:待機マスタフラグを記述します。省略時は 0 と判断します 任意	8	TotalNumOfIO	1:8 点	任意
3:16 点3:16 点9I/O タイプを記述します。 0:裏表混在 1:入力 2:出力 3混在必須10DevModel型名を文字列で記述します。 2:出力 3混在必須11CcLinkVerCC-Link のバージョン(1.00, 1.10, 1.11, 2.00)を記述します。 例)1.10必須12ExtCycle拡張サイクリック設定を記述します。 1 倍設定/2 倍設定/4 倍設定/8 倍設定必須13NumOccupiedStations占有局数を記述します。 例)1必須14ErrRegエラーコードを格納するアドレス名を記述します。 例)RWr1必須15MasterFlg0: 待機マスタフラグを記述します。省略時は0と判断します 0: 待機マスタになれない任意			2:32 点	
9I/O タイプを記述します。 0:裏表混在 1:入力 2:出力 3混在必須10DevModel型名を文字列で記述します。必須11CcLinkVerCC·Link のバージョン(1.00、1.10、1.11、2.00)を記述します。 例1.10必須12ExtCycle拡張サイクリック設定を記述します。 1倍設定/2倍設定/4倍設定/8倍設定必須13NumOccupiedStations占有局数を記述します。 例)1必須14ErrRegエラーコードを格納するアドレス名を記述します。 例)RWr1必須15MasterFlg0:待機マスタフラグを記述します。省略時は0と判断します 0:待機マスタになれない と任意			3:16 点	
9 IOType 0:裏表混在 1:入力 2:出力 3 混在 必須 10 DevModel 型名を文字列で記述します。 必須 11 CcLinkVer CC-Link のパージョン(1.00、1.10、1.11、2.00)を記述します。 例)1.10 必須 12 ExtCycle 拡張サイクリック設定を記述します。 1倍設定/2倍設定/4倍設定/8倍設定 必須 13 NumOccupiedStations 占有局数を記述します。 例)1 必須 14 ErrReg エラーコードを格納するアドレス名を記述します。 例)RWr1 必須 15 MasterFlg 0: 待機マスタフラグを記述します。 15 任意			I/O タイプを記述します。	
9 IOType 1:入力 2:出力 3.混在 必須 10 DevModel 型名を文字列で記述します。 必須 11 CcLinkVer CC・Linkのバージョン(1.00、1.10、1.11、2.00)を記述します。 例)1.10 必須 12 ExtCycle 拡張サイクリック設定を記述します。 1 倍設定/2 倍設定/4 倍設定/8 倍設定 必須 13 NumOccupiedStations 占有局数を記述します。 例)1 必須 14 ErrReg エラーコードを格納するアドレス名を記述します。 例)RWr1 任意 15 MasterFlg 0: 待機マスタフラグを記述します。 任意			0:裏表混在	
2:出力 3 混在 2:出力 3 混在 0 10 DevModel 型名を文字列で記述します。 必須 11 CcLinkVer CC-Link のバージョン(1.00、1.10、1.11、2.00)を記述します。 例)1.10 必須 12 ExtCycle 拡張サイクリック設定を記述します。 1 倍設定/2 倍設定/4 倍設定/8 倍設定 必須 13 NumOccupiedStations 占有局数を記述します。 例)1 必須 14 ErrReg エラーコードを格納するアドレス名を記述します。 例)RWr1 任意 15 MasterFlg 0: 待機マスタフラグを記述します。 任意	9	ІОТуре	1:入力	必須
10 DevModel 型名を文字列で記述します。 必須 11 CcLinkVer CC-Linkのバージョン(1.00、1.10、1.11、2.00)を記述します。 例)1.10 必須 12 ExtCycle 拡張サイクリック設定を記述します。 1 倍設定/2 倍設定/4 倍設定/8 倍設定 必須。 13 NumOccupiedStations 占有局数を記述します。 例)1 必須 14 ErrReg エラーコードを格納するアドレス名を記述します。 省略時は0と判断します 任意 15 MasterFlg 0: 待機マスタフラグを記述します。 任意			2:出力	
10 DevModel型名を文字列で記述します。必須11 CcLinkVerCC-Linkのバージョン(1.00、1.10、1.11、2.00)を記述します。 例)1.10必須12 ExtCycle拡張サイクリック設定を記述します。 1 倍設定/2 倍設定/4 倍設定/8 倍設定条件付 必須 213 NumOccupiedStations占有局数を記述します。 例)1必須14 ErrRegエラーコードを格納するアドレス名を記述します。 例)RWr1任意15 MasterFlg0: 待機マスタフラグを記述します。省略時は 0 と判断します 日本任意			3 混在	
11CcLinkVerCC-Linkのバージョン(1.00、1.10、1.11、2.00)を記述します。 例)1.10必須12ExtCycle拡張サイクリック設定を記述します。 1 倍設定/2 倍設定/4 倍設定/8 倍設定条件付 必須 213NumOccupiedStations占有局数を記述します。 例)1必須14ErrRegエラーコードを格納するアドレス名を記述します。 例)RWr1任意15MasterFlg0: 待機マスタフラグを記述します。省略時は 0 と判断します します。任意	10	DevModel	型名を文字列で記述します。	必須
I1 CcLink Ver 例)1.10 必須 12 ExtCycle 拡張サイクリック設定を記述します。 1 倍設定/2 倍設定/4 倍設定/8 倍設定 条件付 必須 2 13 NumOccupiedStations 占有局数を記述します。 例)1 必須 14 ErrReg エラーコードを格納するアドレス名を記述します。 例)RWr1 任意 15 MasterFlg 0: 待機マスタフラグを記述します。 任意	11	0.1.1.1.1.	CC-Link のバージョン(1.00、1.10、1.11、2.00)を記述します。	过行
12 ExtCycle 拡張サイクリック設定を記述します。 1 倍設定/2 倍設定/4 倍設定/8 倍設定 条件付 必須 2 13 NumOccupiedStations 占有局数を記述します。 例)1 必須 14 ErrReg エラーコードを格納するアドレス名を記述します。 例)RWr1 任意 15 MasterFlg 0: 待機マスタフラグを記述します。省略時は0と判断します 任意	11	Uclink ver	例)1.10	
12 ExtCycle 1倍設定/2倍設定/4倍設定/8倍設定 必須2 13 NumOccupiedStations 占有局数を記述します。 例)1 必須 14 ErrReg エラーコードを格納するアドレス名を記述します。 例)RWr1 任意 15 MasterFlg 0:待機マスタフラグを記述します。省略時は0と判断します 任意	10		拡張サイクリック設定を記述します。	条件付
13 NumOccupiedStations 占有局数を記述します。 例)1 必須 14 ErrReg エラーコードを格納するアドレス名を記述します。 例)RWr1 任意 15 MasterFlg 待機マスタフラグを記述します。省略時は0と判断します 任意	12	ExtCycle	1 倍設定/2 倍設定/4 倍設定/8 倍設定	必須 2
13 NumOccupiedStations 例)1 必須 14 ErrReg エラーコードを格納するアドレス名を記述します。 例)RWr1 任意 15 MasterFlg 6機マスタフラグを記述します。省略時は0と判断します 0:待機マスタになれない 任意	10		占有局数を記述します。	
14 ErrRegエラーコードを格納するアドレス名を記述します。 例)RWr1任意15 MasterFlg待機マスタフラグを記述します。省略時は0と判断します 0:待機マスタになれない 任意任意	13	NumOccupiedStations	例)1	必須
14 ErrReg 例)RWr1 任意 15 MasterFlg 6機マスタフラグを記述します。省略時は0と判断します 6	1.4	R D	エラーコードを格納するアドレス名を記述します。	H +.
15 MasterFlg 待機マスタフラグを記述します。省略時は0と判断します 0:待機マスタになれない 任意	14	ErrReg	例)RWr1	仕恵
15 MasterFlg 0:待機マスタになれない 任意			待機マスタフラグを記述します。省略時は0と判断します	
	15	MasterFlg	0:待機マスタになれない	任意
1: 待機マスタになれる		0	1:待機マスタになれる	,,_,

ま 10 迷信 ノン ク

条件付必須₁: StationType にて2指定時必須

条件付必須 2: CcLink Ver にて 2.00 以上指定時必須

(b) CC-Link IE フィールドネットワーク対応ユニットの場合

下記「通信インタフェース情報一覧パート記述内容(CC-Link IE フィールドネットワーク)」 を参考に、対象ユニット情報を記述します。

安全通信機能に対応するユニットの場合には、「表 14 通信インタフェース情報一覧パート 記述内容(CC-Link IE フィールドネットワーク)」に加え、「

表 15 通信インタフェース情報一覧パート記述内容(CC-Link IE 安全通信機能)」を参考に、 対象ユニット情報を記述します。

対象ユニット情報				LABEL	Π	NAME	DATATYPE	DATA	REMARK
r				1 VendorName		ベンダー名称	STRING_U(64)	サーマルコントロール社	
	坝日	仕禄		2 VendorCode		ベンダーコード	WORD	0x1234	
型式		CL-A1000-IEF		3 CommIFTypeID		通信インタフェースタイプID	STRING(32)	CCLinkIEField	
品名		温調ユニット		4 Version		バージョン	STRING(4)	А	
電源電圧		DC 24V(±10%)		5 ReadVersionType		機器バージョン取得タイプ	STRING(128)	1	
消費電流		200mA 以下		6 nodeType		局タイプ	BYTE	0x34	
寸法		48mm(H) × 48 mm(W) × 70 mm(D)		7 IOType	H	1/0タイプ	UINT16	0	
哲曼		\$150~		8 ModelCode		型名コード	UINT32	1234	
貝里 博波 医肋		#9150g		9 DevModel	TT	モデル名(型名)	STRING(48)	CL-A1000-IEF	
標準価格		34,800円		10 RYSize		RYサイズ	UINT16	32	
通信仕様		CC-Link IE フィールドネットワーク	\mathbf{F}	11 RWwSize	H	RWwサイズ	UINT16	16	
局種別		リモートデバイス局	\mathbf{F}	12 RXSize	11	RXサイズ	UINT16	32	
サイクリック	RX/RY 点数	32点		13 RWrSize		RWrサイズ	UINT16	16	
通信	RWr/RWw 点数	16点		14 Ports		ポート数	UINT8	2	
			15 protocolVersion		プロトコルバージョン	STRING(32)	1		
				16 NodeNumberSettingFlg		ノード番号設定機能の有無	BOOL	0	※ 1
				17 TransientReceptionFlg		トランジェント受信機能の有無	BOOL	1	
				18 SLMPReceptionFlg		SLMP受信機能の有無	BOOL	1	

通信インタフェース情報一覧パート[COMM_IF_INFO]

	<u>表 14 通信イン</u>	タフェース情報一覧パート記述内容(CC-Link IE フィールドネットワー	<u>ク)</u>
No	項目名	入力内容	記述条件
1	VendorName	通信インタフェース情報を作成したベンダー名を記述します。	必須
9	VandarCada	通信インタフェース情報を作成したベンダーのベンダーコードを入力します。	心宿
4	venuorCoue	CC-Link 協会パートナ会員番号 5~8 桁目の前に[0x]を付けて入力します。	必須
		ネットワークプロトコル毎に決められた通信インタフェース情報の種別を示す	
3	CommIFTypeID	ID を記述します。	必須
		「CCLinkIEField」と記述します。	
4	Version	通信インタフェース情報のバージョンを任意の文字列で記述します。	必須
		通信インタフェース情報のバージョンを、CC-Link IE フィールドネット	
		ワーク経由で取得する手段を記述します。	
5	ReadVersionType	NA:取得不可	必須
		NetworkFWVersion:ネットワークのファームウェアバージョン	
		ControllerFWVersion:コントローラのファームウェアバージョン	
6	VendorName2	通信機能を作成したベンダー名を記述します。	任音
0		VendorName と同一の記述の場合には省略できます。	
		局タイプを記述します。	
		0x32:ローカル局	
7	nodeType	0x33:インテリジェントデバイス局	必須
		0x34:リモートデバイス局	
		0x35:リモート I/O 局	
		I/O タイプを記述します。	
		0:裏表混在	
8	ІОТуре	1:入力	必須
		2:出力	
9	ModelCode	型名コードを記述します。	必須
10	DevModel	モデル名(型名)を記述します。	必須
11	ModelName	ユニットから取得可能な型名を記述します。DevModel と同じ場合は省略	任意
		できます。	
12	RYSize	ユニットの RY のサイズを記述します。	必須
13	RWwSize	ユニットの RWw のサイズを記述します。	必須
14	RXSize	ユニットの RX のサイズを記述します。	必須
15	RWrSize	ユニットの RWr のサイズを記述します。	必須
16	Ports	ユニットのポートの数を記述します。	必須
17	protocolVersion	プロトコルバージョンを記述します。	必須
		ノード番号設定機能の有無を記述します。	
18	NodeNumberSettingFlg	0:機能無	必須
		1:機能有	
		トランジェント受信機能の有無を記述します。	
19	TransientReceptionFlg	0:機能無	必須
		1:機能有	
		SLMP 受信機能の有無を記述します。	
20	SLMPReceptionFlg	0:機能無	必須
		1:機能有	

表 15 通信インタフェース情報一覧パート記述内容(CC-Link IE 安全通信機能)

No	項目名	入力内容	記述条件
1	SafetyProtocolVersion	CC-Link IE 安全通信機能プロトコルバージョンを記述します。	必須
2	SafetyNodeType	安全局種別を記述します。	必須
3	SafetyIn_XSize	安全入力データのサイズを記述します。	必須
4	SafetyOut_YSize	安全出力データのサイズを記述します。	必須
5	SupportSafetyCommService	サポートする安全通信サービスを記述します。DWORD 値の各ビット が対象サービスを示し、機器がサポートするサービスを示すビットを ON にしてください。各ビットとサービスの対応は以下の通りです。 ビット 0: IESS-Start ビット 1: IESS-InvokeFunc	任意

(c) SLMP(TCP/IP)対応ユニットの場合

下記「表 16 通信インタフェース情報一覧パート記述内容(SLMP(TCP/IP))」を参考に、対象ユニット情報を記述します。

対象ユニット情報

項目	仕様
型式	CL-A1000-Ethernet
品名	温調ユニット
電源電圧	DC 24V(±10%)
消費電流	200mA 以下
寸法	48mm(H) × 48 mm(W) × 70 mm(D)
質量	約150g
標準価格	34,800円
通信仕様	Ethernet(SLMP)

SLMPコマンドサポート情報

項目	仕様	
SearchNode	サポート	
SetIPAddress	未サポート	
CompareDeviceInformat	未サポート	
GetParameter	サポート	
SetParameter	サポート	
StartSetParameter	サポート	
EndSetParameter	サポート	
CancelSetParameter	未サポート	
ReadStatus	未サポート	
GetCommunicationSetti	未サポート	
ReadStatus2	未サポート	

通信インタフェース情報一覧パート[COMM_IF_INFO]

1 LABEL	Π	NAME	DATATYPE	DATA	REMARK
2 VendorName		ベンダー名称	STRING_U(64)	サーマルコントロール社	
3 VendorCode		ベンダーコード	WORD	0x1234	
4 CommIFTypeID		通信インタフェースタイプID	STRING(32)	Ethernet	
5 Version		バージョン	WORD	0x0001	
6 ReadVersionType		機器バージョン取得方法	STRING(128)	MachineVersion	
7 SupportIPAddressSize	7/	サポートIPアドレスサイズ	UINT16()	4	
8 TimeOutValue		タイムアウト時間	UINT16	30000	
9 SupportElg_SearchNode		サポートフラグ_SearchNode	BOOL 🦰	1	
10 SupportFlg_SetIPAddress		サポートフラグ_SetIPAddress	BOOL	0	
11 SupportFlg_CompareDeviceInfo		サポートフラグ_CompareDeviceInfo	BOOL	0	
12 SupportFlg_GetParam	11	サポートフラグ_GetParam	BOOL	1	
13 SupportFlg_SetParam	11	サポートフラグ_SetParam	BOOL	1	
14 SupportFlg_StartSetParam		サポートフラグ_StartSetParam	BOOL 🔶 🔫	1	
15 SupportFlg_EndSetParam		サポートフラグ_EndSetParam	BOOL	1	
16 SupportFlg_CancelSetParam		サポートフラグ CancelSetParam	BOOL	0	
17 SupportFlg_ReadStatus		サポートフラグ_ReadStatus	BOOL	0	
18 SupportFlg_GetCommSetting	71	サポートフラグ_GetCommSetting	BOOL	0	
19 SupportFlg_ReadStatus2	U	サポートフラグ_ReadStatus2	BOOL 💆	0	<u>*1</u>

No	項目名	入力内容	記述条件
1	VendorName	ユニットを作成したベンダ名称を記述します。	必須
		ユニットを作成したベンダのベンダコードを記述します。	
2	VendorCode	CC-Link 協会パートナ会員番号 5~8 桁目の前に[0x]を付けて入	必須
		力します。	
3	CommIFTypeID	通信インタフェースタイプを示す ID を文字列で記述します。	必須
0		「Ethernet」と記述します。	纪·汉
4	Version	ユニットの機器バージョンを記述します。	必須
5	ReadVersionType	ユニットの機器バージョン取得方法を記述します。	必須
		「MachineVersion」と記述します。	
6	SupportIPAddressSize	IP アドレスのバイトサイズを記述します。	任意
7	TimeOutValue	タイムアウト時間を記述します。	任意
8	SupportFlg_SearchNode	SLMP コマンド" SearchNode "のサポート/未サポートを記述します。	任意
		SLMP コマンド" SetIPAddress "のサボート/未サボートを記述します。	100 -
9	SupportFlg_SetIPAddress	0:木サホート	仕恵
		SLMP コマント" CompareDeviceInformation "のサルート/木サル	
10	SupportFlg_CompareDeviceInfo	ートを記述します。	任意
		0.木りホート 1.サポート	
		I. リかート SIMD コマンド"CotCotDoromotor"のサポート/キサポートを記述	
		SLMF コマンド GetGetFarameter のサホード本サホードを記述 Lます	
11	SupportFlg_GetParam	いませポート	任意
		1:サポート	
		SIMP コマンド" SetParameter "のサポート/未サポートを記述します。	
12	SupportFlg SetParam	0:未サポート	任意
		1:サポート	
		SLMP コマンド" StartSetParameter "のサポート/未サポートを記	
10		述します。	
13	SupportFlg_StartSetParam	0:未サポート	仕思
		1:サポート	
		SLMP コマンド" EndSetParameter "のサポート/未サポートを記	
1/	SupportFlg_EndSotParam	述します。	任音
14	Supporting_Enuberraram	0:未サポート	上心
		1:サポート	
		SLMP コマンド"CancelSetParameter "のサポート/未サポートを	
15	SupportFlg CancelSetParam	記述します。	任意
		0:木サホート	,
10	Constant Flat Day 1Chattan	SLMP コマント" ReadStatus "のサホート/未サホートを記述しよう。	ド卒
16	SupportFig_ReadStatus	0.木り 小一下 1.サポート	仕息
		I.リホート SIMP フマンド" CotCommunicationSofting "のサポート/キサポ	
		SLIMF コマント GetCommunicationSetting のサポード本サポ ートを記述します	
17	$SupportFlg_GetCommSetting$	0:未サポート	任意
		1:サポート	
		SLMPコマンド" ReadStatus2"のサポート/未サポートを記述します	
18	SupportFlg ReadStatus2	0:未サポート	任意
10		1:サポート	,,_,

表 16 通信インタフェース情報一覧パート記述内容(SLMP(TCP/IP))

(d) CC-Link IE フィールドネットワーク Basic 対応ユニットの場合

下記「表 17 通信インタフェース情報一覧パート記述内容(CC-Link IE フィールドネットワ ーク Basic)」を参考に、対象ユニット情報を記述します。

対象ユニット情報

項目	仕様
型式	CL-A1000-B
品名	温調ユニット
電源電圧	DC 24V(±10%)
消費電流	200mA 以下
寸法	48mm(H) × 48 mm(W) × 70 mm(D)
質量	約150g
標準価格	34,800円
通信仕様	Ethernet(SLMP)

SLMPコマンドサポート情報

項目	仕様	•
SearchNode	サポート	
SetIPAddress	未サポート	
CompareDeviceInformat	未サポート	
GetParameter	サポート	
SetParameter	サポート	
StartSetParameter	サポート	
EndSetParameter	サポート	
CancelSetParameter	未サポート	
ReadStatus	未サポート	
GetCommunicationSett	未サポート	
ReadStatus2	未サポート	

/endorName /endorCode CommiFTypeID Contribution ReadWorsinnType ReadWorsinnType Support PhotoresSize Transiti Value Support Fig. SenteMadress Support Fig. SenteMadress Support Fig. Sentematic Support Fig. ReadSite Support ersion Devmodel NumQccupiedStations CCTEFBasicProtocottersion EthernetCompfunction

通信インタフェース情報一覧パート[COMM_IF_INFO]



	<u>表 17 通信インタフェース</u>	情報一覧パート記述内容(CC-Link IE フィールドネットワーク]	<u>Basic)</u>
No	項目名	入力内容	記述条件
1	VendorName	ユニットを作成したベンダ名称を記述します。	必須
		ユニットを作成したベンダのベンダコードを記述します。	
2	VendorCode	CC-Link 協会パートナ会員番号 5~8 桁目の前に[0x]を付けて入	必須
		カします。	
3	CommIFTypeID	通信インタフェースタイプを示す ID を文字列で記述します。	必須
-	X7 ·	「Ethernet」と記述します。	N/F
4	Version	ユニットの機器ハーンヨンを記述します。	业狽
5	ReadVersionType	ユニットの機奋ハーンヨン取得力法を記述します。 「Machine Manaion」 と記述します。	必須
6	Support IPAddroga Siza	「Machine Version」ここに近しより。 ID アドレスのバイトサイズを記述します	仁 音
7	TimeOutValue	タイムアウト時間を記述します。	
8	SupportFlg SearchNode	SIMP コマンド" Search Node "のサポート/未サポートを記述します	任音
0		SLMP コマンド" Set IPAddress "のサポート/未サポートを記述します。	
9	SupportFlg SetIPAddress	0:未サポート	任意
-	FF 8	1:サポート	,,_
		SLMP コマンド" CompareDeviceInformation "のサポート/未サ	
10	Support Fla Compose Dovice Info	ポートを記述します。	仁咅
10		0:未サポート	上尽
		1:サポート	
		SLMP コマンド"GetGetParameter"のサポート/未サポートを記	
11	SupportFlg GetParam	述します。	任意
		0: 未サボート	
10	Support Fla Sot Donom	SLMP コマント" Set Parameter "のサルート/木サルートを記述しより。	た音
14	Supportrig_Setraram	0.木サホート 1.サポート	仁息
		I.ワハート SIMP フマンド" StartSotParamotor "のサポート/去サポートを	
		記述します	
13	SupportFlg_StartSetParam	0:未サポート	任意
		1:サポート	
		SLMP コマンド" EndSetParameter "のサポート/未サポートを記	
14	Support Flg EndSot Daram	述します。	仁咅
14	Support ig_EndSet aram	0:未サポート	工尽
		1:サポート	
		SLMP コマンド"CancelSetParameter "のサポート/未サポートを	
15	SupportFlg CancelSetParam	記述します。	任意
16	Support Flg Bood Status	SLIVIPコマント" ReadStatus "のサホート/末サホートを記述します。 の主サポート	仁音
10	Supporting_ReadStatus	1:サポート	口心
		SLMP コマンド" GetCommunicationSetting "のサポート/未サポ	
		ートを記述します。	14 4
17	SupportFlg_GetCommSetting	0:未サポート	仕恵
		1:サポート	
		SLMP コマンド" ReadStatus2"のサポート/未サポートを記述します。	
18	SupportFlg_ReadStatus2	0:未サポート	任意
		1:サポート	
19	DevModel	モデル名(型名)を記述します。	必須
20	NumOccupiedStations	占有局数を記述します。 1 10 の軟料体を記述したた	必須
	-	1~10 の登叙順を記述しより。	
21	CCIEFBasicProtocolVersion	ししLINK IL ノイールトイツトワーク Basic のフロトコルパーショ いた記述します	任意
		イで山心しより。 Fthornot 機界がサポートしていス通信機能の方無な記述します	
		hitl・CC-Link IE フィールドネットワーク Rosis 通信機能や OM	
22	EthernetCommFunction	にします。	必須
		複数のサービスをサポートする必要がある場合には、複数のビッ	1177
		トを ON した値を記述します。	

(e) CC-Link IE TSN 対応ユニットの場合

下記「通信インタフェース情報一覧パート記述内容(CC-Link IE TSN)」を参考に、対象ユ ニット情報を記述します。

安全通信機能に対応するユニットの場合には、「表 18 通信インタフェース情報一覧パート 記述内容(CC-Link IE TSN)」に加え、「表 19 通信インタフェース情報一覧パート記述内容 (CC-Link IE TSN 安全通信機能)」を参考に、対象ユニット情報を記述します。

対象ユニット情報

型式 CL-A1000-TSN 品名 温調ユニット 電源電圧 DC 24V(±10%) 消費電泳 100mA 以下 寸法 48mm(W) × 48mm(W) × 70mm(D) 質量 約150g 標準価格 34.800円 専用ツール有無 有り 専用ツール名 専用ツール インストールレジストリ値名 AppMain exer(ペスレジストリホー名 SOFTWARE¥AAA exer(ペスレジストリホー名 SOFTWARE¥AAA exer(ペスレジストリホー名 SOFTWARE¥AAA exer(ペスレジストリホー名 SOFTWARE¥AAA exer(ペスレジストリホー名 SOFTWARE¥AAA exer(ペスレジストリたイクショナリファイル名 AppMain EEEE302.1AS 機能 石り 100Mbps<要信機能 有り 100Mbps<要信機能 有り 100Mbps<要信機能 有り 100Mbps<要素 第し 11Gbps フレレートや継機能 有り 100mbp<要素 第し 11Gbp アレレートや継機能 100mbp 第し 2点信でいドデータデフォント・センス 32点 逆信ワードデータデフォント・レンジン 32点 受信ロードデータテント・レンジン 32点		項目	仕様		
品名 温調ユニット 電源電圧 DC 24V(±10%) 消費電流 100mA 以下 寸法 48mm(H)×48mm(W)×70mm(D) 質量 約150g 標準価格 34,800円 専用ツール有無 有り 専用ツール名 専用ツール インストールレジストリキー名 SOFTWARE¥AAA インストールレジストリ値名 AppMain exer(スレジストリオー名 SOFTWARE¥AAA ないジストリシントリキー名 SOFTWARE¥AAA 直信仕様 CC-Link IE TSN 対応CiA規格番号 CiA401 規格に対応 オブジェクトディクショナリファイルA A1234.csv IEEE802.1AS 機能 有り 100Mbps 受信機能 有り 100Mbps 中継機能 有り 100Mbps 中継機能 有り 100Mbps 中継機能 有り 100Mbps 中振電機能 有り 100Mbps 中振電機能 有り 100Mbps 中振電機能 有り 1024点 夏信 夏信しいドータデンオルレート 32点 夏信ロッドデータデンオルレート 16点 夏信ロッドデータテンオルレイン 16点 夏信ロッドデータ最大サイズ 512点 夏信ロッドデータ気大サイズ 512点 夏信ロッドデータアドレス 0x0000123 <t< td=""><td>型式</td><td></td><td colspan="2">CL-A1000-TSN</td></t<>	型式		CL-A1000-TSN		
電源電圧 DC 24V(±10%) 消費電流 100mA 以下 寸法 48mm(H)×48mm(W)×70mm(D) 質量 約150g 標準価格 34.800円 専用ツール有無 有り 専用ツール有無 有り 専用ツールス 専用ツール インストールレジストリキー名 SOFTWARE¥AAA インストールレジストリキー名 SOFTWARE¥AAA マンストールレジストリキー名 SOFTWARE¥AAA マンストールレジストリキー名 CiA401 規格に対応 オブジェクトディクショナリファイル名 Al234.csv IEEE802.1AS 機能 有り 100Mbps 中継機能 有り 100Mbps マルレートウ盤機能 有り 100Mbps マルレートや離機能 有り 100Mbps マルレート中継機能 有り 100Mbps 世球機能 10 100Mbps 世球機能 10 ブロードキャスト・マルチキャスト機能 差信ビットデータデフォルトサイ 32点 愛信ワードデータデフォルトサイ 16点 送信ビットデータ最大サイズ 512点 愛信ワードデータ最大サイズ 512点 愛信ワードデータテドレス 0x0000123 送信ワードデータアドレス 0x0000159	品名		温調ユニット		
消費電流 100mA 以下 寸法 48mm(H) × 48mm(W) × 70mm(D) 質量 約150g 標準価格 34.800円 専用ツール有無 有り 専用ツール 専用ツール インストールレジストリキー名 SOFTWARE¥AAA インストールレジストリキー名 SOFTWARE¥AAA インストールレジストリキー名 SOFTWARE¥AAA インストールレジストリキー名 SOFTWARE¥AAA インストールレジストリセ AppMain exer(スレジストリセー名 SOFTWARE¥AAA インストールレジストリセ AppMain 道信仕様 CC-Link IE TSN 対応CiA規格番号 CiA401 規格に対応 オブジェクトディクショナリファイル名 A1234.csv IEEE802.1AS 機能 有り 100mbps 中継機能 有り 100mbps 中継機能 有り 100mbps マルレートウ催機能 有り 100mbps フルレートウ信機能 有り ブロードキャスト・マルチキャスト機能 有り ブロードキャスト・マルチキャスト機能 有り ジロシテス A 送信ビットデータデフォルトサイ 32点 受信ワードデータテブフォルトサイ 16点 受信ワードデータ最大サイズ 512点 受信ワードデータ最大サイズ 512点 受信ワードデータアドレス 0x0000123 送信ワードデータアドレス 0x0000123 送信ワードデータアドレス 0x0000156 受信ワードデータアドレス 0x0000159	電源電圧		DC 24V(±10%)		
寸法 48mm(H)×48mm(W)×70mm(D) 質量 約150g 標準価格 34.800円 専用ツール有無 有り 専用ツール名 専用ツール インストールレジストリキー名 SOFTWARE¥AAA インストールレジストリキー名 SOFTWARE¥AAA インストールレジストリセー名 SOFTWARE¥AAA インストールレジストリ植名 AppMain exer《スレジストリ地名 AppMain ご名は1 規格に対応 オブジェクトディクショナリファイル名 オブジェクトディクショナリファイル名 A1234.csv EIEE802.1AS 機能 有り 100Mbps 受信機能 有り 100Mbps ジルレート受信機能 有り 100Mbps アルレートや離機能 有り 100Mbps ジロードキャスト・マルチキャスト機能 有り 100Mbps フロードキャスト・マルチキャスト機能 ブロードキャスト・マルチキャスト A 送信ワードデータデフォルトサイ 16点 受信ワードデータテスクテンス A ジェロードデータ表大サイズ 512点 逆信ワードデータテスドレス 0x0000123 逆信ワードデータアドレス 0x0000123 逆信ワードデータアドレス 0x0000123 逆信ワードデータアドレス 0x0000159 </td <td>消費電流</td> <td>ì</td> <td>100mA 以下</td>	消費電流	ì	100mA 以下		
質量 約150g 標準価格 34,800円 専用ツール有無 有り 専用ツールス 専用ツール マンストールレジストリキー名 SOFTWARE¥AAA インストールレジストリキー名 SOFTWARE¥AAA インストールレジストリモ名 SOFTWARE¥AAA exer(スレジストリキー名 SOFTWARE¥AAA exer(スレジストリセータ SOFTWARE¥AAA exer(スレジストリキー名 SOFTWARE¥AAA exer(スレジストリキー名 SOFTWARE¥AAA exer(スレジストリカモー名 SOFTWARE¥AAA exer(スレジストリカモー名 SOFTWARE¥AAA exer(スレジストリカモー名 SOFTWARE¥AAA exer(スレジストリカモータン AppMain 適信(林 CC-Link IE TSN 対応CiA規格番号 CiAd01 規格に対応 オブジェクトディクショナリファイル名 A1234.csv IEEE802.1AS 機能 有り 100Mbps 安信機能 有り 10bps フルレート型信機能 有り ブロードギャスト・マルチキャスト機能 有り ジロードデータデフォルトサイズ 32点 漫信ロードデータデフォルトサイズ 1024点 受信ロードデータデフォルトサイズ 1024点 受信ロードデータテンス A ジェク・データテンス 1024点	寸法		$48 \text{mm}(\text{H}) \times 48 \text{mm}(\text{W}) \times 70 \text{mm}(\text{D})$		
標準価格 34,800円 専用ツール有無 有り 専用ツールス 専用ツール インストールレジストリキー名 SOFTWARE¥AAA インストールレジストリ値名 AppMain exer(スレジストリキー名 SOFTWARE¥AAA exer(スレジストリキー名 SOFTWARE¥AAA exer(スレジストリ値名 AppMain 通信仕様 CC-Link IE TSN 対応CiA規格番号 CiA401 規格に対応 オブジェクトディクショナリファイル名 A1234.csv IEEE802.1AS 機能 有り 100Mbps 安信機能 有り 100Mbps ワルレート受信機能 無し 105bs フルレート中継機能 有り ブロードギャスト・マルチキャスト機能 有り ブロードギャスト・マルチキャスト機能 有り ブロードギャスト・マルチキャスト機能 有り ジェクトデータデフォルトサイ 32点 逆信ワードデータデフォルトサイ 32点 愛信ワードデータデフォルトサイ 16点 愛信ワードデータ最大サイズ 512点 運信の・ドデータアドレス 0x0000123 逆信ワードデータアドレス 0x0000123 逆信ワードデータアドレス 0x0000156 受信ビッドデータアドレス 0x0000159	質量		約150g		
専用ツール有無 有り 専用ツール名 専用ツール インストールレジストリキー名 SOFTWARE¥AAA インストールレジストリ値名 AppMain exer(スレジストリ値名 AppMain exer(スレジストリ値名 AppMain exer(スレジストリ値名 AppMain exer(スレジストリ値名 AppMain exer(スレジストリ値名 AppMain exer(スレジストリ近名 SOFTWARE¥AAA exer(スレジストリカー名 SOFTWARE¥AAA jug CC-Link IE TSN 対応CiA規格番号 CiA401 規格に対応 オブジェクトディクショナリファイル名 A1234.csv IEEE802.1AS 機能 有り 100Mbps 受信機能 有り 100Mbps 中継機能 有り 100Mbps アレレート受信機能 無し 1Gbps フレレートや離機能 有り プロードキャスト・マルチキャスト機能 有り 2回しードデータデフォルトサイ 32点 逆信ワードデータデフォルトサイ 32点 受信ワードデータデフォルトサイ 32点 受信ワードデータ最大サイズ 1024点 受信ワードデータ最大サイズ 512点 逆信ワードデータテンス 0x0000123 逆信ワードデータアドレス 0x0000123 逆信ワードデータアドレス	標準価格	2	34,800円		
専用ソール名 専用ソール マンストールレジストリキー名 SOFTWARE¥AAA インストールレジストリ値名 AppMain exer/スレジストリ値名 AppMain 適信仕様 CC-Link IE TSN 対応CiA規格番号 CiA401 規格に対応 オブジェクトディクショナリファイル名 A1234.csv IEEE802.1AS 機能 有り 100Mbps 受信機能 有り 100Mbps 中継機能 有り 100Mbps 中継機能 有り 100bps フルレート受信機能 無し 1Gbps フルレート受信機能 有り 200Fギャスト・マルチキャスト機能 有り 200Fギャスト・マルチキャスト機能 オリ 逆信 ジャデータデフォルトサイ 32点 受信 ワードデータデフォルトサイ 16点 送信 ジャデータ最大サイズ 512点 受信 ジャデータ最大サイズ 512点 受信 ワードデータテアトレス 0x0000123 送信 ワードデータアドレス 0x0000159 一様 20000753	専用ツー	-ル有無	有り		
インストールレジストリキー名 SOFTWARE¥AAA インストールレジストリ値名 AppMain exerパスレジストリキー名 SOFTWARE¥AAA exerパスレジストリキー名 SOFTWARE¥AAA exerパスレジストリキー名 SOFTWARE¥AAA exerパスレジストリキー名 SOFTWARE¥AAA exerパスレジストリキー名 AppMain 通信仕様 CC-Link IE TSN 対応CiA規格番号 CiA401 規格に対応 オブジェクトディクショナリファイル名 A1234.csv IEEE802.1AS 機能 有り 100Mbps 使信機能 有り 100Mbps 中継機能 有り 100Mbps フルレート受信機能 第り 10bps フルレートや離機能 有り 2回レートウェートウェア・マルチキャスト機能 有り 2回レートウェートウェア・マルチキャスト機能 有り 認証フラス A 2位信・ハデータデフォルトサイ 16点 受信ビットデータ最大サイズ 1024点 受信ワードデータ最大サイズ 1024点 受信ワードデータ最大サイズ 1024点 受信ワードデータテントレス 0x00000123 送信ワードデータアドレス 0x00000123 送信ワードデータアドレス 0x00000159 受信ワードデータアドレス 0x00000159	専用ツー	-ル名	専用ツール		
インストールレジストリ値名 AppMain exerパスレジストリキー名 SOFTWARE¥AAA exerパスレジストリ値名 AppMain 通信仕様 CC-Link IE TSN 対応CiA規格番号 CiA401 規格に対応 オジジェクトディクショナリファイル名 A1234.csv IEEE802.1AS 機能 有り 100Mbps 安信機能 有り 100mbps 中継機能 有り 1010Mbps 中継機能 有り 1010Mbps 中継機能 有り 1010mbps 中継機能 有り 1020mbps 小レートウ信機能 有り 103bs フレート中離機能 有り 20mbp 大トマルチキャスト機能 有り 20mbp 支信ビットデータデフォルトサイ 32点 送信ワードデータデフォルトサイ 16点 受信ワードデータラテン 人営信ワードデータ最大サイズ 512点 受信ワードデータ最大サイズ 512点 2 逆信ワードデータアドレス 0x00000123 2 送信ワードデータアドレス 0x00000123 2 逆信ワードデータアドレス 0x00000159 2	インストー	ールレジストリキー名	SOFTWARE¥AAA		
exeパスレジストリキー名 SOFTWARE¥AAA exeパスレジストリ値名 AppMain 通信仕様 CC-Link IE TSN 対応CiA規格番号 CiA401 規格に対応 オブジェクトディクショナリファイル名 A1234.csv IEEE802.1AS 機能 有り 100Mbps 受信機能 有り 100Mbps 中継機能 有り 100mbps フレートウ蛋債機能 無し 1Gbps フルレート受信機能 有り ブロードキャスト・マルチキャスト機能 有り ジェク ジェクードギャスト・マルチキャスト機能 有り ジェク ダ信ロードデータデフォルトサイ 32点 ジェク ダ信ロードデータデフォルトサイ 16点 受信ロードデータテン ダ信ロードデータラスカルトサイズ 512点 ジェ信 受信ロードデータテンドレス 0x0000123 ジェ信ロードデータアドレス 逆信ロードデータアドレス 0x0000123 ジェ信 ジェ信・データアドレス 0x00000123 ジェ信・データアドレス ジェ信ロードデータアドレス 0x0000159 ジェのの000159	インストー	ールレジストリ値名	AppMain		
exe/ペスレジストリ値名 AppMain 通信仕様 CC-Link IE TSN 対応CiA規格番号 CiAd01 規格に対応 オブジェクトディクショナリファイル名 A1234.csv IEEE802.1AS 機能 有り 100Mps 受信機能 有り 100Mps 少信機能 有り 10bps フルレート受信機能 無し 10bps フルレート受信機能 有り ブロードキャスト・マルチキャスト機能 有り プロードギャスト・マルチキャスト機能 有り プロードギャスト・マルチキャスト機能 有り グロードギャスト・マルチキャスト機能 有り 受信ワードデータデフォルトサイズ 32点 送信ワードデータデフォルトサイズ 32点 受信ロードデータデフォルトサイズ 16点 受信ロードデータ最大サイズ 1024点 愛信ロードデータ最大サイズ 512点 愛信ロードデータ見大サイズ 512点 逆信ロードデータアドレス 0x0000123 送信ロードデータアドレス 0x0000123 送信ロードデータアドレス 0x0000123 送信ロードデータアドレス 0x0000159 受信ビットデータアドレス 0x0000159	exeパスl	レジストリキー名	SOFTWARE¥AAA		
通信仕様 CC-Link IE TSN 対応Ciん規格番号 CiA401 規格に対応 オブジェクトディクショナリファイル名 A1234.csv IEEE802.1AS 機能 有り 100Mbps 受信機能 有り 100Mbps 受信機能 有り 100Mbps 中継機能 有り 10bps フルレート受信機能 無し 10bps フルレート中継機能 有り プロードキャスト・マルチキャスト機能 有り プロードキャスト・マルチキャスト機能 有り プロードギャスト・マルチキャスト機能 有り ジェクトズータテフォルトサイズ 32点 送信ビットデータデフォルトサイズ 32点 受信ビットデータデフォルトサイズ 32点 受信ビットデータ最大サイズ 1024点 受信ビットデータ最大サイズ 512点 送信ビットデータ最大サイズ 512点 送信ビットデータテアドレス 0x0000123 送信ワードデータアドレス 0x0000159	exeパスI	レジストリ値名	AppMain		
対応CiA規格番号 CiA401 規格に対応 オブジェクトディクショナリファイル名 A1234.csv IEEE802.1AS 機能 有り 100Mbps 受信機能 有り 100Mbps 中継機能 有り 10bbps フルレート受信機能 無し 1Gbps フルレート受信機能 有り ブロードキャスト・マルチキャスト機能 有り ブロードキャスト・マルチキャスト機能 有り ジェードキャスト・マルチキャスト機能 なり 送信ビットデータデフォルトサイ 32点 受信ワードデータデフォルトサイ 16点 受信ビットデータ最大サイズ 1024点 送信ビットデータ最大サイズ 512点 受信ビットデータ最大サイズ 512点 受信ワードデータ最大サイズ 512点 受信ワードデータテアドレス 0x0000123 送信ワードデータアドレス 0x0000159	通信仕様	ŧ	CC-Link IE TSN		
オブジェクトディクショナリファイル名 A1234.csv IEEE802.1AS 機能 有り 100Mbps 受信機能 有り 100mbps 少相機能 有り 10mmail (Gbps ブルレート受信機能 新し ブローン受信機能 有り ブローン受信機能 有り ブローン受信機能 有り ブローンテト型に機能 有り ブローンテト型にした 第 ブローンテキャスト・マルチキャスト機能 有り ブローンテキャスト・マルチキャスト機能 有り ブローンテキャスト・マルチャスト機能 有り ジェクラス A 逆信ビットデータデフォルトサイ 32点 受信ビットデータデフォルトサイ 16点 受信ビットデータテフォルトサイ 1024点 逆信ワードデータ最大サイズ 512点 受信ワードデータ最大サイズ 512点 受信ワードデータテアドレス 0x00000123 送信ワードデータアドレス 0x00000123 逆信ワードデータアドレス 0x00000159 火能通知デーダデレス 0x00000753	対応CiA	規格番号	CiA401 規格に対応		
IEEE802.1AS 機能 有り 100Mbps 受信機能 有り 100Mbps 受信機能 有り 100Mbps 中継機能 有り 100Mbps 中継機能 有り 100bps 小レート受信機能 無し 1Gbps ブルレート受信機能 知 1Gbps ブルレートや継機能 有り 200 200 200 200 200 200 200 200 200 20	オブジェク	ウトディクショナリファイル名	A1234.csv		
100Mbps 受信機能 有り 100mbps 中継機能 有り 1Gbps フルレート受信機能 無し 1Gbps フルレート中継機能 有り 2回ードキャスト・マルチキャスト機能 有り 認証 ケラス A 送信ビットデータデフォルトサイ 16点 受信ビットデータデフォルトサイ 32点 逆信ワードデータデフォルトサイ 16点 受信ワードデータテフォルトサイ 16点 受信ワードデータテフォルトサイ 10点 逆信ワードデータテフォルトサイ 10点 逆信ワードデータ最大サイズ 1024点 受信ワードデータ最大サイズ 512点 受信ワードデータ最大サイズ 512点 逆信ワードデータテアドレス 0x00000123 送信ワードデータアドレス 0x00000789 受信ワードデータアドレス 0x00000753	IEEE802.	1AS 機能	有り		
100Mbps 中継機能 有り 1Gbps フルレート受信機能 無し 1Gbps フルレート受信機能 有り プロードキャスト・マルチキャスト機能 有り ジェント・マルチキャスト機能 有り ジェント・マルチャスト・マルチャント・マルチャント・マント・マント・マント・マント・マント・マント・マント・マント・マント・マ	100Mbps	受信機能	有り		
1Gbps フルレート受信機能 無し 1Gbps フルレート中継機能 有り プロードギャスト・マルチキャスト機能 有り ジロードギャスト・マルチキャスト機能 有り 認証クラス A 送信ビットデータデフォルトサイ32点 送信ビットデータデフォルトサイ32点 受信ビットデータデフォルトサイ32点 受信ビットデータテフォルトサイ32点 受信ワードデータデフォルトサイ32点 受信ワードデータテフォルトサイ32点 受信ワードデータテンオルトサイ32点 受信ワードデータ最大サイズ 1024点 受信ワードデータ最大サイズ 512点 逆信ワードデータテアトレス 0x0000123 送信ワードデータアドレス 0x00000789 受信ワードデータアドレス 0x00000753	100Mbps	中継機能	有り		
1Gbps フルレート中継機能 有り フロードギャスト・マルチキャスト機能 有り 認証クラス A 送信ビットデータデフォルトサイズ 32点 受信ビットデータデフォルトサイズ 32点 受信ビットデータデフォルトサイズ 16点 受信ビットデータ見大サイズ 1024点 送信ビットデータ最大サイズ 512点 受信ビットデータ最大サイズ 512点 受信ビットデータ見大サイズ 512点 受信ビットデータ見大サイズ 512点 送信ビットデータ見大サイズ 512点 逆信ワードデータテアドレス 0x0000123 送信ワードデータアドレス 0x00000789 受信ワードデータアドレス 0x00000753	1Gbps フ	リルレート受信機能	無し		
ブロードキャスト・マルチキャスト機能 有り 認証クラス A 送信ビットデータデフォルトサイズ 32点 送信ビットデータデフォルトサイズ 32点 受信ビットデータデフォルトサイ 16点 受信ビットデータテフォルトサイ 16点 受信ビットデータテフォルトサイ 16点 受信ビットデータ最大サイズ 1024点 送信ワードデータ最大サイズ 512点 受信ビットデータ最大サイズ 512点 受信ビットデータテアドレス 0x0000123 送信ワードデータアドレス 0x00000123 送信ワードデータアドレス 0x00000150 受信ビットデータアドレス 0x00000159 世間ワードデータアドレス 0x00000159	1Gbps フ	リルレート中継機能	有り		
認証クラス A 送信ビットデータデフォルトサイ 32点 送信ワードデータデフォルトサイ 16点 受信ビットデータデフォルトサイ 16点 受信ワードデータデフォルトサイ 16点 受信ワードデータテフォルトサイ 16点 受信ワードデータテフォルトサイ 16点 受信ワードデータテフォルトサイ 1024点 送信ビットデータ最大サイズ 512点 受信ワードデータ最大サイズ 512点 受信ワードデータテアドレス 0x00000123 送信ワードデータアドレス 0x00000123 送信ワードデータアドレス 0x00000156 受信ワードデータアドレス 0x00000159 世信ワードデータアドレス 0x00000153	ブロード	キャスト・マルチキャスト機能	有り		
送信ビットデータデフォルトサイ 32点 送信ワードデータデフォルトサイ 16点 受信ビットデータデフォルトサイ 32点 受信ワードデータデフォルトサイ 32点 受信ワードデータデフォルトサイ 32点 受信ワードデータテフォルトサイ 16点 送信ワードデータ最大サイズ 1024点 受信ビットデータ最大サイズ 512点 受信ワードデータ最大サイズ 512点 受信ワードデータ最大サイズ 512点 受信ワードデータテアドレス 0x00000123 送信ワードデータアドレス 0x00000156 受信ワードデータアドレス 0x00000159 状能通知プライドレス 0x00000753	認証クラ	ス	A		
送信ワードデータデフォルトサイ 16点 受信ビットデータデフォルトサイ 32点 受信ワードデータテフォルトサイ 32点 受信ワードデータテフォルトサイ 10点 送信ワードデータ最大サイズ 1024点 逆信ワードデータ最大サイズ 512点 受信ビットデータ最大サイズ 512点 受信ワードデータ最大サイズ 512点 逆信ワードデータ最大サイズ 512点 受信ビットデータテアドレス 0x00000123 送信ワードデータアドレス 0x00000789 受信ワードデータアドレス 0x00000750	送	≤信ビットデータデフォルトサイス	32点		
受信ビットデータデフォルトサイ 32点 受信ワードデータデフォルトサイ 16点 送信ビットデークタテフォルトサイ 16点 送信ワードデークラフォルトサイズ 1024点 少グ 受信ビットデーク最大サイズ 1024点 愛信ワードデーク最大サイズ 512点 受信ワードデーク最大サイズ 512点 愛信ビットデーク最大サイズ 512点 愛信ビットデークテアドレス 0x0000123 送信ワードデータアドレス 0x00000789 受信ワードデークアドレス 0x00000753	送	≤信ワードデータデフォルトサイン	16点		
受信ワードデータデフォルトサイ 16点 送信ビットデーク最大サイズ 1024点 送信ワードデータ最大サイズ 512点 受信ビットデータ最大サイズ 512点 受信ワードデータ最大サイズ 512点 受信ワードデータ最大サイズ 512点 受信ワードデータ最大サイズ 512点 送信ビットデータ最大サイズ 512点 送信ビットデータテドレス 0x0000123 送信ワードデータアドレス 0x00000789 受信ワードデータアドレス 0x00000753	受	そ信ビットデータデフォルトサイス	32点		
サイク 送信ビットデータ最大サイズ 1024点 送信ワードデータ最大サイズ 512点 リック 受信ビットデータ最大サイズ 512点 運信 受信ビットデータ最大サイズ 512点 逆信ビットデータ最大サイズ 512点 送信ビットデータ最大サイズ 512点 送信ビットデータアドレス 0x00000123 送信ワードデータアドレス 0x00000153 受信ビットデータアドレス 0x00000159 状能通知ディズイスアドレス 0x00000753	受	そ信ワードデータデフォルトサイン	16点		
ソウマン 送信ワードデータ最大サイズ 512点 リック 受信ビットデータ最大サイズ 1024点 受信ワードデータ最大サイズ 512点 送信ビットデータ最大サイズ 512点 送信ビットデータアドレス 0x00000123 送信ワードデータアドレス 0x00000456 受信ビットデータアドレス 0x00000789 受信ワードデータアドレス 0x00000159 北部通知ディイスアドレス 0x00000753	止 / s ^逆	≧信ビットデータ最大サイズ	1024点		
通信 受信ビットデータ最大サイズ 1024点 受信ワードデータ最大サイズ 512点 送信ビットデータアドレス 0x00000123 送信ワードデータアドレス 0x00000456 受信ジートデータアドレス 0x00000789 受信ワードデータアドレス 0x00000159 状能通知ディイスアドレス 0x00000753	サイク 逆	≧信ワードデータ最大サイズ	512点		
受信ワードデータ最大サイズ 512点 送信ビットデータアドレス 0x00000123 送信ワードデータアドレス 0x00000456 受信ビットデータアドレス 0x00000789 受信ワードデータアドレス 0x00000159 状能通知ディイスアドレス 0x00000753	通信受	そ信ビットデータ最大サイズ	1024点		
送信ビットデータアドレス 0x0000123 送信ワードデータアドレス 0x00000456 受信ビットデータアドレス 0x00000789 受信ワードデータアドレス 0x00000159 状態通知ディイスアドレス 0x00000753	受	そ信ワードデータ最大サイズ	512点		
送信ワードデータアドレス 0x00000456 受信ビットデータアドレス 0x00000789 受信ワードデータアドレス 0x00000159 状態通知ディイスアドレス 0x00000753	送	≤信ビットデータアドレス	0x00000123		
受信ビットデータアドレス 0x0000789 受信ワードデータアドレス 0x0000159 状能通知デバイスアドレス 0x00000753	送	≧信ワードデータアドレス	0x00000456		
受信ワードデータアドレス 0x00000159 状態通知デバイスアドレス 0x00000753	受	そ信ビットデータアドレス	0x00000789		
状能通知デバイスアドレス 0×00000753	受	そ信ワードデータアドレス	0x00000159		
	状態通知	ロデバイスアドレス	0x00000753		

通信1ノダノエース 旧報一見ハート [COMM_IF_INFO]	通信インタフェー	-ス情報一	覧パート	[COMM_IF	_INFO]
--	----------	-------	------	----------	--------

LABEL		NAME	DATATYPE	DATA	REMARK
1 VendorName		ベンダー名称	STRING U(64)	サーマルコントロール社	
2 VendorCode		ベンダーコード	WORD	0x1234	
3 CommIET vpeID		通信インタフェースタイプID	STRING(32)	CCLinkIETSN	
4 Version		バージョン	UINT16	1	
5 StationMode		ステーションモード設定値	WORD	0x0001	
6 StationModeName		ステーションモード名称	STRING U(32)	モーションモード	
7 LocalFunction		ローカル機能	BOOL	1	
8 AutoSettingHeaderType		自動設定ヘッダ種別	BYTE	0x00	
9 AutoSettingType		自動設定種別	WORD	0x0000	
10 ModelCode		型名コード	UINT32	1234	
11 ModelCodeEx		拡張型名コード	UINT16	9876	
12 DevModel		モデル名	STRING(48)	CL-A1000-TSN	
13 CanProfileNum		対応CiA規格番号	STRING(32)	401	
14 ObjectDictionaryFileName		オブジェクトディクショナリファイル名	STRING(52)	A1234.csv	
15 IEEE802_1ASFunction		IEEE802_1AS機能	BOOL	1	
16 ReceiveFunction100M		受信機能 100Mbps	BOOL	1	
17 RelayFunction100M	T	中継機能_100Mbps	BOOL	1	
18 ReceiveFunction1G		受信機能_1Gbps	BOOL	0	
19 RelayFunction1G		中継機能_1Gbps	BOOL	1	
20 MultiCastFunction		ブロードマルチキャスト機能	BOOL	1	
21 CertificationClass		認証クラス	STRING_U(2)	A	
22 S_B_DefaultSize		送信ビットデータデフォルトサイズ	UINT32	32	
23 S_W_DefaultSize		送信ワードデータデフォルトサイズ	UINT16	16	
24 R B DefaultSize		受信ビットデータデフォルトサイズ	UINT32	32	
25 R_W_DefaultSize		受信ワードデータデフォルトサイズ	UINT16	16	
26 L_B_DefaultSize		リンクリレーのデフォルトサイズ	UINT32	30	
27 L_W_DefaultSize		<u> リンクレジスタのデフォルトサイズ</u>	UINT16	50	
28 S_B_MaxSize		送信ビットデータ最大サイズ	UINT32	1024	
29 S_W_MaxSize		送信ワードデータ最大サイズ	UINT16	512	
30 R B MaxSize		受信ビットデータ最大サイズ	UINT32	1024	
31 R W MaxSize		受信ワードデータ最大サイズ	UINT16	512	
32 L_B_MaxSize		LBの最大サイズ	UINT32	1024	
33 L_W_MaxSize	T	LWの最大サイズ	UINT16	512	
34 S B MinSize		送信ビットデータ最小サイズ	UINT32	1	
35 S_W_MinSize		送信ワードデータ最小サイズ	UINT16	0	
36 R B MinSize		受信ビットデータ最小サイズ	UINT32	2	
37 R_W_MinSize	$\left \right $	受信ワードデータ最小サイズ	UINT16	1	
38 L_B_MinSize		LBの最小サイズ	UINT32	1	
39 L_W_MinSize		LWの最小サイズ	UINT16	1	
40 S_B_Address		送信ヒットデータアドレス	DWORD	0x00000123	
41 S.W. Address		送信ワードデータアドレス	DWORD	0x00000456	
42 R_B_Address		受信ヒットテータアドレス	DWORD	0x00000789	
43 R_W_Address		受信リードテータアドレス	DWORD	UxUUU00159	
44 StsW_Address	+ + +	状態通知テバイスアドレス	DWORD	0x00000753	
45 PDOConfigIndex1		PDOConfigインテックス1	WORD	0x1C00	
46 PDOConfigPDOType1	+ + +	PD0ContigPD0種別1	BILE	UXU1	
4/IPDOContigMemoryAddress1			DWORD	UXUUUUUUUU	
48 PDOConfigPossibleMapping1		IPD0Configマッピンク 候補1	WORD[2]	< <u>Ux1600><0x1601></u>	
49 S_General_Address		汎用送信メモリアドレス	DWORD	UxUUU00741	
50 R_General_Address	- T	汎用受信メモリアドレス	DWORD	0x00000369	※ 1

No	項目名	入力内容	記述条件
1	VendorName	通信インタフェース情報を作成したベンダー名を記述します。	必須
2	VendorCode	通信インタフェース情報を作成したベンダーのベンダーコードを入力 します。CC-Link 協会パートナ会員番号 5~8 桁目の前に[0 x]を付けて 入力します	必須
3	CommIFTypeID	ネットワークプロトコル毎に決められた通信インタフェース情報の種別 を示すIDを記述します。 「CCLinkIETSN」と記述します。	必須
4	Version	通信インタフェース情報のバージョンを任意の文字列で記述しま す。	必須
5	StationMode	ステーションモードの設定値を記述します。	任意
6	StationModeName	ステーションモードの名称を記述します。	注1
7	LocalFunction	ローカル機能を記述します。 0:無効 1:有効	任意
8	AutoSettingHeaderType	ヘッダ種別番号(0x00~0xFF)を記述します。	任意
9	AutoSettingType	自動設定種別を記述します。 0x0000:機能無し(デフォルト) 0x0001:個別パラメータのみ設定可能 0x0002:一括パラメータのみ設定可能	任意
10	ModelCode	型名コードを記述します。	必須
11	ModelCodeEx	拡張型名コードを記述します。	任意
12	DevModel	モデル名(型名)を記述します。	必須
13	CanProfileNum	対応 CiA 規格番号を記述します。 401:CiA401 規格に対応 402:CiA402 規格に対応	任意
14	ObjectDictionaryFileName	オブジェクトディクショナリファイル名を拡張子(.csv)も含めて記述します。 ※ファイル名に使用できる文字は半角のアルファベット、数字、記号です。	注 2
15	IEEE802_1ASFunction	IEEE802.1AS の機能の有無を記述します。 0:機能無 1:機能有	必須
16	ReceiveFunction100M	100Mbps フルレート受信機能の有無を記述します。 0:機能無 1:機能有	必須
17	RelayFunction100M	100Mbps フルレート中継機能の有無を記述します。 0:機能無 1:機能有	必須
18	ReceiveFunction1G	1Gbps フルレート受信機能の有無を記述します。 0:機能無 1:機能有	必須
19	RelayFunction1G	1Gbps フルレート中継機能の有無を記述します。 0:機能無 1:機能有	必須
20	MultiCastFunction	ブロードキャスト・マルチキャスト機能の有無を記述します。 0:機能無 1:機能有	必須
21	CertificationClass	認証クラスを示す文字を記述します。	必須
22	S_B_DefaultSize	送信ビットデータ(RX)のデフォルトサイズをビット数で記述しま す。	必須
23	S_W_DefaultSize	送信ワードデータ(RWr, TPDO, 汎用送信アクセス)のデフォルト サイズをワード数で記述します。	必須
24	R_B_DefaultSize	受信ビットデータ(RY)のデフォルトサイズをビット数で記述しま す。	必須
25	R_W_DefaultSize	受信ワードデータ(RWw, RPDO, 汎用受信アクセス)のデフォルト サイズをワード数で記述します。	必須
26	L_B_DefaultSize	リンクリレーデータ(LB)のデフォルトサイズをビット数で記述し ます。	任意

表 18 通信インタフェース情報一覧パート記述内容(CC-Link IE TSN)

No	項目名	入力内容	記述条件
27	L_W_DefaultSize	リンクレジスタデータ(LW)のデフォルトサイズをワード数で記述 します。	任意
28	S_B_MaxSize	送信ビットデータ(RX)の最大サイズをビット数で記述します。	必須
29	S_W_MaxSize	送信ワードデータ(RWr, TPDO, 汎用送信アクセス)の最大サイズ をワード数で記述します。	必須
30	R_B_MaxSize	受信ビットデータ(RY)の最大サイズをビット数で記述します。	必須
31	R_W_MaxSize	受信ワードデータ(RWw, RPDO, 汎用受信アクセス)の最大サイズ をワード数で記述します。	必須
32	L_B_MaxSize	リンクリレーデータ(LB)の最大サイズをビット数で記述します。	任意
33	L_W_MaxSize	リンクレジスタデータ(LW)の最大サイズをワード数で記述します。	任意
34	S_B_MinSize	送信ビットデータ(RX)の最小サイズをビット数で記述します。	任意
35	S_W_MinSize	送信ワードデータ(RWr, TPDO, 汎用送信アクセス)の最小サイズ をワード数で記述します。	任意
36	R_B_MinSize	受信ビットデータ(RY)の最小サイズをビット数で記述します。	任意
37	R_W_MinSize	受信ワードデータ(RWw, RPDO, 汎用受信アクセス)の最小サイズ をワード数で記述します。	任意
38	L_B_MinSize	リンクリレーデータ(LB)の最小サイズをビット数で記述します。	任意
39	L_W_MinSize	リンクレジスタデータ(LW)の最小サイズをワード数で記述します。	任意
40	S_B_Address	送信ビットデータ(RX)通信に使用する先頭アドレスを記述します。	注 3
41	S_W_Address	送信ワードデータ(RWr)通信に使用する先頭アドレスを記述しま す。	注 3
42	R_B_Address	受信ビットデータ(RY)通信に使用するメモリアドレスを記述しま す。	注 3
43	R_W_Address	受信ワードデータ(RWw)通信に使用するメモリアドレスを記述し ます。	注 3
44	StsW_Address	状態通知デバイス(StsW)用のメモリアドレスを記述します。	必須
45	PDOConfigIndex+X 注 6	PDO コンフィグのインデックスを記述します。	注 4
46	PDOConfigPDOType+X 注 6	PDO コンフィグの PDO 種別を記述します。 0x00:RPDO 0x01:TPDO	注 5
47	PDOConfigMemoryAddress+X 注 6	PDO コンフィグのメモリアドレスを記述します。	注 5
48	PDOConfigPossibleMapping+X 注 6	PDO コンフィグの PDO Assignment で設定可能な PDO マッピン グオブジェクトを配列で優先順に記述します。	注 5
49	S_General_Address	汎用送信アクセス用メモリアドレスを記述します。	注 3
50	R General Address	汎用受信アクセス用メモリアドレスを記述します	注。

注 1: StationMode が記述されていない場合は記述禁止です。StationMode が記述されている場合、「StationModeName」 は必須です。

注 2: CAN 対応機器(CanProfileNum が書かれた機器)は必須です。非対応時は記述禁止です。

注3:通信可能な通信種別のメモリアドレス情報は必須です。通信不可な通信種別のメモリアドレスは記述禁止です。 注4: PDO 通信を行う機器は必須です。必要な数だけ記述します。非対応時は記述禁止です。

注 5: PDOConfigIndex が記述されている場合、対応した要素を必ず記述します。PDOConfigIndex が記述されていない場 合は、記述禁止です。

注 6:X に数値を入れて記述する要素については、以下に従って記述します。

・数値が同じ要素は、表に示す順番で記述し、かつ必ず連続して記述します。

・連番で記述する必要があり、番号の省略(飛び番)は禁止します。

・要素の順で昇順となるように記述します。

	表 19 通信インタ	フェース情報一覧パート記述内容(CC-Link IE TSN 安全通信機能)	
No	項目名	入力内容	記述条件
1	SafetyProtocolVersion	CC-Link IE TSN 安全通信機能プロトコルバージョンを記述します。	任意
		安全局種別を記述します。	
2	SafetyNodeType	0x02:安全ローカル	注 2
		0x06:安全リモート	
		サポートしている安全通信層のサービスを記述します。DWORD 値	
		の各ビットが対象サービスを示し、機器がサポートするサービスを示	
9	SunnovtSafatyCommSowia	すビットを ON にしてください。各ビットとサービスの対応は以下の	》注: _
3	SupportSatetyCommService	通りです。	任.1
		ビット 0 : IESS-Start	
		ビット 1:IESS-InvokeFunc	
		サポートしている安全機能を記述します。DWORD 値の各ビットが対	
		象サービスを示し、機器がサポートするサービスを示すビットを ON	
4	SupportSafetyInvolveFune	にしてください。各ビットとサービスの対応は以下の通りです。	注。
4	SupportSatetymvokerune	ビット 0 : 局固有 ID 情報照合	任.1
		ビット1:局固有設定情報チェックコード照合	
		ビット2:局固有設定情報書き込み	
5	S_Safe_DefaultSize	安全送信ビットデータのデフォルトサイズをビット数で記述します。	注 2
6	S_Safe_MaxSize	安全送信ビットデータの最大サイズをビット数で記述します。	注 2
7	S_Safe_MinSize	安全送信ビットデータの最小サイズをビット数で記述します。	注 2
0	C Cofo Addrogg	安全送信データ通信用サブペイロードに格納するデータの先頭アドレ	》十 -
0	S_Sale_Address	スを記述します。	任 3
9	R_Safe_DefaultSize	安全受信ビットデータのデフォルトサイズをビット数で記述します。	注 2
10	R_Safe_MaxSize	安全受信ビットデータの最大サイズをビット数で記述します。	注 2
11	R_Safe_MinSize	安全受信ビットデータの最小サイズをビット数で記述します。	注 2
12	R_Safe_Address	安全受信データ通信用サブペイロードの先頭アドレスを記述します。	注4

注₁:安全対応機器以外(SefetyProtocolVersion が記述されていない機器)は記述禁止です。

注 2: 安全対応機器(SefetyProtocolVersion が記述されている機器)の場合は必須です。それ以外は記述禁止です。

注3:安全送信機能を持つ機器(安全送信データ最大サイズが1以上の機器)の場合は必須です。それ以外は記述禁止です。 注4:安全受信機能を持つ機器(安全受信データ最大サイズが1以上の機器)の場合は必須です。それ以外は記述禁止です。



通信入力一覧パートには、要素が存在しません。パートに対象ユニット情報を記述するためには、 まず要素の追加を行います。以下にパートへの要素追加方法を示します。 ワークウィンドウ内でマウス右ボタンを押下し、[要素の追加]を選択します。

	• / · · / · / ·	Cill of			- / 0
CommIfInput x					•
LABEL	LABEL2	CATEGORY	NAME	DATATYPE	DEFA
	⊐ピ-(C)	Ctrl+C			
	貼り付け (P)	Ctrl+V			
	削除(D)	Delete			
	切り取り(X)	Ctrl+X			
	要素の追加(A)				
	要素の削除(E)				
	参照先を開く(0)				
	参照のコピー(Y)				
	参照の貼り付け(Т)			

選択した行の上に新しい行が追加されます。

\square	Co	nmIfInput	×					-
		LABEL		LABEL2	 CATEGORY	NAME	 DATATYPE	DEFA
1								

下記「表 20通信入力一覧パート記述内容」を参考に、対象ユニット情報を記述します。 通信入力一覧パートは、対象ユニットが入力接点や入力情報、設定値やフラグ等を実装している 場合に記述します。通信入力一覧パートの詳細については、Control & Communication システ ムプロファイル仕様書(5.3.2)を参照してください。

対論	ミュニット情報 通信入力一覧パート[COMM_IF_INPUT]									
デバイン	ス入力(CL-A1000→マスタ)	LABEL	LA CA	NAME	DATATYPE	ACCESS	ASSIGN UL	REF	CO	REMARK
デバイスNo.	実装内容	T RX0		制御史力	BOOL	RF	RX0	BlockSection BlockOutput RX0		
RX0	制御出力	2 RX10	********	送信完了	BOOL	// RF	RX10	BlockSection BlockOutput RX11		
RX1 ₹	未使用	8 InitialDataProcess 4 InitialDataSetCom	Red	イニシャル設定完了	BOOL BOOL	RF	RX18 RX19	BlockSection BlockOutput RX18 BlockSection BlockOutput RX19		
RXF RX10	ハンドシェイクフラグ 送信完了	6 RemoteReady		エラー状態 リモートREADY	BOOL	RF	RX1A RX1B	BlockSection.BlockOutput RX14 BlockSection.BlockOutput RX18	1	
RX11 ≷ RX17	未使用 (システムで使用)	7 RW/0 8 RW/1 9 RW/2		未使用1 コマンドレスポンス 未使用2	WORD STRUCT Struct1	RF RF RF	RWr0 RWr1 RWr2	BlockSection.BlockOutput.RWT	<u> </u>	
RX18	イニシャル処理要求	10 RW/3		センサデータ	WORD *1	/ RF	RWr3	BlockSection BlockOutput RWr3	1	※ 2
RX19	イニシャル設定完了	7								
RX1A	エラー状態	/ ※1 構造体パ-	-トを参照してし	います。構造体ノ	パートの詳細は、	528章を参照	してください。			
RX1B	IJモ−ŀREADY		ロビナ何キョ	はしたいで/ださ					~	
RX1C RX1D	リザーブ				要要	素を追力	し、各項	頁目へ情報を入力	しま	ます。
RX1E RX1F	OS定義	/								
リモートレ	レジスタ(CL-A1000→マスタ)									
デバイスNo.	実装内容									
RWr0	未使用									
RWr1	コマンドレスポンス									
RWr2	未使用									
RWr3	センサデータ									

表 2	0 通信フ	、カー	・覧パー	F	·記述内容
-----	-------	-----	------	---	-------

		衣 20 通信八刀一寬八一下記並內谷	
No	項目名	入力内容	記述条件
1	LABEL	要素を識別するためのラベルを記述します。	必須
-		例)RX0	2.7
		要素を識別するためのラベルを記述します。	1.4.74
2	LABEL2	CSP+を使用するユーティリティソフトウェアが他の言語に対応する際に	任意
	a		10
3	CATEGORY	要素をグループ化するための分類を記述します。	任意
		要素の名称を記述します。	
4	NAME	ユーティリティソフトウェアに要素の名称や内容を表示する際に使用します。	任意
		例)制御出力	
5	ΠΑΤΑΤΥΡ Ε	要素のデータ型を記述します。	仁音
0	DAIAIIIE	共通情報パートの構造体パート(STRUCT)を参照することができます。	工品
6	DEFAULT	要素に設定する初期値を記述します。	任意
7	RANGE	要素の設定範囲を記述します。	任意
8	MIN_INC	ENG_UNIT と共に要素の値に適用する最小単位を記述します。	任意
9	ENG_UNIT	MIN_INC と共に要素の値に適用する工学単位を記述します。	任意
10	ACCESS	要素のアクセス属性を記述します。	任意
11	ASSICN	要素の値を割り付けるリモート入出力や、リモートレジスタを記述します。	仁音
11	ASSIGN	例)RX0	仁息
12	UI_ATTRIBUTE	要素をユーティリティソフトウェアに表示する際の表示方法を記述します。	任意
		参照しているブロック出力一覧パート(BLOCK_OUTPUT)の要素を記述し	
13	REF	ます。	任意
		例)BlockSection.BlockOutput.Rx0	
14	COMMENT	要素の説明や値毎の意味、および使用する際の注意点を記述します。	任意

REF項目には、参照しているブロック出力一覧パートの要素を記述しています。 項目に参照している特定の要素を記述する手順を以下に示します。 参照先の要素の番号上でマウスの右ボタンを押下し、[参照のコピー]を選択します。

	Co	mmIfInput	B	lockC	Jutput	×		
	LA	BEL	LA	CA	NAME			DATATYPE
1	RX	0			制御出江	力 一		BOOL
2	RX	10			送信室:	7		BOOL
3		コピー(C)			Ctrl+	-C	要求	BOOL
4					or de		完了	BOOL
5) 賄ワわけ(P)	ļ		Utri+	٠v		BOOL
6		削除(い)			Dele	te	[BOOL
7		Daws (C)			Dere	~~	_	WORD
8		切り取り(X))		Ctrl+	·Х	2	BYTE
9								BOOL
10		要素の追加の	A)					WORD
ш								WORD
		要素の削除((E)					
		参照先を開	<(0)					
		参照のコピ	-(^)					
		参照の貼り	付け(T)				

参照を記述する REF 項目にてマウスの右ボタンを押下し、[参照の貼り付け]を選択します。

	CommIfI	nput 🗙	В	lock0	utput			
	ACCESS	ASSIGN	UI	REF			CO	REMARK
1	RF	RX0		Block	kSectior	n.BlockOutput.RX0		
2	RF	RX10					1	
3	RF	RX18			=	コピー(C)		Ctrl+C
4	RF	RX19			B	より/st(+ / の)		Otrl±V
5	RF	RX1A			~	10100(F)		Culty
2	RF	RXIB			Ĕ.	削除(D)		Delete
6	DE	DWA 1		_	+	Thenha		otal v
Q	RE	RW/2			ų	00ACO(A)		Cun+X
10	RF	RWr3			a	毎末 小学 かんか		
					3	そ素の1回加(A)		1
					3	要素の削除(E)		
					(tidak	◎照先を開く (○)		
					tides	参照のコピー(Y)		
					, têk	参照の貼り付け(T)		

参照が記述されます。

\square	CommIfI	nput 🗙	В	lockOutput			
	ACCESS	ASSIGN	UI	REF		CO	REMARK
1	RF	RX0		BlockSection	BlockOutput RX0		
2	RF	RX10		BlockSection	BlockOutput.RX10	. .	
3	RF	RX18				• • • • • • • • • • • • • • • • • • •	
4	RF	RX19					
5	RF	RX1A					
6	RF	RX1B					
7	RF	RWr0					
8	RF	RWr1					
9	RF	RWr2					
10	RF	RWr3					



下記「表 21 通信出力一覧パート記述内容」を参考に、対象ユニット情報を記述します。 通信出力一覧パートは、対象ユニットが出力接点や出力情報、設定値やフラグ等を実装している 場合に記述します。通信出力一覧パートの詳細については、Control & Communication システ ムプロファイル仕様書(5.3.3)を参照してください。

対象ユニット情報

通信出カー覧パート[COMM_IF_OUTPUT]

テバイ	ス出力(マスタ→CL-A1000)	LABEL	LA CA	NAME	DATATYPE	ACCESS	ASSIGN	UI REF	CO.	. REMARK
デバイスNo.	実装内容	1 / RY10		送信要求	BOOL	RE	BY10	Block Section Block Input B	10	
RY0		2 InitialDataProcessComp		イドルル処理完了	BOOL	// RF	BY18	BlockSection Block Input B	18	
,	土体田	3 InitialDataSetBeg		イニシャル設定要求	BOOL /	RE	BY19	BlockSection Block Input R	19	Y
, i	不使用	4/1 Error Beset Beg		エラーリヤット	BOOL	BE	BY1A	Block Section Block Input B	'1A /	1
RYF		5 Ruhull		*********	WORD	TIRE	Rule	BlockSection Block Input B	uwf)	
RY10	ハンドシェイクフラグ 送信要求	6 Bilder 1		送信コマンド	WORD	RE	Bilden 1	BlockSection BlockInput B	ปณ 1	
RY11		7 RWw2		2182321	WORD	BE	RWw2	BlockSection BlockInput R	dw2	
2	未使用	8 Rilling		送信データ	WORD	// BE	RWw3	BlockSection BlockInput B	w3 /	/ *1
RY17	(システムで使用)					//				
RY18	イニシャル処理完了	×1 REMARK項目に	は何も記	述しないでくださし	,۱ _°				_	
RY19	イニシャル設定要求									
<u>k</u>						い チャックロ 十回	→ 1 <i>N</i> 7	75 0 13 10 2 1 -	_ 1	
RY1A	エラーリセット	1			日本	ィュロル	日に谷	旧日へ喧歌な人	フレチ	T.
RY1A RY1B	エラーリセット				安来	を迫加	し、谷	- 頃日へ 情報を人力	リレま	す。
RY1A RY1B RY1C	エラーリセット				安系	を迫加	」し、 谷	頃日へ情報を人力	リしま	T .
RY1A RY1B RY1C RY1D	エラーリセット				安来	を追加	」し、谷	・ 頃日へ 情報 を 人 ノ	Jしま	J .
RY1A RY1B RY1C RY1D RY1E	エラーリセット				安来	を迫加	」し、谷	「現日へ情報を人」	リレま	<mark>9</mark> .
RY1A RY1B RY1C RY1D RY1E RY1F	エラーリセット リザーブ OS定義				安来	を迫加	」し、谷	山日へ情報を入	リレま	J .
RY1A RY1B RY1C RY1D RY1E RY1F	エラーリセット リザーブ OS定義				安来	を迫加		- 項日へ情報を入入	JUE	9 .
RY1A RY1B RY1C RY1D RY1E RY1F JE-F	エラーリセット リザーブ OS定義 レジスタ(マスタ→CL-A1000) 実装の交				安来	を迫加	<mark>」し、</mark> 谷	- 頃日へ情報を入り		<mark>9</mark> .
RY1A RY1B RY1C RY1D RY1E RY1F リモート デバイスNo.	エラーリセット リザーブ OS定義 レジスタ(マスターCL-A1000) 実表内容 手の日				安来	を迫加	<mark>」し、</mark> 谷	・項日へ情報を入)		<mark>9</mark> 0)
RY1A RY1B RY1C RY1D RY1E RY1F リモート デパイスNo. RWw0	エラーリセット リザーブ OS定義 レジスタ(マスターCL-A1000) 実装内容 末使用 迷使コンパ				安茶	を迫加	<mark>」し、</mark> 谷	- 頃日へ 情報を入)		<mark>9</mark> 0)
RY1A RY1B RY1C RY1D RY1E RY1F リモート デバイスNo. RWw0 RWw1 BWw2	エラーリセット リザーブ OS定義 レジスタ(マスタ→CL-A1000) 実装内容 末使用 送信コマンド + 使用				安来	を迫加	<mark>」し、</mark> 谷	- 頃日へ情報を入入		<mark>9</mark> 0
RY1A RY1B RY1C RY1C RY1E RY1F リモート デパイスNo. RWw0 RWw1 RWw2 PWw2	エラーリセット リザーブ OS定義 レジスタ(マスターCL-A1000) 実装内容 未使用 送信コマンド 未使用 送信コマンド				安茶	で迫加		- 頃日へ 情報を入入		J .

No	項目名	入力内容	記述条件
1	LABEL	要素を識別するためのラベルを記述します。 例)RY10	必須
2	LABEL2	要素を識別するためのラベルを記述します。 CSP+を使用するユーティリティソフトウェアが他の言語に対応する際に 使用します。	任意
3	CATEGORY	要素をグループ化するための分類を記述します。	任意
4	NAME	要素の名称を記述します。 ユーティリティソフトウェアに要素の名称や内容を表示する際に使用します。 例)送信要求	任意
5	DATATYPE	要素のデータ型を記述します。 共通情報パートの構造体パート(STRUCT)を参照することができます。	任意
6	DEFAULT	要素に設定する初期値を記述します。	任意
7	RANGE	要素の設定範囲を記述します。	任意
8	MIN_INC	ENG_UNIT と共に要素の値に適用する最小単位を記述します。	任意
9	ENG_UNIT	MIN_INC と共に要素の値に適用する工学単位を記述します。	任意
10	ACCESS	要素のアクセス属性を記述します。	任意
11	ASSIGN	要素の値を割り付けるリモート入出力や、リモートレジスタを記述します。 例)RY10	任意
12	UI_ATTRIBUTE	要素をユーティリティソフトウェアに表示する際の表示方法を記述します。	任意
13	REF	参照しているブロック入力一覧パート(BLOCK_INPUT)の要素を記述します。 例)BlockSection.BlockInput.RY10	任意
14	COMMENT	要素の説明や値毎の意味、および使用する際の注意点を記述します。	任意

表 21 通信出力一覧パート記述内容

(6) 通信パラメーター覧パート(COMM_IF_PARAMETER)への記述



下記「表 22 通信パラメーター覧パート記述内容」を参考に、対象ユニット情報を記述します。 通信パラメーター覧パートは、ネットワーク経由で設定および参照の両方を行うことができる通 信コマンドを使用する場合に記述します。通信パラメーター覧パートの詳細については、Control & Communication システムプロファイル仕様書(5.3.4)を参照してください。

対象ユニット情報

通信パラメーター覧パート[COMM_IF_PARAMETER]

⊐⊽ Write	ンド Read	項目	内容	設定値		LABEL	LA CATEG	ORY NAI	1E	\mathcal{D}	ASSIGN	UI	WR	REF	CO	REMARK
01	81	しきい値1	しきい値(上限)の設定・ 確認が行えます。	H'0000~H'0320:0°C~800°C	1	Prm01	BASIC	しき	<u>)値1</u>	/	<0x01><0x81>			BlockSection.BlockParameter.Prm	1	
02	82	しきい値2	しきい値(下限)の設定・ 確認が行えます。	H'0000~H'0320:0°C~800°C	3	Prm02 Prm03	ADVAN	UE TH	<u>, 11世2</u>	$\langle \rangle$	<0x02><0x82>			BlockSection.BlockParameter.Prmi BlockSection BlockParameter Prmi	3	
03	83	エコモード	Ecoの設定・確認が行え ます。	H'0000: ディスプレイ表示常時点灯 H'0001: ディスプレイ表示常時消灯	4	Prm04	DIAGNO	OSTIC 温度	取得	12	<0x04><0x84>			BlockSection.BlockParameter.Prm	<u>ر ل</u>	<u></u> *1
94	84	温度取得	6.7。 温度を取得します。	H'0002:操作後10秒でディスプレイ消灯		₩1 RE	MARK項目に	は何も記述	しないて	:< †	<i>ざ</i> さい。					
05	-	データチャネルロード	データバンクから動作設 定を読み込むことができ ます。	H10000:データチャネル1から読込 H10001:データチャネル2から読込 H10002:データチャネル3から読込					ſ	F	医表を追	חת י	1.	各項日へ情報を入	<u>л</u> і.т	* *
06	-	データチャネルセーブ	現在のセンサアンブの設 定をデータバンクへ書き 込むことができます。	H0000: データチャネル1へ書込 H0001: データチャネル2へ書込 H0002: データチャネル3へ書込					l		又示とに	ЛН			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	<u>~ 7 o</u>
07	-	データバンク使用状況	データバンクの使用状況 を返します。	H0000:データチャネル1を確認 H0001:データチャネル2を確認 H0002:データチャネル3を確認												
08	-	リセット	センサのリセットが行えま ナ	-												

表 2	2 通信ハ	゚ヺ	メー	ター	覧パー	F	記述内容
-----	-------	----	----	----	-----	---	------

No	項目名	入力内容	記述条件
1	LABEL	要素を識別するためのラベルを記述します。 例)Prm01	必須
2	LABEL2	要素を識別するためのラベルを記述します。 CSP+を使用するユーティリティソフトウェアが他の言語に対応する際に 使用します。	任意
3	CATEGORY	要素をグループ化するための分類を記述します。	任意
4	NAME	要素の名称を記述します。 ユーティリティソフトウェアに要素の名称や内容を表示する際に使用します。 例)しきい値1	任意
5	DATATYPE	要素のデータ型を記述します。 共通情報パートの構造体パート(STRUCT)を参照することができます。	任意
6	DEFAULT	要素に設定する初期値を記述します。	任意
7	RANGE	要素の設定範囲を記述します。	任意
8	MIN_INC	ENG_UNIT と共に要素の値に適用される最小単位を記述します。	任意
9	ENG_UNIT	MIN_INC と共に要素の値に適用される工学単位を記述します。	任意
10	ACCESS	要素のアクセス属性を記述します。	任意
11	WRITE_ORDER	要素をユニットに書込む際の順番を記述します。	任意
12	ASSIGN	要素に対して割り付けるアドレスやコードを記述します。 例)<0x01><0x81>	注1
13	UI_ATTRIBUTE	要素をユーティリティソフトウェアに表示する際の表示方法を記述します。	任意
14	REF	参照しているブロックパラメーター覧パート(BLOCK_PARAMETER)の 要素を記述します。 例)BlockSection.BlockParameter.Prm01	任意
15	COMMENT	要素の説明や値毎の意味、および使用する際の注意点を記述します。	任意

注1: CC-Link IE TSN の場合は必須です。他のネットワークでは、任意となります。

(7) 通信コマンド一覧パート(COMM_IF_COMMAND)への記述





下記「表 23 通信コマンド一覧パート記述内容」を参考に、対象ユニット情報を記述します。 通信コマンド一覧パートは、CC-Link または CC-Link IE フィールドネットワーク経由で設定を 行う通信コマンドを使用する場合に記述します。通信コマンド一覧パートの詳細については、 Control & Communication システムプロファイル仕様書(5.3.5)を参照してください。

対象ユニット情報

通信パラメーター覧パート[COMM_IF_PARAMETER]

1	レド	項目	内容	設定値		LABEL	LA	CA	NAME		AR	REF	CO	REMARK
01	81	しきい値1	しきい値(上限)の設定・ 確認が行えます。	H'0000~H'0320:0°C~800°C	1	Cmd05			データチャ データチャ	·ネルロード ·ネルセーブ		BlockSection.BlockCommand.Cmd05 BlockSection BlockCommand.Cmd06	ì	
02	82	しきい値2	しきい値(下限)の設定・ 確認が行えます。	H'0000~H'0320:0°C~800°C	37	Cmd07			データチャ	ネル使用状況		BlockSection.BlockCommand.Cmd07		
03	83	エコモード	Ecoの設定・確認が行え ます。	H'0000:ディスブレイ表示常時点灯 H'0001:ディスプレイ表示常時消灯 H'0002:操作後10秒でディスプレイ消灯	4	Qmd08			リセット	1 == > b 1 /		BlockSection.BlockCommand.Cmd08	/	<u> </u>
04	84	温度取得	温度を取得します。	-	1	×1 RE	-MAR	K項E	目には何ら	も記述しないて	こくてここ			
05	-	データチャネルロード	データバンクから動作設 定を読み込むことができ ます。	H'0000 : データチャネル1から読込 H'0001 : データチャネル2から読込 H'0002 : データチャネル3から読込						要素をi	自加	し、各項目へ情報を入っ	りしき	ます。
06	-	データチャネルセーブ	現在のセンサアンプの設 定をデータバンクへ書き 込むことができます。	H'0000:データチャネル1へ書込 H'0001:データチャネル2へ書込 H'0002:データチャネル3へ書込										
07	-	データバンク使用状況	データバンクの使用状況 を返します。	H'0000 : データチャネル1を確認 H'0001 : データチャネル2を確認 H'0002 : データチャネル3を確認										
08	-	リセット	センサのリセットが行えま す。	-										

衣 23 頭信コマノト一見ハート記がい	表	23 通信	コマン	ドー覧	パート	·記述内	容
---------------------	---	-------	-----	-----	-----	------	---

No	項目名	入力内容	記述条件
1	LABEL	要素を識別するためのラベルを記述します。 例)Cmd05	必須
2	LABEL2	要素を識別するためのラベルを記述します。 CSP+を使用するユーティリティソフトウェアが他の言語に対応する際に使 用します。	任意
3	CATEGORY	要素をグループ化するための分類を記述します。	任意
4	NAME	要素の名称を記述します。 ユーティリティソフトウェアに要素の名称や内容を表示する際に使用しま す。 例)データチャネルロード	任意
5	ARGUMENT	使用する引数を示すために、コマンド引数一覧パート (COMMAND_ARGUMEN)に対応するラベルを記述します。	任意
6	REF	参照しているブロックコマンド一覧パート(BLOCK_COMMAND)の要素を 記述します。 例)BlockSection.BlockCommand.Cmd05	任意
7	COMMENT	要素の説明や値毎の意味、および使用する際の注意点を記述します。	任意

(8) 通信メソッド一覧パート(METHOD)への記述 通信メソッド一覧パートは、通信インタフェースに CC-Link を使用してパラメータ設定、また はコマンドを実行する場合に記述します。 通信メソッド一覧パートを表示します。 □ 100 [1.00a](ja) 🚊 🗁 FILE 🗄 🕀 FileSection (ファイル情報) [FILE] B- DEVICE 🗄 🕀 DeviceSection (デバイス情報) [DEVICE] E COMM_IF 📄 🕆 CommIfSection (通信インタフェース情報) [COMM_IF] ---- 💊 CommIfInfo (通信インタフェース情報一覧) [COMMIF_INFO] ----◇ CommIfOutput (通信出力一覧) [COM<mark>| 通信メソッド一覧パートを示す</mark> ---- 💊 CommIfParameter (通信パラメーター [METHOD]を選択します。 ♦ CommIfCommand (通信コマンドー 覧) [CUM______AND] Method1 (3 BLOCK

下記「表 24 通信メソッド一覧パート記述内容」を参考に、通信コマンド実行に関する情報を記述します。

通信メソッド一覧パートは、パラメータ処理・コマンド実行画面に表示する際、通信コマンド実行サービスの手順を記述します。通信メソッド一覧パートの詳細については、Control & Communication システムプロファイル仕様書(5.3.6)を参照してください。

						通信ハノハ	見いい			50]				
	LABEL	LA CA	NAME	TARGE	Т	METHOD_TYPE	WRITE_REGIST	ER	WRI	TE_DATA		WRITE_DATATYPE		
1	WriteParam		パラメータ書込	CommIf	Parameter.*	PARAMETER	<r\ww1.0><\$(DL</r\ww1.0>	JMMY)> <r\w< td=""><td>3> \$(AS</td><td>SSIGN)<\$(VALUE)></td><td></td><td><byte><byte><\$</byte></byte></td><td>(DATATYPE)></td><td></td></r\w<>	3> \$(AS	SSIGN)<\$(VALUE)>		<byte><byte><\$</byte></byte>	(DATATYPE)>	
2	ReadParam		パラメータ読出	CommIf	Parameter.*	PARAMETER	<\$(DUMMY)> <f< td=""><td>(Ww 1.0></td><td>\$(AS</td><td>SSIGN)</td><td></td><td><byte><byte></byte></byte></td><td></td><td></td></f<>	(Ww 1.0>	\$(AS	SSIGN)		<byte><byte></byte></byte>		
3	MethLoad		データチャネルロード	CommIf	Command.Cmd05	COMMAND	<rww1.0><rww< td=""><td>/8></td><td><0x0</td><td>15><\$(ARGUMENT.Ar</td><td>g RWw3.VALUE)></td><td><byte><\$(ARGUN</byte></td><td>MENT.Arg RWw3.DATATYP</td><td>E)></td></rww<></rww1.0>	/8>	<0x0	15><\$(ARGUMENT.Ar	g RWw3.VALUE)>	<byte><\$(ARGUN</byte>	MENT.Arg RWw3.DATATYP	E)>
4	MethSave		データチャネルセーブ	CommIf	Command.Cmd06	COMMAND	<r\w1.0><r\w< td=""><td>/3></td><td><0x0</td><td>)6><\$(ARGUMENT.Ar</td><td>g RWw3.VALUE)></td><td><pre><byte><\$(ARGUN</byte></pre></td><td>MENT.Arg RWw3.DATATYP</td><td>E)></td></r\w<></r\w1.0>	/3>	<0x0)6><\$(ARGUMENT.Ar	g RWw3.VALUE)>	<pre><byte><\$(ARGUN</byte></pre>	MENT.Arg RWw3.DATATYP	E)>
5	MethBankUse		データチャネル使用状況	CommIf	Command.Cmd07	COMMAND	<r\\ 1.0=""><r\\< td=""><td>/8></td><td><0x0</td><td>)7><\$(ARGUMENT.Ar</td><td>g RWw3.VALUE)></td><td><byte><\$(ARGUN</byte></td><td>MENT.Arg RWw3.DATATYP</td><td>E)></td></r\\<></r\\>	/8>	<0x0)7><\$(ARGUMENT.Ar	g RWw3.VALUE)>	<byte><\$(ARGUN</byte>	MENT.Arg RWw3.DATATYP	E)>
6	MtReset		リセット	CommIf	Command.Cmd08	COMMAND	RWw1.0		0×08	}		BYTE		
	READ_RE	GISTER	READ_DATA		READ_DATATYPE		INTERLOCK	REQ_FLAG	END_CO	NDITION	ERR_CONDITION	ERR_REGISTER	ER RE COMMENT	REMARK
							RX10==OFF	RY10=ON	RX10==	ON&&RWr1==0x0000	RWr1!=0x0000	RWr1	パラメータを書き	¥j.A.
	RW/3		\$(VALUE)		\$(DATATYPE)		RX10==OFF	RY10=ON	RX10==	ON&&RWr1==0x0000	RWr1!=0x0000	RWr1	パラメータを読る	み出
							RX10==OFF	RY10=ON	RX10==	ON&&RWr1==0x0000	RWr1!=0x0000	RWr1	しきい値を読み	▶出
							RX10==OFF	RY10=ON	RX10==	ON&&RWr1==0x0000	RWr1!=0x0000	RWr1	現在のしきい値	直を
	RWr3		\$(ARGUMENT.Arg RWr3.Vr	ALUE)	\$(ARGUMENT.Are	; RWr3.DATATYPE) RX10==OFF	RY10=ON	RX10==	ON&&RWr1==0x0000	RWr1!=0×0000	RWr1	データバンクの(吏
							RX10==OFF	RY10=ON	RX10==	ON&&RWr1==0x0000	RWr1!=0x0000	RW1	リセットすること	
	※1 REMARK	項目には	何も記述しないでください	۱ <u>۰</u>										
		х д		0									<u> </u>	
										西またい	白土山 /	文百日~	懐恕 たえ カト	ナナ
										女米でル			IF FK で 八 八 し	ノより。

表 24 通信メソッド一覧パート記述内容

No	項目名	入力内容	記述条件
1	LABFL	要素を識別するためのラベルを記述します。	必須
T	LADEL	例)WritePram	北次
		要素を識別するためのラベルを記述します。	
2	LABEL2	CSP+を使用するユーティリティソフトウェアが他の言語に対応する際	任意
		に使用します。	
3	CATEGORY	要素をグループ化するための分類を記述します。	任意
		要素の名称を記述します。	
4	NAME	ユーティリティソフトウェアに要素の名称や内容を表示する際に使用し	必須
		ます。	
		当該メソッドで処理される通信パラメーター覧パート	
5	TARGET	(COMM_IF_PARAMETER)や通信コマンド一覧パート	必須
0	million	(COMM_IF_COMMAND)を記述します。	
		例)CommIfParameter.* (通信パラメーター覧パートに記載の全要素)	
		METHODの種別を記述します。	
6	METHOD_TYPE	PARAMETER:パラメータ処理画面に表示	必須
		COMMAND: コマンド実行画面に表示	
7	WRITE REGISTER	書込みを行うリモート出力やリモートレジスタを記述します。	任意
·		例) <rww1.0><\$(DUMMY)><rww3></rww3></rww1.0>	
		書込みを行う値を記述します。	
8	WRITE DATA	WRITE_REGISTER で指定したレジスタ数と同数の書込み値を記述し	任意
-	_		,,_,
		例)\$(ASSIGN)<\$(VALUE)>	
		書込みを行うリモート出力やリモートレンスタのアータ型を記述します。	
9	WRITE_DATATYPE	WRITE_REGISTER で指定したレンスタ数と回数のアータ型を記述し ナナ	任意
		$\mathcal{L}^{\mathfrak{g}}_{\mathfrak{g}}$	
10	DEAD DECISTED	例/SDILE>SDILE=SDILE>SDILE=SDILE>SDILE=SDILE>SDILE=SD	た音
10	READ_REGISTER	記山しを打りりて一下八刀やりて一下レンベクを記処しまり。	仁息
11	ργλη ηλτλ	武山した他の俗酌元の参照を記述しまり。 DFAD DECISTED で指定したレジスタ粉と同粉の詰出し値の故幼生な	仁音
11	READ_DAIA	READ_REGISTER C相圧したレンスク数と回数の試出し他の俗称元を 記述します	仁息
		此にしより。 諸山しな行ら川エートルカわ川エートレジフタのデータ刑を記述します。	
19	ΒΕΛΟ ΟΛΤΑΤΥΡΕ	配田して打ファー「ババイテー」ドレンバンのアーク主て記述しより。 BFAD BFCISTFR で指定したレジスタ粉と同物のデータ刑を記述しま	任音
14	READ_DATATITE	TEAD_TEODIETER C相足したレンバン数と向数のソーン主を記述しよ	工品
		7。 インタロック田のリモートス出力やリモートレジスターお上び on/off 出	
13	INTERLOCK	能生たけ値を記述します	任音
10	INTEREDOR	\overline{M})RX10==OFF	
		ハンドシェイクを実施する場合の要求フラグを代入式で記述します	
14	REQ_FLAG	$\overline{\phi}$) \mathbf{R} (10=ON	任意
		ハンドシェイクを実施する場合の正常完了条件を記述します	
15	END_CONDITION	$(\bar{\phi})$ RX10==ON&&RWr1==0x0000	任意
		ハンドシェイクを実施する場合の異常完了条件を記述します	
16	ERR_CONDITION	$\overline{\phi}$]RWr1!=0x0000	任意
		エラー発生時に値を格納するリモートレジスタを記述します。	
17	ERR_REGISTER	例 $RW r 1$	任意
18	ERR CODE RANGE	エラーコードの範囲を示します。	任意
19	RELATED METHOD	METHODパートの前処理を示す METHODパートへの参照を記述します。	任意
20	COMMENT	要素の説明や値毎の意味、および使用する際の注意点を記述します。	任意
-0			

【注意】任意入力の項目でも他の項目に関連して条件付必須となる場合もあります。

(9) 通信メッセージー覧パート(MESSAGE)への記述 通信メッセージー覧パートは、通信インタフェースに CC-Link IE フィールドネットワークを使 用し、SLMP でパラメータ設定またはコマンドを実行する場合に記述します。 通信メッセージー覧パートを表示します。



下記「表 25 通信メッセージ一覧パート記述内容」を参考に、通信コマンド実行に関する情報を 記述します。

通信メッセージー覧パートは、通信メソッド一覧パートと同様に通信コマンド実行サービス手順の記述の他、トランジェント命令やデータフォーマットを指定した通信サービスを実行する場合に記述します。通信メッセージー覧パートの詳細については、Control & Communication システムプロファイル仕様書(5.3.7)を参照してください。

		/					
	LABEL	LABEL2	CATEGORY	NAME-J	NAME-E	TARGET	
1	SLMPWriteParam			パラメータ書込	Write parameter	CommIfParameter.*	
2	SLMPReadParam			パラメータ読出	Read parameter	CommIfParameter.*	
3	SLMPReset			リセット	Reset	CommIfCommand.CmdReset	

ERR_CODE_RANGE	MESSAGE_TYPE	REQUEST_TYPE	REQUEST_DATA	
	PARAMETER	wrReqMT_Binary	<0x1613><0x0000>\$(ASSIGN)<0x0001>\$(VALUE)	I
	PARAMETER	rdReqMT_Binary	<0x0613><0x0000>\$(ASSIGN)<0x0001>	
	COMMAND	wrReqMT_Binary	<0x1006><0x0000><0x0001>	

REQUEST_DATA_TYPE	RESPONSE_TYPE	RESPONSE_DATA	RESPONSE_DATA_TYPE
<word><word><word><word></word></word></word></word>	wrResMT_Binary	(省略)	(省略)
<word><word><word></word></word></word>	rdResMT_Binary	\$(VALUE)	\$(DATATYPE)
<word><word></word></word>	wrResMT_Binary		(省略)

ERR_TYPE	RELATED_MESSAGE	COMMENT	REMARK			
wrErrMT_Binary		パラメータを書き込みます。	※ 1			
rdErrMT_Binary		パラメータを読み出します。	*1			
wrErrMT_Binary		リセットすることで、エラー状態を OFF します。	<u>×1</u>			
※1 DEMADIU 項目には何と記述しないでください						

※1 REMARK 項目には何も記述しないでください。

要素を追加し、各項目へ情報を入力します。

表	25	诵信	メ	ッセー	-ジ-	一覧パー	- ト	記述内容
1			/	/ _	~	<u>70</u>		

No	項目名	入力内容	記述条件	
1	LABEL	要素を識別するためのラベルを記述します。	必須	
		例/SLMPClearwarningLog 画書を禁则するためのラベルを記述します		
9	LABEL 2	安奈を載加りるためのフィルを記述しより。 CSP+を伸田するユーティリティソフトウェアが他の言語に対応する際	任音	
		に使用します。	工心	
3	CATEGORY	要素をグループ化するための分類を記述します。	任意	
		要素の名称を記述します。		
4	NAME	ユーティリティソフトウェアに要素の名称や内容を表示する際に使用し	必須	
		ます。		
	TARGET	当該メッセージで処理する要素を記述します。		
5		例)CommlfCommand.ClrWarningLogCommand (通信コマンド一覧	必須	
		ハートの要素) MECCACE パートの毎回な記法します		
		MESSAGEハートの種別を記述します。 DARAMETER・パラメータ処理両面に表示		
		TARAMETER: ハノメーク処理画面に表示 COMMAND: コマンド実行画面に表示		
		OTHER・ユーティリティソフトウェアには表示せず		
6	MESSAGE TYPE	RELATED MESSAGE 項目により他のメソッドから呼び出され	必須	
Ū		3		
		AUTO_PARAMETER : CC-Link IE TSN の場合にスレーブ局のパラ		
		メータ自動設定用メッセージであることを示します。CC-Link IE		
		TSN のみで使用可能です。		
		要求処理を行うためのデータフォーマットのタイプを記述します。		
_		詳細については以下を参照してください。		
7	REQUEST_TYPE	・CC-Link IE フィールドネットワーク仕様書(SLMP 仕様 機要編)5.2、	必須 注 1	
		例/WrKeqMT_Binary DEOLIDET TYDE 頂日で指定するデータフレーマットな用いて送信す		
		REQUESI_IIPE 項目で指定りるアータフォーマットを用いて送信り ス値を記述します		
		達細については CC-Link IE フィールドネットワーク仕様書(SLMP 仕		
8	REQUEST_DATA	様 概要編)5.6および5.7~5.16の対象となる要求データ構造を参照して	任意	
		ください。		
		例)<0x1613><0x0000><0x000018E><0x0001><0xFFFF>		
0	REGUEST DATATVE	REQUEST_DATA 項目のデータ型を記述します。	仁咅	
9	REQUEST_DATATITE	例) <word><word><dword><word></word></dword></word></word>	上心	
		応答処理を行うためのデータフォーマットのタイプを記述します。		
10	RESPONSE TYPE	詳細については以下を参照してください。	任意	
-		・CC-Link IE フィールドネットワーク仕様書(SLMP 仕様 概要編)5.2	1-12	
		わよい 5.3 DECDONCE TVDE 頂日で指定するデータフェーマットにより広然加		
		ILLSIONSE_IIIE 項目(相圧りる)、クノオーマクトにより心合処 理が近す値を コーティリティソフトウェアトで枚納するための変粉を		
		空が返す値を、ニーブイブブイブブーウェアエで倍相するための変数を 記述します		
11	RESPONSE_DATA	応答処理が返す値の詳細については、CC-Link IE フィールドネットワ	任意	
		ーク仕様書(SLMP 仕様 概要編)5.6 および 5.7~5.16 の対象となる応答		
		データ構造を参照してください。		
12	RESPONSE_DATA_TYPE	RESPONSE_DATA 項目のデータ型を記述します。	任意	
12	EBB TVPE	エラー発生時の対応処理で用いられるデータフォーマットのタイプを記	任音	
13 1		述します。		
14	ERR_CODE_RANGE	エフーコードの範囲を示します。	任意	
15	RELATED_MESSAGE	MESSAGE バートの前処埋を示す MESSAGE バートへの参照を記述し ます。	任意	
16	COMMENT	要素の説明や値毎の意味、および使用する際の注意点を記述します。	任意	
ž	Eı: CC-Link IE TSN の場合は	必須ではない場合があります。詳細については Control & Communication シス	テムプロ	

ファイル仕様書(4.3.1)を参照してください。

【注意】任意入力の項目でも他の項目に関連して条件付必須となる場合もあります。

各項目の詳細については、Control & Communication システムプロファイル仕様書(4.3.1)を参 照してください。

<u>5.2.6 ブロック情報(BLOCK)セクションの記述</u>

ブロック情報セクションには、対象ユニットの機能について記述します。 以下にブロック情報セクションに記述する内容を示します。

はじめに、以下に対象ユニットの情報とブロック情報セクションの対応を、CC-Link 対応ユニットの 場合で示します。



ブロック情報セクションのブロック出力一覧、ブロック入力一覧に設定する内容に注意してください。 ブロック出力一覧に入力情報、ブロック入力一覧に出力情報を設定する必要があります。 詳細については Control & Communication システムプロファイル仕様書(4.2.4 章)を参照してください。
ブロック情報セクションは以下のパートで構成されています。 次項の手順に従って、デバイス情報を該当するパートへ入力してください。

表	26	ブ	П	w/	ケー	青報セ	ク	シ	Ξ	ン	な	檑₽	女す	ろ	パー	F
1	10	_		/ /	· 1		/	~	-	~	÷	111/2	\sim /	~		

No	表	内容
1	ブロック情報一覧	対象ユニットのメーカ名・メーカコード・バージョンについて記述
T	(BLOCK_INFO)	します。
9	ブロック入力一覧	
2	(BLOCK_INPUT)	彼能ノロソクのハノ) 情報に りいて 乱処 しよ り。
2	ブロック出力一覧	燃出ブロックの出力結果について記述します
ა	(BLOCK_OUTPUT)	彼能ノロソクの山刀情報に リいて 記述 しより。
4	ブロックパラメータ一覧	制御機能のゴール刑・知期は、恐定銃囲について記述します
4	(BLOCK_PARAMETER)	前御機能のゲーク空・初期値・設定範囲について記述します。
F	ブロックコマンド一覧	制御機能で安存せて人人に開せて桂却について記述します
Э	(BLOCK_COMMAND)	前御機能で美生する御室に関する情報について記述します。

プロジェクトを新規作成した段階では、ブロック情報セクションはまだ作成されていません。

ブロック情報を入力するためには、ブロック情報セクションおよび各パートを作成する必要があります。

ブロック情報セクションおよび各パートの作成手順を示します。

(1) ブロック情報セクションの作成

BLOCK フォルダ上でマウスの右ボタンを押下し、[セクションの追加]を選択します。

20-61-		- I X
🖃 🚰 CL-A100	00[1.00a](ja)	
🕀 📴 FILE		
🚊 🕂 Fil	eSection (ファイル情報	质)[FILE]
🖨 🔁 DEVI	CE	
🚊 🔧 De	eviceSection (デバイス	情報) [DEVICE]
COM	M IF	
the ste Cr		ンタフェース情報)[COMM_IF]
		SAN SUNNY LOOM (2011
	ראר (G)	
	EFECH(H)	
	通りれたり	
	参照のコピー(Y)	
	削除(<u>D</u>)	
	セクションの追加(S)	
	パートの追加(工)	
	ブロパティ(R)	

下記「表 27 ブロック情報セクションの作成」を参考に番号①~⑤を入力し、[作成]ボタンを押下 します。

ラベルおよびコメントの詳細については、Control & Communication システムプロファイル仕様 書(4.3.1)を参照してください。

ションの新規作成	×
わちごう (番別(5)	
BLOCK	
COMM_IF	
Sector Sector Sector	
セクションのLABEL(L)	
セクションのCOMMENT(C)	
BLOCK_INFO@LABEL(B)	4
BLOCK_INFO@COMMENT(M)	
作历线	キャンセル

表 27 ブロック情報セクションの作成

番号	入力内容	入力例	備考
	新規作成するセクショ	[BLOCK] を	[BLOCK]ブロック情報セクション
Ū	ン	選択	[COMM_IF]通信インタフェース情報セクション
0	ブロック情報セクショ	Plack-Section	付録 1. ラベル名に使用できない文字に注意して、英数字列
4	ンを識別するラベル	DIOCKSection	32 文字以内でラベル名を入力します。
0	ブロック情報セクショ	ブロック桂却	ブロック信報セクションの説明笑を任音で入力します
0	ンに対するコメント	ノロソク同報	クロック情報ビグションの読切等を任息した力しより。
	ブロック情報一覧パー	DlashTafa	付録 1. ラベル名に使用できない文字に注意して、英数字列
4	トを識別するラベル	DIOCKINIO	32 文字以内でラベル名を入力します。
ß	ブロック情報一覧パー	ブロック情報	ブロック信報一覧パートの説明笑な任音で入力します
9	トに対するコメント	一覧	ノロック旧報一見ハートの読明寺を仕息て八刀しより。

ブロック情報セクションの作成が完了しました。

セクションの新規作成ダイアログにて入力した内容は、以下のように表示します。

יע-צבי- 👻 ד 🗙 🗸 און אין א
⊟ <mark>@</mark> CL-A1000[1.00a](ja)
🖕 🗁 FILE
🖶 🗁 DEVICE
🗄 🕀 DeviceSection (デバイス情報) [DEVICE]
🖶 🗁 COMM_IF
🗄 🕀 CommIfSection (通信インタフェース情報) [COMM_IF]
BLOCK ⁽¹⁾
🗄 🕀 BlockSection (ブロック情報) [BLOCK]
🦣 BlockInfo (ブロック情報一覧) [BLOCK_INFO]
4 5

ここで作成したセクションにパート(表 26 を参照)を作成します。

(2) パートの作成

ブロック情報一覧パートは、自動生成されます。残りのパートを作成します。 以下に示す例では、ブロック入力一覧パートを作成します。 ブロック情報セクション上でマウスの右ボタンを押下し、[パートの追加]を選択します。

1991-Bai-	▼ # ×				
∰ CL-A1000[1.00a](ja)					
🖕 🇁 FILE					
🗄 🔩 FileSection (ファイル情報) [FILE]					
🗄 🔩 DeviceSection (デバイス情報) [DEVICE]					
COMM_IF					
🗄 🕀 CommIfSection (通信インタフェース情報) [COMM_IF]					
BLOCK					
¦aॡ BlockSection (ブロ	コ <u>ック情報) [BLOCK]</u>				
🧼 💊 BlockInfo (ブロ	ר ⊐ピー(<u>C</u>) עדס]				
	貼り付け(<u>P</u>)				
	参照のコピー(Y)				
	肖·J『赤(D)				
セクションの追加(S)					
	パートの追加(工)				
	プロパティ(<u>R</u>)				

下記「表 28 ブロック情報セクションのパート作成」を参考に番号①~③を入力し、[作成]ボタン を押下します。

ートの新規作成				X
表種別(<u>S</u>)				
BLOCK INPUT BLOCK_OUTPUT BLOCK_PARAMETER BLOCK_COMMAND STRUCT ENUM COMMAND_ARGUMENT CONDITION		,	h	
LABEL(<u>L)</u>		,	2	
COMMENT(C)		,	3	
ELEM(要素数 ④	(°E5%		キャンセル	

コメント部分については、任意で入力してください。

		<u>表 28 ブロック情報</u> も	<u> アクションのパート作成</u>
番号	記述内容	入力例	備考
1	作成するパート	ブロック入力一覧を示 す[BLOCK_INPUT]を 選択	[BLOCK_INPUT]ブロック入力一覧パート [BLOCK_OUTPUT]ブロック出力一覧パート [BLOCK_PARAMETER]ブロックパラメーター覧パ ート [BLOCK_COMMAND]ブロックコマンド一覧パート
			[STRUCT][ENUM][COMMAND_ARGUMENT] [CONDITION]については、5.2.8 共通情報パートを 参照してください。
2	パートを識別するラ ベル	BlockInput	付録 1. ラベル名に使用できない文字に注意して、英数字列 32 文字以内でラベル名を入力します。
3	作成するパートに対 するコメント	ブロック入力一覧	作成するパートの説明等を任意で入力します。
4	作成する要素数	20	パート内に作成する要素数を指定します。初期値は 20 となっています。 ここで指定するのは、パート作成時に生成される数で す。パート内の要素は、パート作成後に追加または削 除して数を変更できます。

ブロック入力一覧パートの作成が完了しました。

パートの新規作成ダイアログにて入力した内容は、以下のように表示します。



他のパートについても、同様の手順で作成してください。 次項に作成したパートへの記述内容を示します。



下記「表 29 ブロック情報一覧パート記述内容」を参考に、対象ユニット情報を記述します。 ブロック情報一覧パートの詳細については、Control & Communication システムプロファイル仕 様書(5.4.1)を参照してください。

	ブロック情報一覧パート[BLOCK_INFO]								
	LABEL	LABEL2	CATEGORY	NAME	DATATYPE	DATA	REMARK		
1	VendorName	ベンダー名称	COMMON	ベンダー名称	STRING U(64)	サーマルコントロール社			
2	VendorCode	ベンダーコード	COMMON	ベンダーコード	WORD	0x0000			
3	Version	バージョン	COMMON	バージョン	STRING(16)	LODA	<u>*1</u>		
	※1 REMARK項目には何も記述しないでください。								

Į	該当す	る要素の	DATA項目	~情報を人力	します。

表 29 ブロック情報一覧パート記述内	容
---------------------	---

No	LABEL	入力内容	記述条件
1	VendorName	ブロック情報を作成したベンダー名を記述します。	必須
2	VendorCode	ユニットを作成したベンダーのベンダーコードを入力します。 CC-Link 協会パートナ会員番号 5~8 桁目の前に[0x]を付けて入力し ます。	必須
3	Version	ブロック情報のバージョンを記述します。任意の文字列で記述可能です。	必須



下記「表 30 ブロック入力一覧パート記述内容」を参考に、対象ユニット情報を記述します。 ブロック入力一覧パートは、対象ユニットが実装している出力接点や出力情報、設定値やフラグ 等を使用する場合に記述します。ブロック入力一覧パートの詳細については、Control & Communication システムプロファイル仕様書(5.4.2)を参照してください。

対象ユニット情報

ブロック入力一覧パート[BLOCK_INPUT]

デバイ	ス出力(マスタ→CL-A1000)	1		LABEL	LA.	C	NAME	DATATYPE	DE	Π	CO	REMARK	
デバイスNo.	実装内容		1	RY10			送信重求	BOOL		-+)	·		
RY0			7	RY18			イーシャル処理完了	BOOL		= ##	===<		
,	+ 佶田	17	2	RV10			イニシャル設定再少	BOOL			ì		
· ·	不反而	\boldsymbol{V}	-	DV1A			コーンマルはメモタイト	POOL		11	1		
RYF		1	Z				1.7-912212	TWODD		-++-			
RY10	ハンドシェイクフラグ 送信要求		0	DUU 1			本は用	WORD		//	· · ·		
RY11	土体田	17	<u>P</u>	RWWI				WORD		- 11			
2	* (システムで使用)	17	19	RWW2			未使用	WORD		-]]		× 4	
RY17		<u> </u>	8	RWW3			透信データ	WORD	7	-4	1	×1	
RY18	イニシャル処理完了			※1 RE	MAR	「頂目	目には何も記述しな	いでください	· ·	$\langle \rangle$			
RY19	イニシャル設定要求		1	/					5	\mathbf{X}			
RY1A	エラーリセット		/					1 Hin 1 / 17 TH	ю.		±17 ->. ·	1 + 1 + +	
RY1B							安系を追	加し、谷坦	日く	1頁:	報を	ヘハレよう。	,]
RY1C	リザーブ	17											_
RY1D		17											
RY1E	OS定義	11											
RY1F		I/											
リモート	レジスタ(マスタ→CL-A1000)	1											
デバイスNo.	実装内容	1											
RWw0	未使用												
RWw1	送信コマンド												
RWw2	未使用												
RWw3	送信データ]											

		<u>衣 30 / ビ / グ 八川 見八 下 山 迎 川 谷</u>	
No	項目名	入力内容	記述条件
1	LABEL	要素を識別するためのラベルを記述します。 例)RY10	必須
2	LABEL2	要素を識別するためのラベルを記述します。 CSP+を使用するユーティリティソフトウェアが他の言語に対応する際 に使用します。	任意
3	CATEGORY	要素をグループ化するための分類を記述します。	任意
4	NAME	要素の名称を記述します。 ユーティリティソフトウェアに要素の名称や内容を表示する際に使用し ます。 例)送信要求	必須
5	DATATYPE	要素のデータ型を記述します。	必須
6	DEFAULT	要素に設定する初期値を記述します。	任意
7	RANGE	要素の設定範囲を記述します。	任意
8	MIN_INC	ENG_UNIT と共に要素の値に適用される最小単位を記述します。	任意
9	ENG_UNIT	MIN_INC と共に要素の値に適用される工学単位を記述します。	任意
10	ACCESS	要素のアクセス属性を記述します。	任意
11	UI_ATTRIBUTE	要素をユーティリティソフトウェアに表示する際の表示方法を記述しま す。	任意
12	COMMENT	要素の説明や値毎の意味、及び使用する際の注意点を記述します。	任意



下記「表 31 ブロック出力一覧パート記述内容」を参考に、対象ユニット情報を記述します。 ブロック出力一覧パートは、対象ユニットが実装している入力接点や入力情報、設定値やフラグ 等を使用する場合に記述します。ブロック出力一覧パートの詳細については、Control & Communication システムプロファイル仕様書(5.4.3)を参照してください。

対象ユニット情報

ブロック出カー覧パート[BLOCK_OUTPUT]

デバイン	ス入力(CL-A1000→マスタ)]		LABEL	LA	CA	NAME	DATATYPE	DE	\ CO	REMARK
デバイスNo.	実装内容			RX0			制御出力	BOOL			
RX0	制御出力	Y	2 -	BXID			送信完了	BOOI			
RX1			8	RX18			イニシャル処理要求	TROOT		7==<	
2	未使用		Ă	RX19			イニシャル設定完了	BOOL		/	
RXF		/	5	RV14			「ニンデルはスピンピ」	BOOL			
RX10	ハンドシェイクフラグ 送信完了	(6	DV1D			LI 1028	POOL			
RX11	土体田		7	DATE:				WARA	╍╍╍┾┥	∼∼≺	
2	*使用 (システムで使用)		6	DWk 1Deepense			不良力に	DVTE	\rightarrow	\backslash	
RX17		17	0	DW.1E.			コマンドレスホンス	DOOL	\		
RX18	イニシャル処理要求	/	9	RWFIError			エフニノフリ	BOOL			9
RX19	イニシャル設定完了	Y	19	RWr2			本()(用2	WORD	•		N/ d
RX1A	エラー状態		1	RW13			センサテータ	WORD		<u> </u>	<u>%1</u>
RX1B	リモートREADY		/	※1 REMARK項	日に	は(す)	:記述したいでくださ	±1.)			
RX1C	リザーブ		/		. – – –	104111		_ • •			
RX1D		1					要素を追加し	、各項目~	~情報	を入力	します。
RX1E	OS定盖	17				,					/ 0
RX1F	00L 2	I/									
リモート	レジスタ(CL-A1000→マスタ)	1									
デバイスNo.	実装内容	1									
RWr0	未使用										
RWr1	コマンドレスポンス										
RWr2	未使用										
RWr3	センサデータ										

No	項目名	入力内容	記述条件
1	LABEL	要素を識別するためのラベルを記述します。 例)RX0	必須
2	LABEL2	要素を識別するためのラベルを記述します。 CSP+を使用するユーティリティソフトウェアが他の言語に対応する 際に使用します。	任意
3	CATEGORY	要素をグループ化するための分類を記述します。	任意
4	NAME	要素の名称を記述します。 ユーティリティソフトウェアに要素の名称や内容を表示する際に使用 します。 例)制御出力	必須
5	DATATYPE	要素のデータ型を記述します。	必須
6	DEFAULT	要素に設定する初期値を記述します。	任意
7	RANGE	要素の設定範囲を記述します。	任意
8	MIN_INC	ENG_UNIT と共に要素の値に適用される最小単位を記述します。	任意
9	ENG_UNIT	MIN_INC と共に要素の値に適用される工学単位を記述します。	任意
10	ACCESS	要素のアクセス属性を記述します。	任意
11	UI_ATTRIBUTE	要素をユーティリティソフトウェアに表示する際の表示方法を記述し ます。	任意
12	COMMENT	要素の説明や値毎の意味、及び使用する際の注意点を記述します。	任意

表 31 ブロック出力一覧パート記述内容

(6) ブロックパラメーター覧パート(BLOCK_PARAMETER)への記述



下記「表 32 ブロックパラメーター覧パート記述内容」を参考に、対象ユニット情報を記述します。

ブロックパラメーター覧パートは、CC-Link 経由でパラメータの設定および参照の両方を行うこ とができるコマンドを使用する場合に記述します。ブロックパラメーター覧パートの詳細につい ては、Control & Communication システムプロファイル仕様書(5.4.4)を参照してください。

対象ユニット情報

ブロックパラメーター覧パート[BLOCK_PARAMETER]

⊐マ Write	ンド Read	項目	内容	設定値		LABEL	LA.	CATEGORY	NAME	DATATYPE	DEFAULT	RANGE	\sum	COMMENT	REMARK
01	81	しきい値1	しきい値(上限)の設定・ 確認が行えます。	H'0000~H'0320:0°C~800°C	1	Prm01		BASIC	しきい値1	INT16	0	[0,800]	77	1度単位で上限値	
02	82	しきい値2	しきい値(下限)の設定・ 確認が行えます。	H'0000~H'0320:0°C~800°C	23	Prm02 Prm03		ADV/ANCE	しざい102	INT 16	0×0000	ENUM EnumPrm1	$\langle \langle$	「度単1立じ下吸1世 ディスプレイを消	
03	83	エコモード	Ecoの設定・確認が行え ます。	H'0000:ディスプレイ表示常時点灯 H'0001:ディスプレイ表示常時消灯 H'0002:操作後10秒でディスプレイ消灯	ă	Rrm04		DIAGNOSTIC	温度取得	INT16		[0,800]))	1度単位で温度	※ 2
94	84	温度取得	温度を取得します。	-	1	※1 選	択肢	一覧パートを参	間している	とす。 選択肢	も一覧パートの	の詳細は、528章を	参	暇してください。	
05	-	データチャネルロード	データバンクから動作設 定を読み込むことができ ます。	H'0000 : データチャネル1から読込 H'0001 : データチャネル2から読込 H'0002 : データチャネル3から読込		※2 RE	MAF	RK項目には何も	記述しない	いでください	0		1		
06	-	データチャネルセーブ	現在のセンサアンプの設 定をデータバンクへ書き 込むことができます。	H'0000:データチャネル1へ書込 H'0001:データチャネル2へ書込 H'0002:データチャネル3へ書込						(III	「妻を迫	hnì 久佰F	Ŧ.	へ信恕を入	+1 ++
07	-	データバンク使用状況	データバンクの使用状況 を返します。	H'0000: データチャネル1を確認 H'0001: データチャネル2を確認 H'0002: データチャネル3を確認						3	で希てに	加し、仕項に	- -	「開報で八	バレより。
08	-	リセット	センサのリセットが行えま す。	-	1										

表 32 ブロックパラメーター覧パート記述内容

No	項目名	入力内容	記述条件
1	LABEL	要素を識別するためのラベルを記述します。 例)Prm01	必須
2	LABEL2	要素を識別するためのラベルを記述します。 CSP+を使用するユーティリティソフトウェアが他の言語に対応する際 に使用します。	任意
3	CATEGORY	要素をグループ化するための分類を記述します。 ユーティリティソフトウェアのパラメータ処理画面での表示に使用します。	任意
4	NAME	要素の名称を記述します。 ユーティリティソフトウェアに要素の名称や内容を表示する際に使用し ます。 例)しきい値1	必須
5	DATATYPE	要素のデータ型を記述します。	必須
6	DEFAULT	要素に設定する初期値を記述します。	任意
7	RANGE	要素の設定範囲を記述します。 例)[0,800]	任意
8	MIN_INC	ENG_UNIT と共に要素の値に適用される最小単位を記述します。	任意
9	ENG_UNIT	MIN_INC と共に要素の値に適用される工学単位を記述します。	任意
10	ACCESS	要素のアクセス属性を記述します。	必須
11	UI_ATTRIBUTE	要素をユーティリティソフトウェアに表示する際の表示方法を記述します。	任意
12	WRITE_ORDER	要素をユニットに書込む際の順番を記述します。	任意
13	COMMENT	要素の説明や値毎の意味、および使用する際の注意点を記述します。	任意

(7) ブロックコマンド一覧パート(BLOCK_COMMAND)への記述



下記「表 33 ブロックコマンド一覧パート記述内容」を参考に、対象ユニット情報を記述します。 ブロックコマンド一覧パートは、CC-Link 経由で設定を行うコマンドを使用する場合に記述しま す。ブロックコマンド一覧パートの詳細については、Control & Communication システムプロフ ァイル仕様書(5.4.5)を参照してください。

対象ユニット情報

ブロックコマンド一覧パート[BLOCK_COMMAND]



表 33 ブロックコマンド一覧パート記述内容

No	項目名	入力内容	記述条件
1	LABEL	要素を識別するためのラベルを記述します。 例)Cmd05	必須
2	LABEL2	要素を識別するためのラベルを記述します。 CSP+を使用するユーティリティソフトウェアが他の言語に対応する際に 使用します。	任意
3	CATEGORY	要素をグループ化するための分類を記述します。	任意
4	NAME	要素の名称を記述します。 ユーティリティソフトウェアに要素の名称や内容を表示する際に使用します。 例)データチャネルロード	必須
5	ARGUMENT	要素が使用する引数を示すために、コマンド引数一覧パート (COMMAND_ARGUMENT)に対応するラベルを記述します。 例)ArgumentCmd05	必須
6	COMMENT	要素の説明や値毎の意味、及び使用する際の注意点を記述します。	任意

5.2.7 通信インタフェース情報セクションとブロック情報セクションの関係

以下に対象ユニット情報に対する通信インタフェース情報セクションおよびブロック情報セクション の関係を示します。



(a) CC-Link 対応ユニットの場合

----→ 分離して記述

5.CSP+の作成手順

(b) CC-Link IE フィールドネットワーク対応ユニットの場合



(c) SLMP(TCP/IP)対応ユニットの場合



(d) CC-Link IE フィールドネットワーク Basic 対応ユニットの場合



i	同じ内容	容を記述
 	分離し ⁻	└ て記述 ┃ ノ

5.CSP+の作成手順



<u>5.2.8 共通情報パートの記述</u>

共通情報パートには、構造体パート、選択肢一覧パート、コマンド引数一覧パートを記述します。

No	パート	内容
1	構造体 (STRUCT)	 入出力の構造に関する情報にて、1WORD(16Bit)のエリアを 複数の要素で分割して構成する場合に使用します。 例)[07]モニタコード1[8F]モニタコード2 構造体を構成する各要素は、連続するアドレスに割り付く必要があります。 構造体は、必ず構造体を利用するセクションに記述してください。 記述した構造体は、同一セクション内の DATATYPE 項目に 記述して使用します。
2	選択肢一覧 (ENUM)	ユーティリティソフトウェアのパラメータ処理画面や、コマ ンド実行画面で表示される値に対応する意味を表示したい 場合に使用します。 選択肢一覧は、必ず選択肢一覧を利用するセクションに記述 してください。 記述した選択肢一覧は、同一セクション内の RANGE 項目に 記述して使用します。
3	コマンド引数一覧 (COMMAND_ARGUMENT)	ユーティリティソフトウェアのパラメータ処理画面での処 理オプション、コマンド実行画面でのコマンド設定・実行結 果に使用します。 記述したコマンド引数一覧は、通信メソッド一覧パート (METHOD)の WRITE_DATA · WRITE_DATATYPE · READ_DATA · READ_DATATYPE 項目およびブロックコ マンド一覧パート(BLOCK_COMMAND)の ARGUMENT 項目に記述して使用します。
4	条件一覧 (CONDITION)	要素の項目の値が、別の要素の現在値によって変化する場合 の条件式を記述します。 条件一覧パートは、ブロック情報セクションで利用できま す。条件一覧パートに記述した結果により、ブロックパラメ ーター覧の要素の項目の値が変化します。また、項目の値を 変化させる条件の判定に使用する値も、ブロックパラメータ 一覧の要素の値を使用します。 条件一覧パートの記述により変化させることができる項目 は、プロックパラメータ一覧の要素の項目のうち、アクセス 属性(ACCESS)、工学単位(ENG_UNIT)、分解能(MIN_INC)、 範囲(RANGE)の4つです。

表 34 共通情報パートを構成するパート

共通情報パートは通信インタフェース情報セクション、ブロック情報セクションで利用できます。た だし、条件一覧パートはブロック情報セクションのみで利用できます。 共通情報パートを利用するためには、各パートを作成する必要があります。 各パートの作成手順を示します。

(1) パートの作成

共通情報パートは通信インタフェース情報セクション、ブロック情報セクションに作成すること ができます。ただし、構造体パートおよび選択肢一覧パートにおいては、必ず利用するセクショ ン内にパートを作成しなければならないことに注意してください。

以下に示す例では、通信インタフェース情報セクションにて利用する構造体パートを作成します。 通信インタフェース情報セクション上でマウスの右ボタンを押下し、[パートの追加]を選択します。



下記「表 35 共通情報パートのパート作成」を参考に番号①~③を入力し、[作成]ボタンを押下し

ます。

パートの新規作成		—
表種別(<u>S)</u> COMM_IF_INPUT COMM_IF_OUTPUT COMM_IF_PARAMETER COMM_IF_COMMAND METHOD		
MESSAGE STRUCT ENUM COMMAND_ARGUMENT		
COMMENT(<u>C</u>)		
ELEM(要索数 ④ 20 ↓	作丙族	キャンセル

表 35 共通情報パートのパート作成

番号	記述内容	入力例	備考
1	作成するパート	構 造 体 を 示 す [STRUCT]を選択	[STRUCT]構造体パート [ENUM] 選択肢一覧パート [COMMAND_ARGUMENT] コマンド引数一覧パート
2	パートを識別するラ ベル	Struct1	付録 1. ラベル名に使用できない文字に注意して、英数字列 32 文字以内でラベル名を入力します。
3	作成するパートに対 するコメント	構造体1	作成するパートの説明等を任意で入力します。
4	作成する要素数	20	パート内に作成する要素数を指定します。初期値は20と なっています。 ここで指定するのは、パート作成時に生成される数です。 パート内の要素は、パート作成後に追加または削除して 数を変更できます。

構造体パートの作成が完了しました。

パートの新規作成ダイアログにて入力した内容は、以下のように表示します。

יאר איז
⊟ <mark>@</mark> CL-A1000[1.00a](ja)
🖕 🦢 FILE
🖃 🔧 FileSection (ファイル情報) [FILE]
🗄 🔩 DeviceSection (デバイス情報) [DEVICE]
🖶 🇁 COMM_IF
🖃 🔩 CommIfSection (通信インタフェース情報) [COMM_IF]
🔶 CommIfInfo (通信インタフェース情報一覧) [COMMIF_INFO]
💊 CommIfInput (通信入力一覧) [COMMIF_INPUT]
💊 CommIfOutput (通信出力一覧) [COMMIF_OUTPUT]
🔷 CommIfParameter (通信パラメータ一覧) [COMMIF_PARAMETER]
💊 CommIfCommand (通信コマンド一覧) [COMMIF_COMMAND]
💊 Method1 (通信メソッド一覧) [METHOD]
🗼 <u>Struct1</u> (構造体1) [<u>STRUCT</u>]
BLOCK 2 3 1
🗄 🔧 BlockSection (ブロック情報) [BLOCK]

他のパートについても、同様の手順で作成してください。

条件一覧パート(CONDITION)の作成の場合は、作成時に他の共通情報パートで入力した情報に加えて、条件数と結果数を入力します。この時入力した条件数と結果数は、パート作成後はパートのプロパティにより変更することができます。

パートの新規作成	
表種別(<u>S)</u> BLOCK_INPUT BLOCK_OUTPUT BLOCK_PARAMETER BLOCK_COMMAND	
STRUCT ENUM COMMAND_ARGUMENT CONDITION	
LABEL(L)	
COMMENT(C)	3
CONDITION(条件数)(<u>O)</u>	RESULT(結果数)(<u>R</u>) 5
ELEM(要素数)(E) 6	ド成キャンセル

番号	記述内容	入力例	備考
1	作成するパート	条件一覧を示す [CONDITION] を 選択	[STRUCT]構造体パート [ENUM] 選択肢一覧パート [COMMAND_ARGUMENT] コマンド引数一覧パート [CONDITION] 条件一覧パート
2	パートを識別するラ ベル	RangeCondition1	 付録 1. ラベル名に使用できない文字および予約語に注意して、英数字列 32 文字以内でラベル名を入力します。 ※Condition や Condition1 等は予約語(項目名で使用)です。ご注意ください。
3	作成するパートに対 するコメント	範囲条件1	作成するパートの説明等を任意で入力します。
4	条件数	2	パート内に作成する条件(CONDITIONx)数を入力しま す。条件数は、パート生成後は、パートのプロパティで 変更できます。
6	結果数	1	パート内に作成する結果(RESULTx)数を入力します。結 果数は、パート生成後は、パートのプロパティで変更で きます。
6	作成する要素数	20	パート内に作成する要素数を指定します。初期値は20と なっています。 ここで指定するのは、パート作成時に生成される数です。 パート内の要素は、パート作成後に追加または削除して 数を変更できます。

表 36条件一覧(CONDITION)パート作成

次項から作成したパートへの記述内容を示します。

(2) 構造体パート(STRUCT)への記述 構造体パートを表示します。 ⊡-∰ CL-A1000[1.00a](ja) 🚊 🗁 FILE 🗄 🕀 FileSection (ファイル情報) [FILE] 🖻 🗁 DEVICE 🛓 🕀 DeviceSection (デバイス情報) [DEVICE] 🖮 🗁 COMM_IF 🗄 🕀 CommIfSection (通信インタフェース情報) [COMM_IF] ---- 🖗 CommIfInfo (通信インタフェース情報一覧) [COMMIF_INFO] ---- ♀ CommIfParameter (通信パ<mark>/構造体パートを示す</mark> ---- 💊 CommIfCommand (通信コ [STRUCT]を選択します。 … 💊 Method1 (通信メソッド — 🔌 Struct1 (構造体1) [STRI BLOCK 🗄 🕀 BlockSection (ブロック情報) [BLOCK]

下記「表 37構造体パート記述内容」を参考に、入出力の構造を記述します。 構造体パートは、リモートレジスタ(RWr および RWw)にビットフィールドを使用する際に記述 します。構成する各要素は連続するアドレスやコードに割り付くよう記述してください。構造体 パートの詳細については、Control & Communication システムプロファイル仕様書(5.3.8)を参照 してください。

構造体パート[STRUCT]

	LABEL	LA CA	NAME	DATATYPE	DE	RA	MI	EN	OFFSET	REF	CO	REMARK
1	Response		コマンドレスポンス	BYTE					0.0	BlockSectionBlockOutput.RWr1Response		
2	Unuse8		未使用8	BOOL					0.8			
3	Unuse9		未使用9	BOOL					0.9			
4	UnuseA		未使用A	BOOL					0.A			
5	UnuseB		未使用B	BOOL					0.B			
6	UnuseC		未使用C	BOOL					0.C			
7	UnuseD		未使用D	BOOL					0.D			
8	UnuseE		未使用E	BOOL					0.E			
9	ErrFle		エラーフラグ	BOOL					0.F	BlockSectionBlockOutput.RWr1Error	\cup	<u></u> *1

※1 REMARK項目には何も記述しないでください。

要素を追加し、各項目へ情報を入力します。

No	項目名	入力内容	記述条件
1	LABEL	要素を識別するためのラベルを記述します。 例)Response	必須
2	LABEL2	要素を識別するためのラベルを記述します。 CSP+を使用するユーティリティソフトウェアが他の言語に対応する際に 使用します。	任意
3	CATEGORY	要素をグループ化するための分類を記述します。	任意
4	NAME	要素の名称を記述します。 ユーティリティソフトウェアに要素の名称や内容を表示する際に使用します。 例)コマンドレスポンス	任意 注1
5	DATATYPE	要素のデータ型を記述します。	任意 注1
6	DEFAULT	要素に設定する初期値を記述します。	任意
7	RANGE	要素の設定範囲を記述します。	任意
8	MIN_INC	ENG_UNIT と共に要素の値に適用される最小単位を記述します。	任意
9	ENG_UNIT	MIN_INC と共に要素の値に適用される工学単位を記述します。	任意
10	OFFSET	要素のオフセットを記述します。 例)0.0	必須
11	REF	参照している要素を記述します。 通信インタフェース情報セクションの入出力で構造体パートを使用すると き、構造体パートの各要素から、ブロック情報セクションの入出力を参照 するために使用します。 例)BlockSection.BlockOutput.RWr1Response	任意 注 2
12	COMMENT	要素の説明や値毎の意味、及び使用する際の注意点を記述します。	任意

注1:ブロック情報セクションに記述する場合、必須となります。 注2:ブロック情報セクションに記述する場合、記述禁止となります。



選択肢一覧パートは、通信インタフェースによってパートを構成する項目が異なります。各通信 インタフェースでの記述を示します。

選択肢一覧パートは、ユーティリティソフトウェアでリストボックスによる設定を行いたい要素 や、選択肢に含まれる各値の意味を表示したい場合に記述します。

選択肢一覧パートの詳細については、Control & Communication システムプロファイル仕様書 (5.3.9)を参照してください。

%1

(a) CC-Link 対応ユニットの場合

下記「表 38 選択肢一覧パート記述内容」を参考に、対象ユニット情報を記述します。

対象ユニット情報

選択肢一覧パート[ENUM]

コマンド		酒日	由慶	設定値		
Write	Read		118			
01	81	しきい値1	しきい値(上限)の設定・ 確認が行えます。	H'0000~H'0320:0°C~800°C	2	
02	82	しきい値2	しきい値(下限)の設定・ 確認が行えます。	H'0000~H'0320:0°C~800°C	1	
03	83	エコモード	Ecoの設定・確認が行え ます。	H0000:ディスプレイ表示常時点灯 H'0001:ディスプレイ表示常時消灯 N'0002:操作後10秒でディスプレイ消灯		
04	84	温度取得	温度を取得します。	-		
05	-	データチャネルロード	データバンクから動作設 定を読み込むことができ ます。	H'0000 : データチャネル1から読込 H'0001 : データチャネル2から読込 H'0002 : データチャネル3から読込		
06	-	データチャネルセーブ	現在のセンサアンプの設 定をデータバンクへ書き 込むことができます。	H'0000:データチャネル1へ書込 H'0001:データチャネル2へ書込 H'0002:データチャネル3へ書込		
07	-	データバンク使用状況	データバンクの使用状況 を返します。	H'0000 : データチャネル1を確認 H'0001 : データチャネル2を確認 H'0002 : データチャネル3を確認		
08	-	リセット	センサのリセットが行えま す。	-		

LA... CA... NAME CODE COMMENT REMARK LABEL 常時表示 常時消灯 0x0000 常時表示点灯 0x0001 常時表示消灯 DspOn DspOrf 操作時表示 0×0002 操作後10秒で消灯 DspTimer ※1 REMARK項目には何も記述しないでください。

要素を追加し、各項目へ情報を入力します。

表 38 選択肢一覧パート記述内容

No	項目名	入力内容	記述条件
1	LABEL	要素を識別するためのラベルを記述します。 例)DspOn	必須
2	LABEL2	要素を識別するためのラベルを記述します。 CSP+を使用するユーティリティソフトウェアが他の言語に対応する際に使 用します。	任意
3	CATEGORY	要素をグループ化するための分類を記述します。	任意
4	NAME	要素の名称を記述します。 ユーティリティソフトウェアに要素の名称や内容を表示する際に使用します。 例)常時点灯	必須
5	CODE	要素を識別する値を記述します。 参照元の要素が示す値とコードの値を照らし合わせ、一致する要素を選択します。 例)0x0000	必須
6	COMMENT	要素の説明や値毎の意味、及び使用する際の注意点を記述します。	任意

(b) CC-Link IE フィールドネットワーク対応ユニットの場合

上記「(a)CC-Link 対応ユニットの場合」を参考に、対象ユニット情報を記述します。

(c) SLMP(TCP/IP)対応ユニットの場合

上記「(a)CC-Link 対応ユニットの場合」を参考に、対象ユニット情報を記述します。

(d) CC-Link IE フィールドネットワーク Basic 対応ユニットの場合 上記「(a)CC-Link 対応ユニットの場合」を参考に、対象ユニット情報を記述します。

(e) CC-Link IE TSN 対応ユニットの場合

下記「表 39 選択肢一覧パート記述内容(CC-Link IE TSN)」を参考に、対象ユニット情報 を記述します。

対象ユニット情報					選択肢一覧パート[ENUM]	
エラーコードの 名称(概要)	エラー コード	エラー 詳細情報	エラー原因	処置方法	LABEL LA CA NAME CODE BELATED.ELE COMMENTI 1 enum1 ハードウェアニード 0×10 ユニットのハードウェアニラーです。	
ハードウェアコード	0x10	無し	ユニットのハードウェアエラーで す。	ユニット電源OFF・ONを行ってくだ さい。	Cenum2 人力値範囲外エラー 0x105 InputError パラメータで設定された最大値よりも大きな値が入力さ 13 enum3 リモートバッファメモリアクセスエラー 0x150 REMER/REMTO命令で、リモートバッファメモリの範囲が	れました。 外にアクセスしました。
入力値範囲外エラー	0x105	有り	パラメータで設定された最大値 よりも大きな値が入力されまし た。	入力を見直すか、パラメータ設定 を見直してください。	Q0MM/EVT2. 二字が帯選のFF-ONを行ってください。 入力を見声すが、パラメージ語定を見得してください。	
リモートバッファ メモリアクセスエラー	0x150	無し	REMFR/REMTO命令で、リモー トバッファメモリの範囲外にアク セスをしました。	リモートパッファメモリの範囲内に アクセスするように、 REMFR/REMTO命令の設定デー なを修正してください	WE-Nov75HIの範囲などのセスするように、REMER/REMTO命令の設定デー技術を正してたない。 ※1 REMARK項目には何も記述しないでください。	
					要素を追加し、各項目へ情報を入力	します。

No	項目名	入力内容	記述条件
1	LABEL	要素を識別するためのラベルを記述します。 例)enum1	必須
2	LABEL2	要素を識別するためのラベルを記述します。 CSP+を使用するユーティリティソフトウェアが他の言語に対応する際 に使用します。	任意
3	CATEGORY	要素をグループ化するための分類を記述します。	任意
4	NAME	要素の名称を記述します。 ユーティリティソフトウェアに要素の名称や内容を表示する際に使用し ます。 例)ハードウェアコード	必須
5	CODE	要素を識別する値を記述します。 参照元の要素が示す値とコードの値を照らし合わせ、一致する要素を選択し ます。 例)0x10	必須
6	RELATED_ELE	要素に関連する要素の情報を、コマンド引数一覧パートを参照すること により記述します。	任意
7	COMMENT1	要素の説明や値毎の意味、及び使用する際の注意点を記述します。	任意
8	COMMENT2	要素の説明や値毎の意味、及び使用する際の注意点を記述します。	任意

表 39 選択肢一覧パート記述内容(CC-Link IE TSN)

(4) コマンド引数一覧パート(COMMAND_ARGUMENT)への記述



下記「表 40 コマンド引数一覧パート記述内容」を参考に、対象ユニット情報を記述します。 コマンド引数一覧パートは、通信コマンドの引数を使用する場合に記述します。コマンド引数一 覧パートの詳細については、Control & Communication システムプロファイル仕様書(5.3.10)を 参照してください。

対象ユニット情報

コマンド引数一覧パート[COMMAND_ARGUMENT]

Write	アンド	項目	内容	設定値	LABEL LA CA NAME DATATYPE DEFAULT RANGE ((REMARK
01	81	しきい値1	しきい値(上限)の設定・ 確認が行えます	H'0000~H'0320:0°C~800°C	1. (ArgumentCmd05 データチャネル WORD 0x0000 ENUM EnumCmd1)). ※2
02	82	しきい値2	しきい値(下限)の設定・ 確認が行えます。	H'0000~H'0320:0°C~800°C	/ ※1 選択肢一覧パートを参照しています。選択肢一覧パートの詳細は、本章(3)を参照してください。
03	83	エコモード	Ecoの設定・確認が行え ます。	H'0000: ディスプレイ表示常時点灯 H'0001: ディスプレイ表示常時消灯 H'0002: 操作後10秒でディスプレイ道灯	/ ※2 REMARK項目には何も記述しないでください。
04	84	温度取得	温度を取得します。	-	
05	-	データチャネルロード	データバンクから動作設 定を読み込むことができ ます。	H'0000:データチャネル1から読込 H'0001:データチャネル2から読込 H'0002:データチャネル3から読込	要素を追加し、各項目へ情報を入力します。
06	-	データチャネルセーブ	現在のセンサアンプの設 定をデータバンクへ書き 込むことができます。	H'0000:データチャネル1へ書込 H'0001:データチャネル2へ書込 H'0002:データチャネル3へ書込	
07	-	データバンク使用状況	データバンクの使用状況 を返します。	H'0000: データチャネル1を確認 H'0001: データチャネル2を確認 H'0002: データチャネル3を確認	
08	-	リセット	センサのリセットが行えま す。	-	

No	項目名	入力内容	記述条件
1	LABEL	要素を識別するためのラベルを記述します。 例)ArgumentCmd05	必須
2	LABEL2	要素を識別するためのラベルを記述します。 CSP+を使用するユーティリティソフトウェアが他の言語に対応する際に 使用します。	任意
3	CATEGORY	要素をグループ化するための分類を記述します。	任意
4	NAME	要素の名称を記述します。 ユーティリティソフトウェアに要素の名称や内容を表示する際に使用します。 例)データチャネルロード	必須
5	DATATYPE	要素のデータ型を記述します。	必須
6	DEFAULT	要素に設定する初期値を記述します。	任意
7	RANGE	要素の設定範囲を記述します。 例)ENUM EnumCmd1	任意
8	MIN_INC	ENG_UNIT と共に要素の値に適用される最小単位を記述します。	任意
9	ENG_UNIT	MIN_INC と共に要素の値に適用される工学単位を記述します。	任意
10	ACCESS	要素のアクセス属性を記述します。	必須
11	ASSIGN	要素に対して割り付けるアドレスやコードを記述します。	任意
12	REF	要素が参照する参照先を記述します。 (将来の拡張用のため、現行では使用できません。)	任意
13	COMMENT	要素の説明や値毎の意味、及び使用する際の注意点を記述します。	任意

表 40 コマンド引数一覧パート記述内容



下記「表 41条件一覧パート記述内容」を参考に、対象ユニット情報を記述します。 条件一覧パートは、あるパラメータの値によって、他のパラメータの項目の値が変化する場合に 記述します。条件一覧パートの詳細については、Control & Communication システムプロファイ ル仕様書(5.4.9)を参照してください。

例として、次のような条件の場合、以下のように記述します。

- ・AvgOrSample の値が0の場合
- ⇒ AvgTime の ACCESS 項目は NA、AvgCount の ACCESS 項目も NA
- ・AvgOrSampleの値が1で、TimeOrCountの値が0の場合
- ⇒ AvgTimeのACCESS項目はNA、AvgCountのACCESS項目はRW
- ・AvgOrSampleの値が1で、TimeOrCountの値が1の場合
- ⇒ AvgTimeのACCESS項目はRW、AvgCountのACCESS項目はNA
- ・上記以外の場合
 - ⇒ AvgTimeのACCESS項目はNA、AvgCountのACCESS項目もNA

		CONDITIONX	VARIABLE 項目			
/	AccessCond01 x			,		
	CONDITION1	CONDIT	ION2		RESULT1	RESULT2
1	Block Parameter.Av	gOrSample.VALUE BlockPa	rameter.TimeOrCount.VA	ALUE		
2			•••••••••••••••••••••••••		NA	NA
3	1	0			NA	RW
4	1	1			RW	NA
5	DEFAULT		Τ		NA 🔨	NA
		CONDITIONx 項目		RES	SULTx 項	目

表 41条件一覧パート記述内容

No	項目名	入力内容	記述条件
1	CONDITIONXVARIABLE	条件判定に使用する要素への参照を記述します。	必須
2	CONDITIONx	条件判定を行うための条件の範囲を記述します。	必須
3	RESULTx	条件が成立したときに適用される値(結果)を記述します。	必須

5.2.9 プロジェクトのチェック プロジェクトへの入力に誤りがないか、以下の手順でチェックを行います。 メニューバーの[ファイル]から[チェック]を選択します。

77	()I(F)	編集(E)	表示(V)
4	新規作	F5%(<u>N</u>)	Ctrl+N
5	開((0))	Ctrl+Q
	閉じる	(<u>O</u>)	
6	上書き	保存(S)	Ctrl+S
	名前を	付けて保存	(<u>A</u>)
	チェック	(H)	_
	エクスオ	°−⊦(<u>Ε</u>)	
	アプリク	ーションの総	§了(🖄

エラーがある場合、チェック結果ダイアログと出力ウィンドウにエラーの詳細が表示されます。



チェック結果ダイアログの[OK]を選択し、チェックダイアログを閉じます。

検出されたエラーを修正します。

出力ウィンドウに表示されたエラー内容をマウスにてダブルクリックすると、エラーを検出した場所 へ移動します。



エラーを修正し、再度、チェックを行います。エラーがなくなるまで修正、チェックを繰り返します。



5.2.10 プロジェクトの必須要素の記述確認

CSP+ファイルの作成に必要な情報がプロジェクトにすべて記述されているか確認します。 不完全な CSP+ファイルの登録を避けるため、以下表の必須要素が該当するセクションの表に記述さ れていることを確認してください。

(a) CC-Link 対応ユニットの場合 ^{主 49} 必須要素(CC-Link)

		<u></u> <u>衣</u>	_42 必須安糸(UU-LINK)		т
セクション	パート	NAME	LABEL	記述条件	説明
		ファイル生成日	CreateDate	必須	
		ファイル生成時間	CreateTime	必須	
		最終更新日	ModDate	必須	
ファイル 情報	ファイル	最終更新時間	ModTime	必須	CSP+ファイルのファイルに関する情
	情報一覧	対応言語情報	Language	必須	報は必す記述してください。
		CSP+仕様バージョン	CCLinkFamilyProfileVersion	心須	-
		ファイルバージョン	FileVersion	心須	-
		ベンダータ称	VendorName	心須	
		ベンダーコード	VenderCode	心須	-
デバイス	デバイス	→ → → → → → → → → → → → → → → → → → →	DoviceModel	心須	 対象ューットを表す信報け必ず記述
は思	「「「」「「」」「「」」「「」」」「「」」」「「」」」「「」」」「「」」」「「」」」「「」」」「「」」」「」」」「」」」	生々	Vension		N家一一ノーを私 9 旧報は必 9 に近 してください
1月 十区	IFF +K 見	機能 ション	Version		
			VersionDisplayFlag	心須	-
		機器ハーション衣小小リンー	VersionPolicyType		
		ヘンター名称	VendorName	必須	-
		ベンターヨード	VendorCode	必須	-
		通信インタフェースタイプ ID	CommIFTypeID	必須	-
		バージョン	Version	必須	_
	通信インタ	機器バージョン取得タイプ	ReadVersionType	必須	対象ュニットを表す情報お上び 通信
	一世にアン	局タイプ	StationType	必須	形能に関する情報け必ず記述してく
	/ 上 八 	局タイプ詳細	StationTypeDetail	条件付必須	が恋に因うる自報は必う記述してく
	旧和見	I/O タイプ	IOType	必須	/_ C V
		モデル名(型名)	DevModel	必須	
通信インタ		CC-Link バージョン	CcLinkVer	必須	
フェース		拡張サイクリック設定	ExtCycle	条件付必須	
情報		占有局数	NumOccupiedStations	必須	
	通信入力一覧	-	-	条件付必須	機器に対して入出力がある場合は、必
	通信山力 見 通信パラ				9 記述しててたです。
	通信ハノ	-	-	条件付必須	ハノノニクの読み音さを11 ノ場市は、 以ず記述してください
	<u> </u>				ションド加理な行う担合け、水デョ沫
		-	-	条件付必須	してください。
					パラメータ処理・コマンド実行画面よ
		-	-	条件付必須	り実行する場合は、必ず記述してくだ
					さい。
		ベンダー名称	VendorName	必須	
	ブロック 情報一覧	ベンダーコード	VendorCode	必須	対象ユニットを表す情報は
		バージョン	Version	必須	必す記述してくたさい。
	ブロック				
	入力一覧				機器に対して入出力がある場
	ブロック		-	条件付必須	合は、必ず記述してください。
ブロック	出力一覧				
情報	ブロック				
	パラメータ	-	-	条件付必須	パラメータの読み書きを行う場
	一覧				合は、必ず記述してください。
	ブロック	-	-	条件付必須	コマンド処理を行う場合は、必ず記述
	コマンド一覧				してくたさい。
					通信入力一覧、通信出力一覧にて構造
	構造体	-	-	条件付必須	体を使用する場合は、必ず記述してく
					ださい。
					パラメータ処理画面や、コマンド実行
共通情報	選択肢一覧	-	-	条件付必須	画面にて選択肢一覧を使用する場合
					には、必ず記述してください。
	フマンド				コマンド設定・実行結果にて引数を使
	己粉一覧	-	-	条件付必須	用する場合には、必ず記述してくださ
	り数一覧				<i>د</i> ۲.

(b) CC-Link IE フィールドネットワーク対応ユニットの場合

表	43 必須要素(CC-Link IE フィールドネッ	トワーク)

セクション	パート	NAME	LABEL	記述条件	説明
		ファイル生成日	CreateDate	必須	
		ファイル生成時間	CreateTime	必須	
		最終更新日	ModDate	必須	
ファイル	ファイル	最終更新時間 目	ModTime	~~~~	CSP+ファイルのファイルに関する情
情報	情報一覧	秋広言語情報	Longiago	以須	報は必ず記述してください。
		N心口口IFHX CCDL件住バージョン	CCI := l-E-milyDrofileVorsion	2.次	
		USFTLAK ション ファイルバージョン	UCLINKF anniyi Tome version	心氛	
		ノブイルハーション		心况	
		ヘンダー名称	VendorName	20万	
			VendorCode		
アハイス	アバイス	型名	DeviceModel	必須	対象ユニットを衣り情報は必り記辺
情報	情報一見	機器ハーンヨン	Version	必須	してください。
		機器バーション表示ノフク	VersionDisplayFlag	必須	
		機器バーション表示ホリンー	VersionPolicyType	必須	
		ベンダー名称	VendorName	必須	
		ベンダーコード	VendorCode	必須	
		通信インタフェースタイプ ID	CommIFTypeID	必須	
		バージョン	Version	必須	
		機器バージョン取得タイプ	ReadVersionType	必須	
		局タイプ	nodeType	必須	
		IO タイプ	IOType	必須	
		型名コード	ModelCode	必須	
	通信インタ	モデル名	DevModel	必須	対象ユニットを表す情報および、通信
	フェース	RY サイズ	RYSize	必須	形態に関する情報は必ず記述してく
	情報一覧	RWw サイズ	RWwSize	必須	ださい。
		RX サイズ	RXSize	必須	
		RWr サイズ	RWrSize	必須	
		ポート数	Ports	必須	
诵信インタ		プロトコルバージョン	protocolVersion	必須	
フェース		ノード番号設定機能の有無	NodeNumberSettingFlg	心須	
情報		トランジェント受信機能の有	TransientRecentionFlg	2017/24	
114 114			Itansientiteeepitoni is	必須	
		系 SIMP 受信機能の有無	SI MPRecention Flg	以須	
	通信入力一覧		office the second	ALVAR.	機果に対して入出力がある場合け 必
	通信出力一覧	-	-	条件付必須	ず記述してください。
	通信パラ メーター階	-	-	条件付必須	パラメータの読み書きを行う場合は、 必ず記述してください
	/				コマンド処理を行う堪合け 必ず記述
	 一覧 通信メソット 一覧 通信メッセー ジー覧 	-	-	条件付必須	してください。
					パラメータ処理・コマンド実行画面よ
		-	-	条件付必須	り実行する場合は、必ず記述してくだ
					さい。
					パラメータ処理・コマンド実行画面よ
		-	-	条件付必須	り実行する場合は、必ず記述してくだ
					さい。
		ベンダー名称	VendorName	必須	
	ブロック	ベンダーコード	VendorCode	必須	対象ユニットを表す情報は
	情報一覧	バージョン	Version	必須	必す記述してください。
	ブロック			12.7	
	入力一覧				機器に対して入出力がある場
ブロック	ブロック	-	-	条件付必須	合は、必ず記述してください。
情報	出力一覧				
	ブロック				
	パラメーター	-	-	条件付必須	パラメータの読み書きを行う場
	覧				合は、必ず記述してください。
	ブロック				コマンド処理を行う場合け 必ず記述
	コマンド一覧	-	-	条件付必須	してください。
	Jer v i je				通信入力一覧 通信出力一覧にて構造
	構造体	-	-	冬性付心須	地市ババー 見、地市山バー 見にて併進 休を庙田する堪合け 必ず記述してく
	111712 114			不自己沒	ドを区面する場合は、必ず能速してく
					パラメータ処理画面や フマンド実行
共通情報	選択肢一暫	-	-	条件付以须	画面にて選択肢一階を使用する場合
					には 必ず記述してください
					コマンド設定・実行結果にて引数を伸
	コマンド	-	-	条件付以須	田すろ場合にけ 水ず記述してくださ
	引数一覧			不自己必须	

(c) SLMP(TCP/IP)対応ユニットの場合

セクション	パート	NAME	LABEL	記述条件	説明
		ファイル生成日	CreateDate	必須	
		ファイル生成時間	CreateTime	必須	
7-11	7-11	最終更新日	ModDate	必須	(CCD) フーノルのフーノルに開ナス 体却
ノアイル 	ノアイル 	最終更新時間	ModTime	必須	USP+ノアイルのノアイルに関する情報 はビザヨオレマノギャい
情報	旧報一見	対応言語情報	Language	必須	は必り記述してくたさい。
		CSP+仕様バージョン	CCLinkFamilyProfileVersion	必須	
		ファイルバージョン	FileVersion	必須	
		ベンダー名称	VendorName	必須	
		ベンダーコード	VendorCode	必須	
デバイス	デバイス	型名	DeviceModel	必須	対象ユニットを表す情報は必ず記述して
情報	情報一覧	機器バージョン	Version	必須	ください。
		機器バージョン表示フラグ	VersionDisplayFlag	必須	
		機器バージョン表示ポリシー	VersionPolicyType	必須	
	通信インタ フェース	ベンダー名称	VendorName	必須	
		ベンダーコード	VendorCode	必須	対象ユニットを表す情報および、通信形
通信インタ		通信インタフェースタイプ ID	CommIFTypeID	必須	態に関する情報は必ず記述してくださ
フェース	情報一覧	バージョン	Version	必須	<i>د</i> ر ۲.
情報		機器バージョン取得タイプ	ReadVersionType	必須	
	通信パラ メータ一覧	-	-	条件付必須	パラメータの読み書きを行う場合は、必 ず記述してください。
	ブロック	ベンダー名称	VendorName	必須	対角コーットな事ナ桂却は以ず詞はして
	ノロック 桂胡一覧	ベンダーコード	VendorCode	必須	刈家ユーツトを衣り 報は必り 記述して
ブロック	IFFIX 見	バージョン	Version	必須	
情報	ブロック パラメータ 一覧	-	-	条件付必須	パラメータの読み書きを行う場合は、必 ず記述してください。
	構造体	-	-	条件付必須	通信入力一覧、通信出力一覧にて構造体 を使用する場合は、必ず記述してくださ い。
大坦旧和	選択肢一覧	-	-	条件付必須	パラメータ処理画面や、コマンド実行画 面にて選択肢一覧を使用する場合には、 必ず記述してください。

表 44 必須要素(SLMP(TCP/IP))

(d) CC-Link IE フィールドネットワーク Basic 対応ユニットの場合

セクション	パート	NAME	LABEL	記述条件	説明
		ファイル生成日	CreateDate	必須	
		ファイル生成時間	CreateTime	必須	
	7 . 1 .	最終更新日	ModDate	必須	COD:マーノルのマーノルに明上スは切
ノアイル 桂却	ノアイル 桂却 監	最終更新時間	ModTime	必須	USP+ノアイルのノアイルに関する情報
1頁 轮	「「和一見	対応言語情報	Language	必須	は必ず記述してくたさい。
		CSP+仕様バージョン	CCLinkFamilyProfileVersion	必須	
		ファイルバージョン	FileVersion	必須	
		ベンダー名称	VendorName	必須	
		ベンダーコード	VendorCode	必須	
デバイス	デバイス	型名	DeviceModel	必須	対象ユニットを表す情報は必ず記述し
情報	情報一覧	機器バージョン	Version	必須	てください。
		機器バージョン表示フラグ	VersionDisplayFlag	必須	
		機器バージョン表示ポリシー	VersionPolicyType	必須	
		ベンダー名称	VendorName	必須	
		ベンダーコード	VendorCode	必須	
	マトノンク	通信インタフェースタイプ ID	CommIFTypeID	必須	
	通信インダ	バージョン	Version	必須	対象ユニットを表す情報およい、通信形能に関われた思想
予告ノンク	フェース 情報一覧	機器バージョン取得タイプ	ReadVersionType	必須	態に関する情報は必ず記述してくたさ
通信イング		モデル名	DevModel	必須	v ' _o
ノエース		占有局数	NumOccupiedStations	必須	
IFI FIX		Ethernet 通信機能	EthernetCommFunction	必須	
	通信入力一覧 通信出力一覧 通信パラメー タ一覧			冬仲付过宿	機器に対して入出力がある場合は、必ず
				未任何必須	記述してください。
		-	-	冬供付心須	パラメータの読み書きを行う場合は、必
				未日内必須	ず記述してください。
	ブロック 「「」の一覧	ベンダー名称	VendorName	必須	対象ューットを表す情報け必ず記述し
		ベンダーコード	VendorCode	必須	バ家ニーントで衣ヶ h 報は必 y 能延し てください
	旧北 晃	バージョン	Version	必須	
	ブロック			冬在付以須	
ブロック	入力一覧	-	-	XIII 121	機器に対して入出力がある場合は、必ず
情報情報	ブロック			条件付必須	記述してください。
	出力一覧				
	ブロック				パラメータの読み書きを行う場合は、必
	パラメータ	-	-	条件付必須	ず記述してください。
	一覧				
	+#`\+- /			夕山山 八石	通信人刀一覧、通信出刀一覧にて構造体 また田上ス坦へい、メギョンキレエイギキ
	博 道犐	-	-	枀忤忊必須	を使用する場合は、必ず記述してくたさ
共通情報					
	强切时——摩	-		冬休日立石	ハファーク処理画面や、コマンド実行画面にて選切時一覧を使用すて担合には
	 			不甘口必須	山にて医穴区見て使用する場面には、 必ず記述してください。

(e) CC-Link IE TSN 対応ユニットの場合

衣 46 业)倶安奈(UU-LINK IE ISN	表	46 必須要素	CC-Link	IE TSN)
---------------------------	---	---------	---------	---------

セクション	パート	NAME	LABEL	記述条件	説明
		ファイル生成日	CreateDate	必須	
		ファイル生成時間	CreateTime	必須	1
		最終更新日	ModDate	必須	
ファイル	ファイル	最終更新時間	ModTime	必須	CSP+ファイルのファイルに関する情
情報	情報一覧	対応言語情報	Language	必須	報は必ず記述してください。
		CSP+仕様バージョン	CCLinkFamilyProfileVersion	必須	-
		ファイルバージョン	FileVergion	以須	-
		ベンダータ称	VondorName	以須	
		ベング 14/15	VendorCodo	心氛	-
			VenuorCoue	心氛	-
デバイス	デバイス	生々 プロガカト ID	Devicembuei	心氛	対象ユニットを表す情報は必ず記述
情報	情報一覧	ノロクントID 地里バージョン	Version	心須	してください。
		(滅命/、 ション 	VersionDianlayFlag	心須	-
		機師/、 ションス/ハノフノ 地里バージョン表示ポリシー	Version Deligy Tupe	心氛	-
		機器ハーンヨン 秋小小 ソン ベンノガータ 缶	Versionroncy type	心况	
				シクロ	-
		ベンダーコート	VendorCode	必須	-
		通信インダノエースタイノ ID	CommIF ^T ypeID	必須	-
			Version	必須	-
		型名コード	ModelCode	必須	-
		モテル名	DevModel	必須	-
		オブジェクトテイクンヨナリ ファイル名	ObjectDictionaryFileName	条件付必須	
		IEEE802 1AS 機能	IEEE802 1ASFunction	必須	1
		受信機能 100Mbps	ReceiveFunction100M	必須	1
		中継機能 100Mbps	RelayFunction 100M	必須	1
		受信機能 1Ghns	ReceiveFunction1G	心須	-
		中継機能 1Ghns	RelayFunction 1G	以須	-
		ブロード マルチキャスト機能	MultiCastFunction	以須	-
		<u>認証</u> かうス	CertificationClass	以須	-
		<u>ஸ…,,,,,</u> 洋信ビットデータデフォルト	S R DefaultSize	2017/24	-
		サイズ		必須	
	通信インタ	送信ワードデータデフォルト サイズ	S_W_DefaultSize	必須	対象ユニットを表す情報および、通信
	^辺 に フェース 情報 一覧	受信ビットデータデフォルト サイズ	R_B_DefaultSize	必須	形態に関する情報は必ず記述してく
		受信ワードデータデフォルト サイズ	R_W_DefaultSize	必須	
通信インタ		送信ビットデータ最大サイズ	S_B_MaxSize	必須	
フェース		送信ワードデータ最大サイズ	S_W_MaxSize	必須	_
情報		受信ビットデータ最大サイズ	R_B_MaxSize	必須	_
		受信ワードデータ最大サイズ	R_W_MaxSize	必須	_
		送信ビットデータアドレス	S_B_Address	条件付必須	_
		送信ワードデータアドレス	S_W_Address	条件付必須	_
		受信ビットデータアドレス	R_B_Address	条件付必須	_
		受信ワードデータアドレス	R_W_Address	条件付必須	
		状態通知デバイスアドレス	StsW_Address	必須	
		PDOConfig インデックス+X	PDOConfigIndex+X	条件付必須	
		PDOConfigPDO 種別+X	PDOConfigPDOType+X	条件付必須]
		PDOConfig メモリアドレス+X	PDOConfigMemoryAddress+ X	条件付必須	
		PDOConfig マッピング候補+X	PDOConfigPossibleMapping+ X	条件付必須	
		汎用送信メモリアドレス	S_General_Address	条件付必須	
		汎用受信メモリアドレス	R_General_Address	条件付必須	
	通信入力一覧	-	-	条件付必須	機器に対して入出力がある場合は、必
	通信出力一覧 通信パラ			夕山山 八石	9 記述してくたさい。 パラメータの読み書きを行う場合は、
	メーター覧	-		采件11 必須 	必ず記述してください。
	通信コマンド 一覧	-	-	条件付必須	コマンド処理を行う場合は、必ず記述 してください。
	通信メソッド 一覧	-	-	条件付必須	ハフメータ処理・コマンド実行画面よ り実行する場合は、必ず記述してくだ さい。
セクション	パート	NAME	LABEL	記述条件	説明
---------------------	-------------------------------	---------	------------	-------	---
通信インタ フェース 情報	通信メッセー ジー覧	-	-	条件付必須	パラメータ処理・コマンド実行画面よ り実行する場合は、必ず記述してくだ さい。
	ブロック	ベンダー名称	VendorName	必須	対象ユニットを表す情報け
	「「「」」「「」」「」」「」」「」」「「」」」「「」」」」	ベンダーコード	VendorCode	必須	べず記述してください.
	TH TK JE	バージョン	Version	必須	
ブロック 情報	ブロック 入力一覧 ブロック 出力一覧		-	条件付必須	機器に対して入出力がある場 合は、必ず記述してください。
	ブロック パラメーター 覧	-	-	条件付必須	パラメータの読み書きを行う場 合は、必ず記述してください。
	ブロック コマンド一覧	-	-	条件付必須	コマンド処理を行う場合は、必ず記述 してください。
	構造体	-	-	条件付必須	通信入力一覧、通信出力一覧にて構造 体を使用する場合は、必ず記述してく ださい。
共通情報	選択肢一覧	-	-	条件付必須	パラメータ処理画面や、コマンド実行 画面にて選択肢一覧を使用する場合 には、必ず記述してください。
	コマンド 引数一覧	-	-	条件付必須	コマンド設定・実行結果にて引数を使 用する場合には、必ず記述してください。

<u>5.2.11 CSP+ファイルのエクスポート</u>

CSP+ファイルを生成します。生成には、プロファイル作成支援ツールのエクスポート機能を利用します。

メニューバーの[ファイル]から[エクスポート]を選択します。

77	イル(F)	編集(E)	表示(V)
	新規作	е б х(<u>N</u>)	Ctrl+N
5	開((0))	Ctrl+Q
	閉じる	(<u>0</u>)	
	上書き	保存(S)	Ctrl+S
	名前を	付けて保存	ε(<u>A</u>)
	チェック	(H)	
	エクスオ	% ~⊧(<u>Ε</u>)	
	アプリク	ーションの総	\$7(<u>⊗</u>)

ファイルを保存する場所を選択し、[保存]ボタンを押下します。

保存する場所(1):	1 K#1X2h		- G 🗊	P 🖽 🕈	
(Pm)	名前	*		更新日時	種
1表示した場所		検索条件に一致する項目	目はありません		
ミスクトップ					
ライブラリ					
			命名	規則にそった	ファイノ
2H-7-4-			が自動	動で入力される	ます。
~	*	iu.			
	ファイル名(N):	0x0000_CL-A1000(ACustomize)	_100a_ja	保存(S
ベットワーク	ファイルの種類(工):	サポートしている全ての形式(*csp	p)	- ++>t	214

CSP+ファイルの命名規則については、Control & Communication システムプロファイル仕様書 (4.1.1)を参照してください。

<u>5.2.12 CSP+ファイルから CSP+への変換</u>

CSP+ファイルを CSP+へ変換します。

CSP+を作成する際には、以下の点に注意して作成してください。

- (1) 画像・アイコンファイルの名称は、DEVICE_INFOの要素「IconFileName」や、 「GraphicsFileName」に記述したファイル名に対応した名称とします。
- (2) 格納する全てのファイルの名称は半角のアルファベット、数字および、記号で記述します。

メニューバーの[ツール]から[アーカイブファイルの生成]を選択します。

ሥ-	- <i>JL(</i>))	ウインドウ(W)	ヘルプ(H)
	シスラ	「ム設定(5)	
Γ	アーナ	コイブファイルの	生成(A)

CSP+ファイルおよび画像・アイコン・オブジェクトディクショナリファイルをアーカイブファイル の生成ダイアログへ登録し、[次へ]ボタンを押下します。オブジェクトディクショナリファイルは、 CC-Link IE TSN 対応ユニットの場合のみとなります。



[保存先]ボタンを押下し、CSP+の保存先の指定、および任意のファイル名を入力後、[保存]ボタンを 押下します。



[生成]ボタンを押下すると、指定した保存先に CSP+が作成されます。



<u>5.2.13 CSP+の評価</u>

作成した CSP+に誤りがないか評価します。

評価方法として、CSP+をユーティリティソフトウェアにインポートし、CSP+に記述した入出力、パ ラメータの読み出し、書き込み、および、コマンドの実行を確認します。

ここでは、評価の一例として三菱電機(株)製 GX Works2 及び GX Works3 での手順を示します。

(1) ユーティリティソフトウェアに CSP+をインポート

GX Works2 を起動し、メニューバーの[ツール]から[プロファイル登録]メニューを選択します。



CSP+を選択し、[登録]ボタンを押下します。

ファイルの場所(1):	🕌 วับวราม		🖻 💣 🖛	
Œa	名前		更新日時	種類
近表示した場所	CCLi0101.zip).	2012/08/06 16:38	圧縮 (zip 形式
デスクトップ				
-				
ライブラリ				
5-175U				
ライブラリ (人) コンピューター				
ライブラリ (人) コンピューター				
ライブラリ レンピューター レンピューター ネットワーク	-	10		
ライブラリ レビューター エンピューター ネットワーク	・ ファイル名(N):	TH CCLi0101zip	<u></u>	· 登録(R)

インポートした CSP+を更新するためには、ファイルのバージョン(FILE_INFO パートの要素 「FileVersion」)に変更が必要です。ファイルのバージョンの変更は、バージョンダウンでも更新 可能です。

(2) デバイス情報の確認

デバイス情報セクションにて記述した対象ユニット情報が、GX Works2 または、GX Works3 に 表示することを確認します。

(a) CC-Link 対応ユニットの場合

GX Works2 にて、プロジェクトの新規作成、CC-Link のネットワークパラメータを設定します。

ナビゲーション 🏧 🗙	●ローカルラベル設定 MAIN [PR ● [I	PRG]書込 MAIN (1)ステップ 🔨 👸 オ	ットワークパラメータ C 🖹	4
15171	ユニット枚数 1 ・ 枚 ブランク:設定なし	□ 局情報をCC-Link構成ウィンドウで設	定する	
to 10 a 14-			2	3
		1000000 マスタ局 マスタ局CPUJ(ラメータ自動起動 リモートネット-Ver.1モード 156kbps	* * * * 0 * * * * * * *	
	リモートスプロのリアレウシュデドイス リモートレジスタ(w)サリレウシュデドイス リモートレジスタ(w)サリレウシュデドイス リモートレジスタ(w)サリレウシュデドイス Wer.21モートンジスタ(w)リンレウシュデドイス Wer.21モートレジスタ(w)リンレウシュデドイス Wer.21モートレジスタ(w)リンレウシュデドイス 特殊レレーCSDリンレウシュデドイス 特殊レレーCSDリンレウシュデドイス サラブ(回転 自動取り合数		3	
プロジェクト ユーザライブラリ 基総先	(各級マス多局番号 COUSD/指定 スキャンモード指定 デキャレビード指定 デオレビ時間設定 局積極設定 リモードデバイスあ(ニンヤル設定)	(停止 非同期 	• • •	
:	書読み設定	制必み論定		
アウトプット	····			
No 結果 データ名 分	捕 内容		エラーコード	

[局情報を CC-Link 構成ウィンドウで設定する]にチェックを入れ、[CC-Link 構成設定]ボタンを押下します。

プロジェクト(<u>P)</u> 編集(<u>E)</u> 検索/置換	(E) 変換/:	コンパイル(<u>C</u>) 表示(<u>V</u>) オンライン(<u>O</u>) デ/	(ッグ(<u>B</u>) 診断(<u>D</u>) ツール(<u>T</u>)	ウィンドウ()	V) ヘルプ(H)		- 8
• • • • • • •	XMA			+			
			an real and an an and the Silver		I SAL REA OF		
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	winn z			-			
ナビゲーション	# × _	/	PRG]書込 MAIN (1)ステップ*	島ネットワー	クパラメータ C	×	4 Þ
ロジェクト		ユニット枚数 1 - 枚 ブランク:設定なし	☑ 局情報をCC-Link構成ウィンド	つで設定する			
6 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1				7	1	3
		先頭I/ONo.		0000	-		
	n i	動作設定	動作設定	01			
PC/(種別	マスタ局			*	
日 18 ネットワークパラメータ		局番(*1)		0			
CC IE Field		データリンク種別	マスタ局CPUパラメータ自動起動	*		+	
CC-Link		モード設定	リモートネット-Ver、1モード	-			
		伝送速度(*1)	156kbps	-		*	
A インテリジェント機能コニット		総接続台数(*1)		0			
	E	リモート入力(RX)リフレッシュデバイス					
		リモート出力(RY)リフレッシュデバイス		-			
		リモートレジスタ(RW/r)リフレッシュデバイス					
😼 プログラム設定		リモートレジスタ(RWw)リフレッシュデバイス					-
🚰 プログラム部品		Ver.2リモート入力(RX)リフレッシュデバイス		100			
白 一 プログラム		Ver.2リモート出力(RY)リフレッシュデバイス					
HAIN		Ver.2リモートレジスタ(RWr)リフレッシュデバイス					1
い プログラム本体		Ver.2リモートレジスタ(RWw)リフレッシュデバイス					
		特殊リレー(SB)リフレッシュデバイス					
		特殊レジスタ(SW)リフレッシュデバイス					
日日日生		リトライ回数		3			
	-	自動復列台数		1			
		待機マスタ局番号(*1)	14.1				
プロジェクト		CPUダウン指定	19止			*	
- #- /		スキャンモード指定	非同期	-		*	
ユーサライノラリ		ディレイ時間設定		0			
1 钟结生		局值等語反定	CCHINN傳加證定				
1844.75		リモートナハイ人局イニジャル設定					
	»	割込み設定	副心体設定	100	1		
			11				
アウトプット							4
No. 結果 データ名	分類	内容			19	-3-1-	

CC-Link 構成設定ダイアログの[ユニット一覧]に対象ユニット情報が表示することを確認します

モード設定(M): Ver.1モード 👻 伝送	i速度(D): 156kbps - リンクス	キャンタイム(概算	(値):[2.18 ms	ユニット一覧
(1) (1)	周報8月 マス2月 	<i>K−5</i> 3>	占有局鼓	<u><u><u></u></u> (</u>	CC-Linki選択 ユニット検索 お気にブ 回 ロボット(ネジリーズ 6軸垂直) ロ ロボット(ネジリーズ 6軸垂直) ロ ロボット(ホジリーズ 4輪垂直) ロ ロボット(ガラスズ 5個垂直) ロ ロボット(ガラス茶板間送用 四克型 ロ ロボット(ガラス茶板間送用 四克型 ロ ロボット(ガラス茶板間送用 四克型 ロ ロボット(ガラス茶板間送用 四克型 ロ ロボット(ガラス茶板間送用 四克型 ロ ロボット(ガラス茶板間送用 四克型 ロ ロボット(オクロ作業用) ロ クボット(マイクロ作業用) ロ クボット(マイクロ作業用) ロ クボット(マイクロ作業用) ロ クボット(マイクロ作業用) ロ クボット(マイクロ作業用) ロ クボット(マイクロ作業用) ロ クボット(マイクロ作業用) ロ クボット(マイクロ作業用) ロ 2000 大型で高い(ネルス化表 になり マンロボント(エージー) レージーン(エージー) ロ (コーク) ロ (コーク)

(b) CC-Link IE フィールドネットワーク対応ユニットの場合

GX Works2 にて、プロジェクトの新規作成、CC-Link IE フィールドネットワークのネット ワークパラメータを設定します。

MELSOFTシリーズ GX Works2 (プロジェクト未設定) - [オ	マットワークパラメータ Ethem	et/CC IE/MELSECNET 枚数设定	E]			□ ×
… プロジェクト(P) 編集(E) 検索/置換(E) 変換/コンパイ.	ル(⊆) 表示(⊻) オンライン(!	2) デバッグ(B) 診断(D) い	ソール(I) ウィン	ドウ(型) ヘルプ(日)		- 8 ×
	1 🔤 🛤 🖼 🛤 🛤 🛃	R R R R R R P # P				
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	7		3			
ナピダーション # ×	10-カルラベル設定 M	AIN [PR] 💀 [PRG]書込 MA	AIN (1)ステップ */	島ネットワークバラ	メータ E ×	4 0 -
プロジェクト	「 ネットワーク構成設定を CC IF	Field構成ウンドウで設定する				*
📑 😘 🔊 🗞 😰 👘 -		7-961		7-017	7-063	
日 🚯 パラメータ 🔹	ネットワーク種別	CC IE Field(マスタ局)	+ なし	*	なし	*
PCパラメータ	先頭1/0 No.				-	
□ 🚯 ネットワークパラメータ	ネットワークNo.					
- CC IE Field	総(子)局数					
- 🕰 CC-Link	グループNo.					
	局番		0			
	۲-۴	オンライン(標準モード)	*			*
- 10 グローバルデバイスコメント		ネットワーク構成設定				
申 脑 グローバルラベル		ネットリーク動力を設定				
🖻 🚾 プログラム設定		リノレッシュハラメータ				
□ 🥂 プログラム部品		局番をパライーので設定	-			
	-	Pola Crive Peake	-			
E- 🚵 MAIN	-					
				- 1	1	
一品ローカルラベル			12		1	
	1					
🔍 ユーザライブラリ						
1 1245.4		必須設定(未設定/設定済み)) 必要に応じ設	定(未降定/ 設定済)	H)	
100020	, 先頭1/c	No.:		他局アクセン	ス時の有効ユニット 1枚目	· .
20	(1)()()()()()()()()()()()()()()()()()()	.m.				
· アウトプット						₽×
No. 結果 データ名 分類	内容			I	5-3-8	
日本語シ	ンプル	L26	-BT/L26-PBT 自	局		NI.

[ネットワーク構成設定を CC IE Field 構成ウィンドウで設定する]にチェックを入れ、[CC IE Field 構成設定]ボタンを押下します。

Contract of the second s				9.5			
ナピゲーション	# × _	自ローカルラベル設定 MA	AIN [PR III] IPRG]書込 MA	AIN (1)ステップ	* 島ネットワー	ウバラメータ E 🗴	4
ロジェクト		☞ ネットワーク構成設定を CC IE	Field構成ウィンドウで設定する				
💫 🗈 📴 🖄 👘			7=wk1	1	7-21-2	7-01	3
🚯 パラメータ		ネットワーク種別	CC IE Field(マスタ局)	★ なし	12/12	↓ なし	
PCパラメータ		先頭I/O No.		0000			
日 日 ネットワークパラメータ		ネットワークNo.		1			
CC IE Field		総(子)局数		0			
CC-Link		グループNo.				- 4	
リモートパスワード		局番		0			
インテリジェント機能ユニット		モード	オノラインパ素準モード		-	*	
·····································	=		CC IE Field構成設定				_
の グローバルラベル			ネットワーク動作設定				_
🚰 プログラム設定			リフレッシュパラメータ			-	
プログラム部品			割込み設定	-		-	
白 〇 プログラム			局審をパラメータに設定	•		-	
🖻 🛗 MAIN							
				1			
日ローカルラベル						1	_
		4					
		and the second					
JUSION	and the second se	CC IE Field(マスタ局) ・総(子)局断局無付 CC IE Field	山井成白ハ水白から白新的に設定さ	れる酒日です			
ユーザライブラリ		WAY 1 MODEL OF BUILDING COLLETING		160/ALL C 30			
			Sector Sector				
接続先			必須設定(未設定/設定済み) 必要に 心		気定)済み! ミックトゥット・シート	th E _
		/ 先日和 / 先日和 / / / / / / / / / / / / / / / / / / /	No.:		12/2	のアクセス時の有次はユニット 1	
	22		- 111 -				
	* (
ゥトブット	2 4						
7ウトプット	* .						

CC IE Field 構成設定ダイアログの[ユニット一覧]に対象ユニット情報が表示することを確認します。

CC IE Field構成(I) 編集(E)表示()	⊻)		
モード設定(凹): オンライン(標準モード)	★割付方法(A):	先頭/最終 ・ リンクスキャンタイム(概算値): 0.66 ms	<u>ユニット一覧</u> >
▲ 6號 形名 ● ● ● 自局	局番 高後別 0 マス2局	RX/RY語定 RWW/RWY語定 7レクシュデバイ 点数 先頭 最終 点数 先頭 最終 RX	CC IE Field選択 ニニット検索 お気(4) 22 24 100 100 CC IE Field環器(三変電鉄) 日 日 100 100 日 なるディブタルよりスニット 日 本本デナログタルよりスニット 日 本本デナログタルよりスニット 日 本本デナログタルスカコニット 日 本本デナログタルスカコニット 日 地震ディグタルよりスニット 日 地震ディグタルよりスニット 日 地震ディグタルよりスニット 100
* 1 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11		2	ローC に E Padの理想(ビーフルントロール) 日 温調コント 国コント ローS100 大型の高いさんを招称。 CL1010 大型の高いさんを招称。 CL1010 大型の高いさんを招称。 Graduate C-224 Fare
< 補足情報 ※由で表示なれていて何時代 UniteDianので見て、	フが対象系のデリジック第5回(19月)とさけ、	1977/Wet	20%、40mA 使用回題温度 - 10~55℃(ただし、氷結、 結構しないこと) 使用回題温度 25~85%(RH ほな温度 - 25~65%(たち)、氷結 経動。 さ
水巴に表示されている週期は、リノビジュアイル デバイス範囲の内容については、以下の補足情報 補足情報:	スが検蚊のデントイス和国に書いたいで 服を参照してください。	MT(1):896	*

(c) SLMP(TCP/IP)対応ユニットの場合

Ethernet 内蔵 CPU ユニットを使用した場合を例に示す。

GX Works3 にて、プロジェクトの新規作成、Ethernet 内蔵 CPU ユニットの[ユニットパラ メータ]にある[相手機器接続構成設定]の<詳細設定>を押下します。

->=> *	× ProgPou (PRG) (□-/)//ラ e ProgPou (i	PRG] [LD] 2ステップ (A R04CPU.	ユニットバラメータ ×		11 - 即品選択	
マニ オブション(ロ)…	設定項目一覧	設定項目			(部約8月	t)
ロジェクト	検索する設定項目をここに入力	項目		設定	2101	相同主要
		パラメーク設定方法	パラメータで設定		12(3)	-14C M
2036	98 BA	※ ピアドレス設定			表示对意	h: : : : : : : : : : : : : : : : : : :
AND	◎ 🚯 基本設定	サブネットマスク				_
MAIN	OC-Link IEF BasicBYE	デフォルトゲートウェイ				
ProgPou	相手総裁捕技構成設定	RUN中的書込み許可/禁止設定	ー括で禁止する(SLMP)			
こ ローカルラベル	e og konste	オープン方法の設定	70554 COPENUAL			
🖬 プログラム末体		CO-Link EF Basic RE	and the second se			
N		CC+Link IIF Basic使用有限 まっとローム体はは約回	使用しない			
		リアレッシュ設定	(STABLE)			
		相手模器接続構成設定				
		HI-BERNBMACE	(SIMBLOD)		8. 3	Sm 開設 ユー ラ
IN						THE A
					95334121	am / J1
KCPU		1930A				
		文信を行う相手機器に対する設定を行いる	ŧ7.			
ニットバラメータ						
	1	e	The second second			_
	項目一覧機樂結果	9-190(L)	7.74% HC展 (10)			
					(第1年11日)	
	Contract of the second s					
	2.0					4

Ethernet 構成設定ダイアログの[ユニット一覧]に対象ユニット情報が表示されることを確認

	`)	0								
🕄 Et	hernet	t構成 構成	(内蔵Ethernetポート)	in en Tuis 2011 - en 881 (* en	(a) 20.emm		7 (0)			
; Eur	erneu	相同风(11	」 補集(⊑) 衣小(⊻) 設ん	と忽似来して閉しる		反映して閉し	ବ(<u>K</u>)			
	ユニットー覧 × 接続機器の自動検出 Ethernet選択 ユニット検索 お気に、4 ▶									
						THE LEWIS	シーク	いサ	センサ・機器	□ 🗄 🗄 🔚 🛠 🖻 🗙
		No.	形名	交信手段	プロトコル	送受信設定	IPアドレス	ポート番号	MACアドレス	■ Ethernet機器(汎用)
	822		自局		1	11	192.168.3.39			→ Ethernet儀畚(サーマルコントロール社)
										CL-A100 大型液晶パネルを搭載。
										【 根集】 CMID社内准度调算器
	•		m							【仕様】
	電源電圧 DC24V,消費電力 2.3W以下,白金測									
										 アナログ入力±0.25%FS±1ディジット以下,制
自月	3									御出力1 (SSR駆動用)DC12V±20%、40mA, 使用用用温度 10-552(ただ) とは 結素
接紙	売台数:	0								しないこと),使用周囲湿度 25~85%RH,保存温
										度 - 25~65°C(ただし、氷結、結露しないこと)。
										揮発性メモリ(書込み回数:10万回)
										リーマルコンドロール社 Webで仕様を確認
			•							F
:出力	,									×
<u> </u>										

```
(d) CC-Link IE フィールドネットワーク Basic 対応ユニットの場合
```

Ethernet 内蔵 CPU ユニットを使用した場合を例に示す。

GX Works3 にて、プロジェクトの新規作成、Ethernet 内蔵 CPU ユニットの[ユニットパラ メータ]にある[CC-Link IEF Basic 設定]の[CC-Link IEF Basic 使用有無]を<使用する>に 選択後、[ネットワーク編成設定] の<詳細設定>を押下します。

- Sab - 1	× ProcPou [PRG] [ローカルラ Pro	xaPou [PRG] [LD] 2ステップ RAR04CP			1.1 * 東京道行
EL #78=5401	NTHE-M	INTER .			(如同修業)
(****1222000 705227) 第二コント総合注 デガクラム 約2877 第二次ト総合注 第27057」 第二次ト総合注 第二次の与した 第二次の	中学校1997年10日にしたカ 中学校 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	ボリー 石田 パントーシロントル ロントーンロントル ロントレンス ロントレス ロントレス ロント	1/31-9-5088 	95	
R94C9U ** PPU/12 4 - な (2) ユニット/5 スータ 」 メしぶっ + 9 3 5 - エニット報題 - リモート/1スワード	48-¥ 6884	170 94/00/2012 #11/00/02118 #11/ 21/02008 _ 42808 _ 42808 #28.00-1/m 807-5/83/10-5/8 #28.00-1/m 807-5/83/10-5/8	2 1973年3月17日1月1日 1986年1月19月1日 1979年4日 1979年4日 1979年4日 1979年4日 1979年4日 1979年4日 1979年4日 1979年4日 1979年4日 1979年4日 1979年4日 1979年4日 1979年4日 1979年11月 1970 1970 1970 1970 1970 1970 1970 1970	0.874/35	
					·遗用(A)

CC-Link IEF Basic 構成設定ダイアログの[ユニット一覧]に対象ユニット情報が表示することを確認します。



(e) CC-Link IE TSN 対応ユニットの場合

CC-Link IE TSN マスタ・ローカルユニットを使用した場合を例に示す。 GX Works3 にて、プロジェクトの新規作成とユニット構成に CC-Link IE TSN マスタ・ロ ーカルユニットの追加を行います。追加した CC-Link IE TSN マスタ・ローカルユニットの [ユニットパラメータ]の[基本設定]にある[ネットワーク構成設定]の<詳細設定>を押下しま す。

ナビゲーション # ×	ProgPou [PRG] (ローカルラ	PragPou [PRG] [LD] 2ステップ 🦧	3 0000:RJ71GN11-T2 1 ×	4 - 4 - 44	an a x
9. 9 0 TXT	10五項目一覧	[A= 3] E		(20.8	14年) 当
₩ プロジェクト	地本すらは17月後、アレスブ 👗	210	約定		Plus-Wir JX at
1 ユニット構成図	[term of the second sec	ネットワーク構成設定	KEYANDOG >		対象: 全て +
 アンワラム (1) スターンス 	 ● 日本 ● ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	5.7.7 小学大会会 (ジェント・シント) (ジェント・メロン) (ジェント・メロン) (ジェント・シント・シント・シント・シント・シント・シント・シント・シント・シント・シ	 (1)細胞(2) 5イン(指統、スター振興、参加はスター構成とライン)指統の計 15%をする 125% as 1000000 uc 2000000 2000000 2000000 2000000 	z	<mark></mark>
ROBCPU		₹3##kb()	同寸(1)		
10.0000:R371GN11-T2	項目一覧(秋深結果)	interest in the second			
島ユニットパラメータ				通用(A)	
CC IE TSTARIUS	15				U X
● 900-1×020-1×	■ 尚力 (言) 進長				

CC-Link IE TSN 構成設定ダイアログの[ユニット一覧]に対象ユニット情報が表示することを確認します。

[2] co	🔓 CC-Link IE TSN構成(先頭I/O:0000)											
i cc	Link	IE TS	N構成(I)	編集(<u>E</u>)	表示()) 誤	定を破棄して閉じる(<u>N</u>)設定を反映し	て閉じる(<u>i</u>	3)		
		接続/4	加折した機	器の検出			詳細表示					: ユニット一覧 ×
	割付	方法(4	y:		-							CC-Link IE TSN選択 ユニット検索 お気に入り
		台数		形名		局番	局種別	RX設定	RY設定	RW 設定	RWw設定	1111日 111日 111日 111日 111日 111日 111日 11
	820	0	白局			0	マスタ局	原設	服息	服息	思知	■ 汎用CC-Link IE TSNユニット
<u> </u>	_											日 CC-Link II ISN機器(ナテ軍電機) 「FI CC-Link II TSN機器(サーマルコントロール社)
												日温調ユニット
												CL-A1000-TSN 大型液晶パネルを搭載。
												【概要】 • ^
	•				-			_	_	_	F	CC-Link IE TSN対応温度調節器
	(11種) CCC-Link E TSN Class A											
	電源電圧 DC24V											
自局	□ 消費電力 2.3%以下 ● 白島 ■ 白全測温紙抜体: (指示値 ±0.5℃) ± 1분×5% トリ下											
10/10												アナログ入力±0.25%FS±1ディジット以下
5.5	£n ⇒'	フカ島										制御出力1(SSR駆動用)DC12V±20%、40mA 使用周囲温度10~55℃(ただし 氷結 結素) ないこと)
総調	議 じ	200										使用周囲湿度 25~85%RH
20	11.15											保存温度 -25~65℃(ただし、氷結、結露しないこと)
												高度 2,000m以下 智景 約200%
												メモリ保護不揮発性メモリ(書込み回数:10万回)
<u> </u>			•								•	【以一力名】 * 二
出力												×
I												

(3) 入出力情報の確認

ブロック情報セクションおよび通信インタフェース情報セクションにて記述した対象ユニットの 入出力情報が、GX Works2に表示することを確認します。



台級/局番 形名 局種別 パージョン 占有局級 123編 □ 0/0 自局 マス2/局 □ 1/1 CL+A1000 リモートラアドス局 Ver.1 1局占有 11日1	サイクリック 設定 2011日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日日
■ 0/0 台局 マスク局 ■ 4/1 CL-A3000 リモートテアドス5 Ver.1 105占有 11倍計	注 24 日本 ★ **********************************
■ 1/1 (Li-A1000 リモートカバス局 Ver.1 14局占有 16話	 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
4 J	 □ ロネット(カットス・4回来・+) □ ロネット(カラス基板酸送用 西衣型) □ ロネット(ガラス基板酸送用 円筒型) □ ロネット(物法用) □ ロネット(物法用) □ ロネット(な)の作業用) □ CC-Link縲綜(サーマルコントロール社) □ Δη□ 大型(液晶)(な)」を掲載)
局查1	【概要】 CC-Link对応温度调節器 【仕様】
和 マスタ局 (1) (約分析)	電源電圧 0.024V 消費電力 2.3%以下 白金測温振技体:(指示値±0.5℃)±1ディ ジット以下
GL-A1000 Kラッグアンドド W史も可要します	ロップにて 5℃(たたし、氷結
(機奋を陥進しより)	O GRH

メニューバーの[CC-Link 構成]から[設定を反映して閉じる]を選択して CC-Link 構成ダイアログを閉じ、ネットワークパラメータの設定を終了します。

CC-Link デバイス割付確認ウィンドウを表示し、ネットワークパラメータ設定にて設定した先頭 I/O No.を指定します。対象ユニットのデバイス割り付け情報が表示することを確認します。



※1:入出力情報の記述にて構造体パートを利用した場合は、構造体パートに記述した内容が表示していることを 同時に確認します。

(4) パラメータ情報の確認

通信インタフェース情報セクションの通信メソッド一覧パートの設定項目「METHOD_TYPE」、 通信メッセージー覧パートの「MESSAGE_TYPE」に「PARAMETER」を記述した対象ユニッ トのパラメータ処理が、GX Works2に表示されることを確認します。

通信インタフェースが CC-Link の場合は CC-Link 構成設定ダイアログ、通信インタフェースが CC-Link IE フィールドネットワークの場合は CC IE Field 構成設定ダイアログ、通信インタフ ェースが CC-Link IE TSN の場合は CC-Link IE TSN 構成設定ダイアログを表示します。対象ユ ニットの画像上でマウスの右ボタンを押下し、[スレーブ局のパラメータ処理]を選択します。

モード	设定(M): 🔽		速度(D): 156kbps 💌 リンクス	キャンタイム(概)	章値〉:	10.50 ms	ユニット一覧
	台数/局番	形名	局種別	バージョン	占有局数	拡張サイクリック 設定	CC-Link選択 ユニット検索 お気に
	0/0 1/1	自局 CL-A1000	マスタ局 リモートデバイス局	Ver.1	1局占有	1倍設定	Ⅲ 24 池 Ⅲ 田 汎用CC-Linkユニット
・ 1 新設:1	大久局 後1 CL-	11 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (☆ マンド実行(L) ···				■ マスショローカルシニット 田 マスショローカルンニット スカコニット(ネジョビース端子台 田 入力ニット(ネジョビース端子台 田 入力ニット(マンジョンース端子台 田 入力ニット(センガコネりタウイブ(田 入力ニット(センガコネりタウイブ(田 入力ニット(センジコネりタウイブ) 田 入力ニット(地かごコネクタウイブ) 田 入力ニット(地かごコネクタウイブ) 田 入力ニット(地かごコネクタウイブ) 田 入力ニット(地かごコネクタウイブ) 田 入力ニット(地かごコネクタウイブ) 田 出力ニット(ホンジョント(ホンジョン) 田 出力ニット(オンジョン) 田 出力ニット(センガコネクタウイブ(田 出力ニット(ワンタッチコネクタウイブ)
	*	m				•	

通信インタフェースが SLMP(TCP/IP)の場合は Ethernet 構成設定ダイアログを表示します。対象 ユニットの画像上でマウスの右ボタンを押下し、[Ethernet 機器のパラメータ処理]を選択します。

		接続構	器の自動検出							ユニット─覧 × Ethernet選択 ユニット検索 お気に, 4 ▶
			T &	70170	固定バッファ	シーク	いサ	センサ・概器		::::::::::::::::::::::::::::::::::::
		INO.	π≈≈≊	101-111	送受信設定	IPアドレス	ポート番号	MACアドレス	ホスト名	■ Ethernet機器(汎用)
	80		自局			192.168.3.39				日 Eulemedia(リーマルコンドロール社) 日 温調フニット
			CL-A1000-Ether	TCP		192.168.3.39				CL 大型液晶パネルを搭載。
自用										
出九		_		_	_	_			_	×

対象ユニットの通信コマンド情報が表示していることを確認します。

スレーブ局のバラメータ処理 対象機器情報: CL-A1000 先期(JO No. 10000 - 局害:1 実行する処理(M): プラスータ書込 パラスータ情報 チェックしたパラメータ所変形された処理の対象	 「ワメータを書き込みます。 になります。					
インボートロ エクスボートE						
全潮択(A) 全解除(U)	and a second					
名称 初期值 読出值	書込値 設定範囲 単位 説明					
Creats ・ しきい値1 0 ししきい値2 0	0~8000 0.1℃ 0.1度単位で上隊値を指定します。上隊値を起えると、制約出力 0~8000 0.1℃ 0.1度単位で下隊値を指定します。下隊値を下回ると、制約出力					
TADUANCE □ IIIモード 常時表示	ディスプレイを消灯します。					
DIAGNOSTIC □ 温度取得	存在表示 「新作用表示 「新作用表示					
□◆選択可能加/約水=200永电表示(图)==	•••••					
処理オプション	処理オブション 選択した処理にはオクションはありません。					
・リモート入出力・リモートレジスながりフレッシュされているデドイスの値が患者的な場合があります。 ・現在の接続先を使用してシーケンサロムにアクセスします。接続先が問題ないか確認してください。 ・シーケンサロロに書を込まれているパウメータを元に処理を行います。 ・面面上は内容が表示されていない項目に関する情報は、マニュアルを参照してください。 実行(因)						
	閉じる					

※1: 通信コマンド情報の記述にて選択肢一覧パートを利用した場合は、選択肢一覧パートに記述した内容が表示 していることを同時に確認します。

また、書込値に値を設定して[実行]ボタンを押下し、設定したパラメータを書き込むことを確認 します。

(5) コマンド情報の確認

通信インタフェース情報セクションの通信メソッド一覧パートの設定項目「METHOD_TYPE」、 通信メッセージー覧パートの「MESSAGE_TYPE」に「COMMAND」を記述した対象ユニット の通信コマンド情報が、GX Works2に表示することを確認します。

通信インタフェースが CC-Link の場合は CC-Link 構成設定ダイアログ、通信インタフェースが CC-link IE フィールドネットワークの場合は CC IE Field 構成設定ダイアログ、通信インタフェ ースが CC-Link IE TSN の場合は CC-Link IE TSN 構成設定ダイアログを表示します。対象ユニ ットの画像上でマウスの右ボタンを押下し、[スレーブ局のコマンド処理]を選択します。

CC-	Link構成 ユニッ	ット1 (先頭I/O:0000)					
i cc-i	_ink構成(I) 編	i集(E) 表示(⊻)					
Ŧ	E-ド設定(M): V	er.1モード 💌 伝道	速度(D): 156kbps 💌 リンクス	キャンタイム(概)	〔值):	10.50 ms	ユニット一覧 ×
	台数/局番	形名	局種別	バージョン	占有局数	拡張サイクリック 設定	CC-Link選択 ユニット検索 お気に入り
□ ■ 日 局 局 「 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	■ 0/0 ■ 1/1 ◆ (● マスタ局 係合鉄:1 × (◆ (・ (● (・ (● (・ (● (・ (● (・ (● (● (● (● (● (● (● (●	自局 α-A1000 	マスタ局 リモートデバイス局)ノ(ラメーク処理(S))コマンド実行(L)	Ver.1	1局占有	1/885 // / / / / / / / / / / / / / / / / / /	

対象ユニットの通信コマンド情報が表示されていることを確認します。

おする処理(M): データテマネル使用状況 アークテマネル使用状況 アークテマネル アークティネル使用状況 アークティアルクロレクションがらっているの(アクロレーク) アークティングロロークシークローの(アクロレーク) アークティングロロークシークリークローの(アクロレーク) アークティングロロークシークローの(アクロレーク) アークティングロローク) アークティングロローク) アークティングロローク) アークティングロローク) アークティングロローク) アークリーク) アークリーク) アークリーク) アークリーク) アークリーク) アークリーク) アークリーク) アーク) <th>6番:1</th> <th>CL-A1000 先頭I/O No.:0000 -</th> <th>İ象機器情報:</th>	6番:1	CL-A1000 先頭I/O No.:0000 -	İ象機器情報 :
マンド設定 各次の 日本設備 日の マークティスル	 況 ・ データマンクの使用状況を返します。): データチャネル使用	行する処理(<u>M</u>
ロー・ロー・レンジスグがリフレッシュされているテノバイスの値が含ぎ換わる場合があります。 ・現在の経済先を使用して、シーケンゲロロにアシセスします。 ・現在の経済先を使用して、シーケンゲロロにアシセスします。 ・現在の経済先を使用して、シーケンゲロロにアシセスします。 ・通知面上に内容が表示されていない項目に関する情報は、マニュアルを参照してください。	 	- 	コマンド設定
案行後裏 <u>●か アータテマネル使用状況</u> ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	249000 年山, 2497 <mark>※1</mark>	ル データチャネル1 データチャネル2 エーシーマール3	-011 データチャネ
テークチャネル使用体況 ・ ・ ・ サモート入出力・リモートレジス分がリフレッシュされているテノバイスの値が書き換わる場合があります。 ・ 現在の物語先名使用してシーケングロベルにアルセスします。 後先大が同盟ないが確認してくたさい。 ・ シーケンゲロベルにアルセスします。 ・ 通面上に内容が表示されていない項目に関する情報は、マニュアルを参照してください。	 単位 説明	読出値	実行結果 名称
・ リモート人出力・リモートレジスタがリフレッシュされているテノビスの値が書き換わる場合があります。 ・ 現在の投稿先を使用してジーケナイのロビッかとスします。 地域たびの面積たる使用してジーケンイのロビッかとスします。 ・ 少ーケーグのは、書き込まれているパター・交流では思想されています。 ・ 動面上に内容が表示されていない項目に関する情報は、マニュアルを参照してください。		ル使用状況	マデータチャネ
・ リモートス出力・リモートレジス分加リフレッシュされているテレイスの値が書き換わる場合が使ります。 ・現在の根稿先名使用してシーケンサロベルにアンセスはす。現在先生が問題ないか確認していたさい。 ・シーケンサロベル「書き込まれていないが見日に聞きる情報は、マニュアルを参照してください。			
・リモート入出力・リモートレジス分別リフレッシュされているテレイスの価が書き換わる場合があります。 ・現在の移転先を使用してシーケンガマのにアガセスします。接続先が問題ない加痛犯してください。 ・シーケンガロのにま巻込まれているバラメー交を元に絶理を行べます。 ・画面上に内容が表示されていない項目に関する情報後、マニュアルを参照してください。			
 ●・ ・リモートレジスタがりフレッシュされているデドイスの値が書き集わる場合が多ります。 ・現在の掲載洗着使用してジーケッサでのにアシセスします。 建築先が問題ないか確認してなどへ。 ・シーケッサのに、書き込まれているがドライックを元に必須使行でする。 ・●の面上にの内容が表示されているい項目に関する情報は、マニュアルを参照してください。 			
・リモート入出力・リモートレジスが別フレッシュされているデドイスの値が書き換わる場合があります。 ・現在の移転先を使用してつーン・サイロベロアクセムする。検索先が問題ない物確認してんださい。 ・シーケンガロロに書き込まれているパラメータを元に処理を行ています。 ・画面上に内容が表示されていない項目に関する情報線は、マニュアルを参照してください。			
	 		•••
	 ッシュンドでいるデドインの値が巻き換わる場合が参ります。 アルビアセンします。根廷氏という語彙ないか確認してください。 シーなたてした思想を行います。 目に関する解離は、マーエアルを参照してください。	はカーリモートレジスながり 洗を使用してシーケンプ 凹に書き込まれている」 容が表示されていない	 ・リモート入出 ・現在の接続 ・シーケンサC ・画面上に内
実行!!	レッシュされているデバイスの値が書き換わる場合があります。 PUCアンセン人はする。接続さか問題類ないが確認してください。 メータを元に処理されています。 目に関する情報紙は、マニュアルを参照してください。	けっリモートレジスながり 洗を使用してシーケン に違き込まれている」 容が表示されてしない	 リモート入止 ・現在の接続 ・シーケンサで ・画面上に内

※1: 通信コマンド情報の記述にてコマンド引数一覧パートおよび選択肢一覧パートを利用した場合は、記述した 内容が表示していることを同時に確認します。

また、書込値に値を設定して[実行]ボタンを押下し、命令を実行することを確認します。

6. リリースの準備

6.1 リリースまでの流れ

<u>6.1.1</u>新規開発製品の場合

新規開発製品の場合、対象機器のコンフォーマンステスト受験時に CC-Link 協会に、被試験器、自社 テスト結果とともに CSP+をご提出ください。



6.リリースの準備



<u>6.1.2 既存製品の場合</u>

コンフォーマンステスト受験済みの既存製品に対応する CSP+を CC-Link 協会から公開する場合、自 社テスト結果、および、CSP+を CC-Link 協会にご提出ください。





<u>付録1.</u> ラベル名に使用できない文字

表	47	ラベル名に使用できない文字一	皆
1			.

カテゴリ	禁止文字
ラベルに使用できない文字	!、 "、 #、 \$、 %、 &、 '、 (、)、 *、 +、 、、 -、 、、 /、 :、 ;、 <、 =、 >、 ?、 @、 [、 ¥、]、 ^、 `、 {、 、 }、 ~、€
ラベルの先頭にのみ使用でき	0, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, _
ない文字	
予約語	表 48 予約語一覧を参照 ・大文字・小文字に関係なく使用不可(例:LABEL も laBel も label も予約語)。 ・完全一致のみ使用不可(例:A_LABEL や LABELA は使用可 能)
スペース	半角、全角共に不可

表	48	予約語一	覧
~		4 /I.4 HH	20

意味	予約語
セクションを示すキーワ	FILE, DEVICE, BLOCK, COMM_IF
ード	
各パートを示すキーワー ド	FILE_INFO、DEVICE_INFO、BLOCK_INFO、BLOCK_INPUT、 BLOCK_OUTPUT、BLOCK_PARAMETER、BLOCK_COMMAND、 COMM_IF_INFO、COMM_IF_INPUT、COMM_IF_OUTPUT、 COMM_IF_PARAMETER、COMM_IF_COMMAND、METHOD、 MESSAGE
共通情報を示すキーワー ド	STRUCT, ENUM, SELECT, COMMAND_ARGUMENT, CONDITION
項目を示すキーワード	ACCESS、ARGUMENT、ASSIGN、CATEGORY、CODE、COMMENT、 COMMENTx(x は 1 以上の整数)、CONDITIONx(x は 1 以上の整数)、 DATA 、DATATYPE 、DEFAULT 、END_CONDITION 、 ERR_CODE_RANGE 、ERR_CONDITION 、ERR_REGISTER 、 ERR_TYPE 、ENG_UNIT 、INTERLOCK 、LABEL 、LABEL 2、 MESSAGE_TYPE、METHOD_TYPE、MIN_INC、NAME、OFFSET、 RANGE、READ_DATA、READ_DATATYPE、READ_REGISTER、REF、 REQ_FLAG 、REQUEST_DATA 、REQUEST_DATATYPE 、 REQUEST_TYPE 、RELATED_ELE 、RELATED_MESSAGE 、 RELATED_METHOD、RESPONSE_DATA、RESPONSE_DATATYPE、 RESPONSE_TYPE 、RESULTx(x は 1 以上の整数)、TARGET、 UI_ATTRIBUTE 、WRITE_DATA 、WRITE_DATATYPE 、 WRITE ORDER、WRITE REGISTER
その他のキーワード	NA (使用不可であることを示す(Non-Available)) DEFAULT (CONDITION で使用する) VALUE (要素に対応する値を示す) DUMMY (METHOD、MESSAGE の引数で使用する) PARAMETER (METHOD_TYPE で使用する) COMMAND (METHOD_TYPE で使用する) MONITOR (METHOD_TYPE で使用する) MAINTENANCE (METHOD_TYPE で使用する) OTHER (METHOD_TYPE で使用する) AUTO_PARAMETER (MESSAGE_TYPE で使用する) SEQ (RELATED_METHOD、RELATED_MESSAGE で使用する) PARENT_TARGET (TARGET で使用する) SEQ_TARGET (TARGET で使用する) SEQ_TARGET (TARGET で使用する) P_で始まる文字列 (用途が特定されているパート、要素のラベル用) SI MP P で始まる文字列 (SI MP メッカージ田)

付録2. CSP+チェックシート

本ページを切り取って、チェックシートとして使用してください。 チェックは、設計内評価前に実施し、対応漏れがないことを確認してください。 尚、番号が白抜きになっている箇所については、ユーティリティソフトウェアへの影響や正常な動作 への影響があるため、確実にチェック願います。

Г

r			照査	
件名				
No. CSP+チェックシート項目			チェック	
1 CCD (0 5 音)	1	対象ユニットの型式ごとに CSP+ファイルを作成しているか。		
1.0.51+ 0.11-成单位(2.2 卓)	2	CSP+ファイルの記述に用いた言語ごとに CSP+ファイルを作成しているか。		
2.CSP+の作成(5.2章) 1 ラベル名には、		ラベル名には、付録 1..のラベル名に使用できない文字を使用していないか。		
3.プロジェクトのチェック(5.2.9章)エラーは検出されていないか。				
4.プロジェクトの必須要素の 記述確認(5.2.10章) 1 必須要素はすべて記述されているか。				
CSP+ファイルの名称は、下記フォーマットとなっているか。 [ベンダーコード][(アンダースコア)][型名(機器構成 ID)][(アンダースコア)][機器バージ コン][(アンダースコア)][言語][(アンダースコア)][自由文字列].cspp ※名称の[(アンダースコア)][自由文字列]は、異なるネットワークに接続可能な機器で、 ネットワークごとに CSP+ファイルを作成する場合などに、ファイル名が重複するのを 防ぐために任意の文字列を記述します。				
6.CSP+の評価(5.2.13章) 1 CSP+ファイル記述内容がユーティリティソフトウェアに表示されているか。				

付録3. 他のネットワーク用プロファイル(デバイス記述)データの利用

プロファイル作成支援ツールには、EtherNet/IP や DeviceNet で使用される EDS ファイル、あるい は、PROFINET や PROFIBUS で使用される GSD ファイルに記述された情報を取り込む機能があ ります。この機能を利用して、他のネットワーク用のプロファイルの情報を、CC-Link、CC-Link IE、 SLMP 用の CSP+の情報として利用することができます。

他のネットワーク用プロファイルの情報を利用して CSP+を作成する場合の概略手順は以下の通り です。

- ① GSD ファイル、または EDS ファイルの情報をツールに取り込みます。
- ② 局種別や占有局数等の、ネットワーク固有の情報を追加します。また、製品の仕様に従って、 不要な情報の削除や、デバイス割り付けの修正等を行います。
- ③ エクスポートにより、CSP+を生成します。



【操作方法】

- (1) プロファイル作成支援ツールを起動します。
- (2) メニューバーの「ツール」から「システム設定」を選択すると、システム設定ダイアログが表示されます。



CSP+[2.0]		
:成対象記述仕様		
・ CC-Link [2.0] C CC-Link IEフィールドネ	»ኑワーク [2.0]	
Ethernet [2.0]		

- (3) 「作成対象記述仕様」に表示される仕様名称の中から、作成したいプロファイルの仕様名称を 選択します。
- (4) メニューバーの「ファイル」から「外部データの取り込み」を選択すると、ファイル選択ダイ アログが表示されます。



(5) データを取り込む GSD ファイルまたは EDS ファイルを選択します。

()- · a800_v1	1		a800_v11の検	م n
整理 ▼ 新しいフォルタ	7 —			= • - 0
▶☆ お気に入り	名前	更新	日時	種類
	a800_v11.eds	201	5/07/06 19:45	EDS ファイル
 ■ ライブラリ ▶ ■ ドキュメント ▶ ■ ピクチャ ▶ ■ ピデオ ▶ ■ ミュージック 	nelc0EA8.gsd	201.	3/12/06 10:20	GSD ファイル
▲ 🛤 コンピューター				
▶▲ ローカルディス *	•	m		
ファイ	クレ名(№):	Ŧ	サポートしてい 開く(<u>0</u>) ▼	る全ての形式(' ▼ キャンセル

(6) 取り込んだプロファイルのデータが、CSP+のデータに変換され、それぞれのデータ種別に対応するセクション、パートのデータとして反映されます。

EDS から CSP+への変換の例を以下に示します。



【EDS、GSD のデータと CSP+のデータの対応】

EDSのデータとCSP+のデータの対応関係を表 49に、GSDとCSP+のデータの対応関係を表 50 に記します。

No.	EDS で記述可能な情報種別	詳細	変換 可否	CSP+での対応パート
1	基本情報	ベンダ ID、ベンダ名、		DEVICE_INFO
	(DEVICE セクション)	デバイス ID、アイコンフ	\bigcirc	
		アイル等		
2	入出力情報	それぞれの入出力の役割		COMM_IF_INPUT
	(IO_Info セクション)	ごとに分類が可能であり、	\cap	COMM_IF_OUTPUT
		名称や I/O タイプ、各値	U	BLOCK_INPUT
		の意味を示す文字列		BLOCK_OUTPUT
3	パラメータ情報	名称、データ型、デフォル		COMM_IF_PARAMETER
	(Groups セクション、Params	ト値、最大値・最小値、設	\cap	BLOCK_PARAMETER
	セクション、EnumPar セクシ	定範囲に加え、意味を示す	\cup	ENUM
	ョン)	文字列情報		
4	イベント、エラーコード情報	_	\cap	ENUM
	(EventEnum セクション)		0	
5	ユニット間の連結情報	EDS ファイル間の連携情	~	-
		報	^	
6	CIP 独自情報	ポートや、デバイスの通信 性能に関する情報	×	-

表 49 EDS に記述される情報と CSP+の情報の対応関係

No.	GSD で記述可能な情報種別	詳細	変換 可否	CSP+での対応パート
1	基本情報	ベンダ名、形名、ビットマ		DEVICE_INFO
	(Vendor_Name、	ップファイル等	\cap	
	Model_Name、		U	
	Bitmap_Device)			
2	入出力情報			COMM_IF_INPUT
		_	\sim	COMM_IF_OUTPUT
			^	BLOCK_INPUT
				BLOCK_OUTPUT
3	パラメータ情報	名称、データ型、デフォル		COMM_IF_PARAMETER
	(EXT_User_Prm_Data_Ref,	ト値等。また、設定範囲の	\cap	BLOCK_PARAMETER
	ExtUserPrmData)	みでなく、各値の意味を示	U	STRUCT
		す文字列情報		ENUM
4	エラーコード情報	エラー情報を示す文字列		ENUM
	((X_)Unit_Diag(_Not)_Bit、		\cap	
	(X_)Unit_Diag_Area、		\cup	
	Channel_Diag)			

表 50 GSD に記述される情報と CSP+の情報の対応関係

<u>付録4.</u> <u>EXCEL を活用したデータ入力手法</u>

プロファイル作成支援ツールへの設定は、Excel からコピー&ペーストで行うことも可能です。その ため、数値を1ずつ増やして ASSIGN の値を設定する場合(図 4-1参照)や、ASSIGN の値の一部を 置換して LABEL 名を設定する場合(図 4-2参照)などは、Excel の便利機能を活用することで簡単に 設定することができます。



図 4-1 エクセル活用例 1: 語尾の数値をインクリメントした文字列の取得



付録5. プロファイルの内容比較

修正前と修正後のプロファイルについて、内容確認したい場合には、市販ツール(XMLNotepad など) を用いて頂けますと、簡単に比較することが出来ます。

例:XMLNotepad



<u>商標</u>

Microsoft, Windows, Windows Vista, Windows XP, Windows7, Windows10, Excel, Visual Studio は, 米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。 イーサネット, Ethernet は富士ゼロックス株式会社の日本における登録商標です。 本文中における会社名, システム名, 製品名などは, 一般に各社の登録商標または商標です。 本文中で, 商標記号(™, ®)は明記していない場合があります。

BAP-C3001-001-D

